

平成 27 年度
浦安市児童育成クラブに係る評価事業
報 告 書

平成 27 年 3 月
浦 安 市

目 次

第 1 章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像	1
1. 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の概要.....	1
2. 事業者自己評価の考え方.....	2
3. 利用者調査の考え方.....	8
4. 公表・フィードバックの考え方.....	11
第 2 章 平成 26 年度 児童育成クラブに係る評価結果	19
1. 調査の概要.....	19
2. 事業者自己評価の結果.....	20
3. 利用者調査の結果.....	26
4. 受け入れ学年・開所日の拡充について.....	29
5. クラブ別評価結果.....	30
資料	82
1. 平成 27 年度 事業者自己評価シート.....	82
2. 平成 27 年度 利用者調査.....	93

第 1 章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像

第1章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像

1. 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の概要

(1) 評価事業の目的

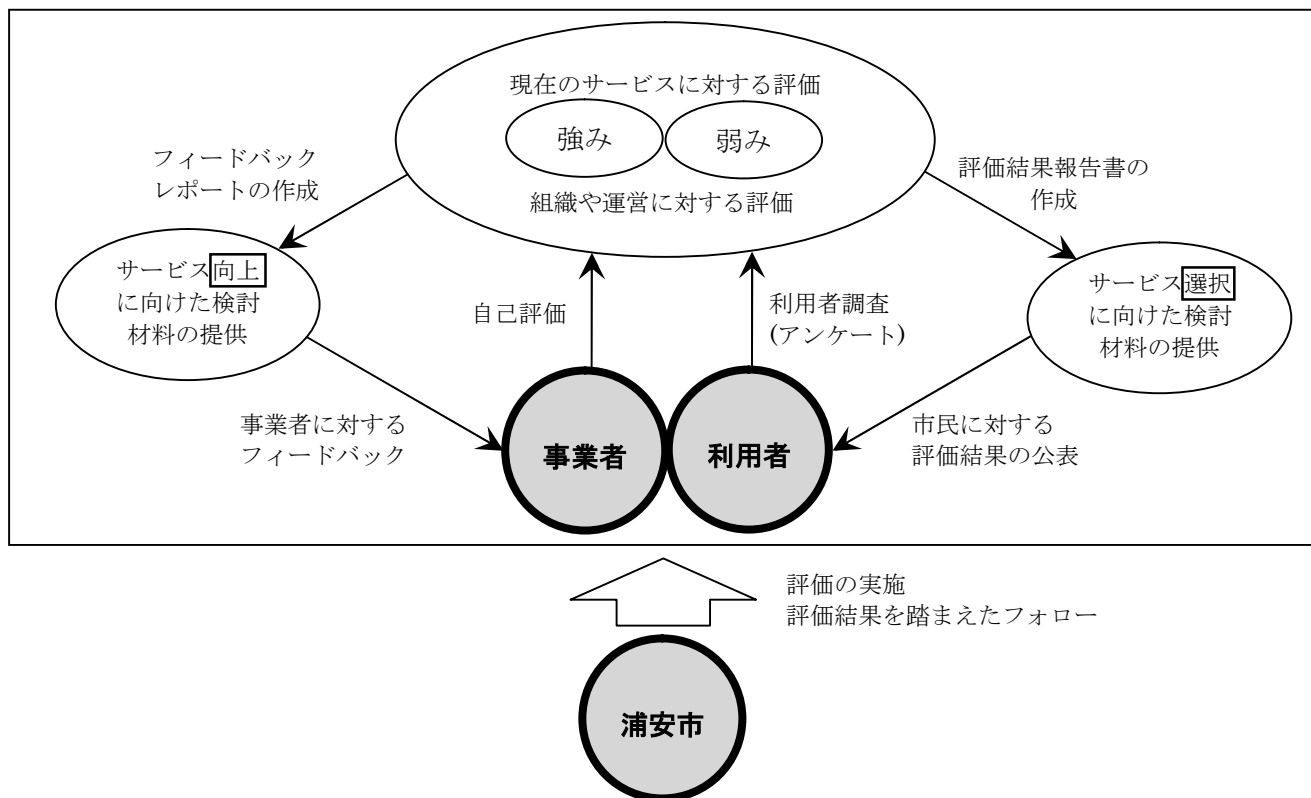
浦安市児童育成クラブに係る評価事業（以下、「本事業」と言う。）は、浦安市が提供する福祉サービスの質の向上と、利用希望者への適切な情報提供を目指すものであり、具体的には次の目的を達成する。

- (1) 利用者が、福祉サービスを選択するにあたっての検討材料となる情報を提供する。自分が利用しているサービスの状況や事業者のサービス向上への取り組み状況を確認するのに役立つ情報を提供する。
- (2) 各クラブにおけるサービスの強み（サービスの特徴）や弱み（改善の方向性）を洗い出すことで、事業者がサービスを改善するにあたり、検討するための情報を提供する。

(2) 評価の仕組み

本事業では、児童育成クラブの運営事業者に対し事業者自己評価を、児童育成クラブの利用者（児童）とその保護者に対し利用者調査を実施することで、“事業者”と“利用者”の二者から見た評価を行った。

<本事業の全体イメージ>



2. 事業者自己評価の考え方

(1) 目的

事業所の職員がサービスの内容について振り返り、良い点、改善が必要な点を把握することを目的とする。

(2) 評価の対象

市内の児童育成クラブ 17 クラブに対して実施した。

(3) 事業者自己評価の実施方法

市が定めた事業者自己評価シートを使用して実施し、評価シートは、電子メールにより配布・回収した。実施方針については、以下のとおりである。

①事業者自己評価における客観性の確保

事業者自己評価を実施するにあたり、客観性を確保するために、事業責任者が単独で行うのではなく、可能な限り職員の参加による評価を行うことを前提とし、事業責任者およびサービスに関わる複数の職員、場合によっては全職員が相談をしながら評価を行い、評価シートに記入する方法を採用した。なお、ここでいう職員には、非常勤のほかに、常勤者と同等にサービスに関わっている非常勤職員を含む。

<実施体制の例>

- ア. 幹部職員および一般職員による評価チームをつくり、自己評価を行う。
- イ. 通常の職員会議等の場を活用し、自己評価を行う。
- ウ. その他（ア、イ以外の方法で自己評価を行う）

②具体的な取り組みの事実に基づく評価

今回実施するこの事業者自己評価は、あくまで事業者の自己責任で実施するものであり、原則として、公開対象となっている項目は、記載内容をそのまま公表する。このため、事業者には具体的な取り組みの事実に基づいて評価を実施することを求めた。

(4) 事業者自己評価シートの構成

事業者自己評価シートの構成は、以下のとおりである。

①総合評価と事業プロフィール

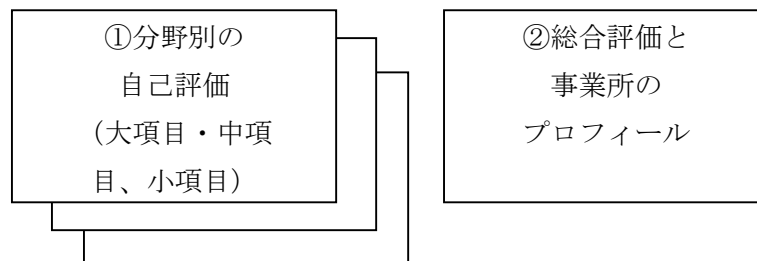
・総合評価

大項目のそれぞれについて総合的な評価を行う。大項目別の自己評価の結果に基づき、当該事業所の強みとサービス改善に向けた取り組みを具体的に記述し、大項目別に達成度を5段階で評価する。

・事業プロフィール

名称、所在地、連絡先、事業規模、サービスにあたって大切にしていることなど、当該事業所の概要を記述する。

<事業者自己評価シートの構成>



②分野別の自己評価

大項目ごとに中項目、小項目を設定し、当該事業所の運営およびサービス提供について詳細な自己評価を行う。小項目ごとに設定された評価の視点（判断基準）と当該事業所における具体的な取り組みの事実を照らし合わせ、達成度を評価する。

(5) 評価項目

評価項目は、以下のとおりである。

大項目は3項目、中項目は21項目、小項目は66項目で構成される。

I 組織と運営

中項目(5項目)	小項目(24項目)
1 運営	① 理念・方針の職員への周知
	② 重要な意思決定時における職員や利用者への説明
	③ 職員が意見や提案を発言しやすい雰囲気づくり
	④ 利用者意見に対する適切な対応
	⑤ 利用者意向の事業計画への反映
	⑥ サービス改善状況の全職員への周知
	⑦ 市との連携や情報共有
	⑧ 学校との連携や情報共有
2 人事	① 職員研修の開催
	② 日常的な職員の意向把握
	③ 職員の適正な採用
3 情報	① 指示・連絡・報告・相談の体制
	② 利用者の家族に対する定期的な情報提供
	③ 情報公開仕組み
4 危機管理	① 災害・緊急時の対策
	② 施設や設備の安全点検及び危険箇所への対処
	③ ケガや急病に対する救護対策
	④ 衛生管理(感染症の拡大防止)
	⑤ 衛生管理(食中毒の防止)
	⑥ ケガや事故の再発防止
5 個人情報保護	① 守秘義務の研修
	② 守秘義務のための取り組み
	③ 個人情報利用の利用者への説明
	④ プライバシーの確保

II サービス提供のプロセス

中項目(7項目)	小項目(17項目)
1 利用希望者への対応	① 見学者の受け入れ、分かりやすい説明対応
	② 重要事項に関する書面による同意
	③ 説明資料の読みやすさ
2 計画作成・見直し	① 子どもや保護者の意見を反映した計画作成
	② 利用書への計画説明及び同意
	③ 実施計画の定期的な見直し
3 サービスの標準化	① 個々のサービスに応じたマニュアル作成
	② 新人職員に対する実地指導
4 苦情解決	① 苦情の受付体制、職員への周知、サービスへの反映
	② 苦情の迅速な解決
	③ 苦情に関する情報共有
5 利用者の家族に対するサポート	① 保護者からの相談対応
6 人権の尊重	① 虐待防止のための具体的な仕組み
	② 家庭等の虐待兆候の早期発見及び見守り
7 地域との連携・交流	① 施設外での活動範囲を広げるための取り組み
	② ボランティア・実習生に対する事前説明
	③ 関係諸機関・団体との連携のための取り組み

Ⅲ サービスの内容

中項目(9項目)	小項目(25項目)
1 基本原則	① 子どもの主体的な活動の援助
	② 子どもの状況や要望に応じた支援
	③ 提供したサービスの記録
2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定の促進・受け止め
	② 子どもの人格や価値観を尊重した対応
3 相談等の援助	① 子どもからの相談対応
	② 子どもの生活状況の把握、職員間の情報共有、支援への反映
4 健康管理	① 適切な服薬管理
	② 子どものケガや急病時の対応及び報告
	③ アレルギー疾患への配慮
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などに対する適切な対応
	② 専門家の協力を得た支援方法の工夫
6 活動	① 活動メニューの多様性や、子どもが選んで参加できる仕組み
	② 子どもが自由に遊べる時間の確保
	③ 学習活動を自主的に行える環境整備
	④ 子どもの豊かな人間関係が育つような配慮
	⑤ 互いに認め合い尊重し合える人間性が育つための支援
	⑥ 障がいのある子どもが活動する際の支援
7 おやつを提供	① 質の高いおやつの提供
	② 子どもの嗜好や成長に合わせたおやつの提供
	③ おやつを楽しむことが出来るような配慮
8 施設環境	① 子どもが快適に生活するための施設環境の配慮
	② 施設内の清掃・整理
	③ 安全に活動するための設備・備品への配慮
9 来所・帰宅	① 子どもひとりでの来所・帰宅に対する安全指導

(6) 事業者自己評価の基準

◆事業者自己評価は、小項目、中項目、大項目の順に行うこととした。

◆小項目では、評価の視点（判断基準）の達成度を4段階で評価した。

[小項目の評価基準]

- 4 優れた取組ができている
- 3 おおむねできている
- 2 あまりできていない
- 1 まったくできていない

◆中項目では、小項目の評価点の平均値をもとに、4段階で評価した。

[中項目の評価基準]

- 4 優れた取組ができている : 小項目の評価点の平均が 3.25 以上
- 3 おおむねできている : 小項目の評価点の平均が 2.50 以上 3.25 未満
- 2 あまりできていない : 小項目の評価点の平均が 1.75 以上 2.50 未満
- 1 まったくできていない : 小項目の評価点の平均が 1.75 未満

◆大項目では、中項目の評価点の平均値をもとに、5段階で評価した。

[大項目の評価基準]

- A 大変優れている : 中項目の評価点の平均が 3.40 以上
- B 優れている : 中項目の評価点の平均が 2.80 以上 3.40 未満
- C 普通 通 : 中項目の評価点の平均が 2.20 以上 2.80 未満
- D やや不十分である : 中項目の評価点の平均が 1.60 以上 2.20 未満
- E 極めて不十分である : 中項目の評価点の平均が 1.60 未満

◆小項目、中項目の評価点をつける中で気づいたこと、具体的な取り組みの事実などを勘案しながら、良いと思う点、改善が必要だと思う点について、コメントを記述できるようにした。

3. 利用者調査の考え方

(1) 目的

サービスについて利用者が日頃感じていることを把握し、サービス改善に向けた手がかりとしていくことを目的とする。

(2) 評価の対象

各児童育成クラブの利用者及び保護者を対象に実施した。

(3) 利用者調査の実施方法

無記名のアンケート方式により実施した。

調査票は、事業所から利用者へ直接配布し、郵送により回収した。

(4) 調査項目

平成 27 年度の利用者調査における調査項目は、以下のとおりである。

調査項目	質問番号	質問事項
利用している クラブの組織と 運営について 【◆保護者◆】	Q 1	クラブの理念や方針について、保護者に十分な説明や情報提供がありましたか。
	Q 2	支援員は、育成に関する専門的知識や技術を有していると思いますか。
	Q 3	出席確認や不審者対応など、来所時や帰宅時の安全確保に向けた取組がなされていると思いますか。
	Q 4	クラブ内の部屋について清掃・整頓が行き届いていると思いますか。
	Q 5	支援員は、お子さんや保護者の個人情報の保護・取扱に注意を払っていると思いますか。
	Q 6	学校との連携や情報交換が適切に行われていると思いますか。
サービス提供の 手順について 【◆保護者◆】	Q 7	支援員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。
	Q 8	あなたは、支援員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。
	Q 9	連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。
	Q10	お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを支援員に相談しやすいですか。
	Q11	クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。

調査項目	質問番号	質問事項
子どもの発達援助について 【◆保護者◆】	Q12	支援員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。
	Q13	支援員は、遊びを通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。
	Q14	支援員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。
	Q15	支援員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。
	Q16	季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。
	Q17	クラブにおいての発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。
	Q18	支援員は、子どもの人権の尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。
	Q19	特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。
受け入れ学年及び開所日について 【◆保護者◆】	Q20	現在、児童育成クラブは小学校4年生までの受け入れとしています。あなたは、小学校6年生までの受け入れが可能となった場合、利用を希望しますか。
	Q21	日曜日や祝日は、クラブを開所していません。あなたは、日曜日や祝日にクラブを開所した場合に、利用を希望しますか。
サービス提供の 手順及び発達援助について 【◇児童◇】	Q22	じどういくせいクラブのおやつはおいしいですか。
	Q23	じどういくせいクラブのへややトイレはきもちよくつかうことができますか。
	Q24	じどういくせいクラブはたのしいですか。
	Q25	じどういくせいクラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらいいか、いっしょにかんがえてくれましたか。
	Q26	じどういくせいクラブの先生は、あなたのきもちをよくわかってくれますか。

(5) 利用者調査の基準

- ◆各質問について、利用者（児童）及び保護者が3段階で評価する。
- ◆回答結果を次のとおり点数換算し、全回答者の設問別平均点を算出する。
(-1点~1点の範囲)

[回答の判断基準]			
1	は	い	(肯定的評価) ⇒ <u>1点</u> 換算
2	どちらともいえない		(中間的評価) ⇒ <u>0点</u> 換算
3	い	い	え (否定的評価) ⇒ <u>-1点</u> 換算

- ◆設問別平均点を基に、次のテーマ別に平均点を算出する。その結果を基に、「テーマ別評価」を行う。

[評価区分]

評価者	テーマ	設問数	テーマ別平均点
◆保護者◆	◆利用しているクラブの組織と運営について	6問	-1点 } 1点
	◆サービス提供の手順について	5問	
	◆子どもの発達援助について	8問	
◇児童◇	◇サービス提供の手順および発達援助について	5問	

[テーマ別評価の算出方法]	
A 大変優れている	: 設問別平均点が全て 0.75 点以上
B 優れている	: テーマ別平均点が 0.5 点以上 (テーマ別評価 A となる場合を省く)
C 普通	: テーマ別平均点が 0.0 点以上 0.5 点未満
D やや不十分である	: テーマ別平均点が -0.5 点以上 0.0 点未満
E 極めて不十分である	: テーマ別平均点が -0.5 点未満

4. 公表・フィードバックの考え方

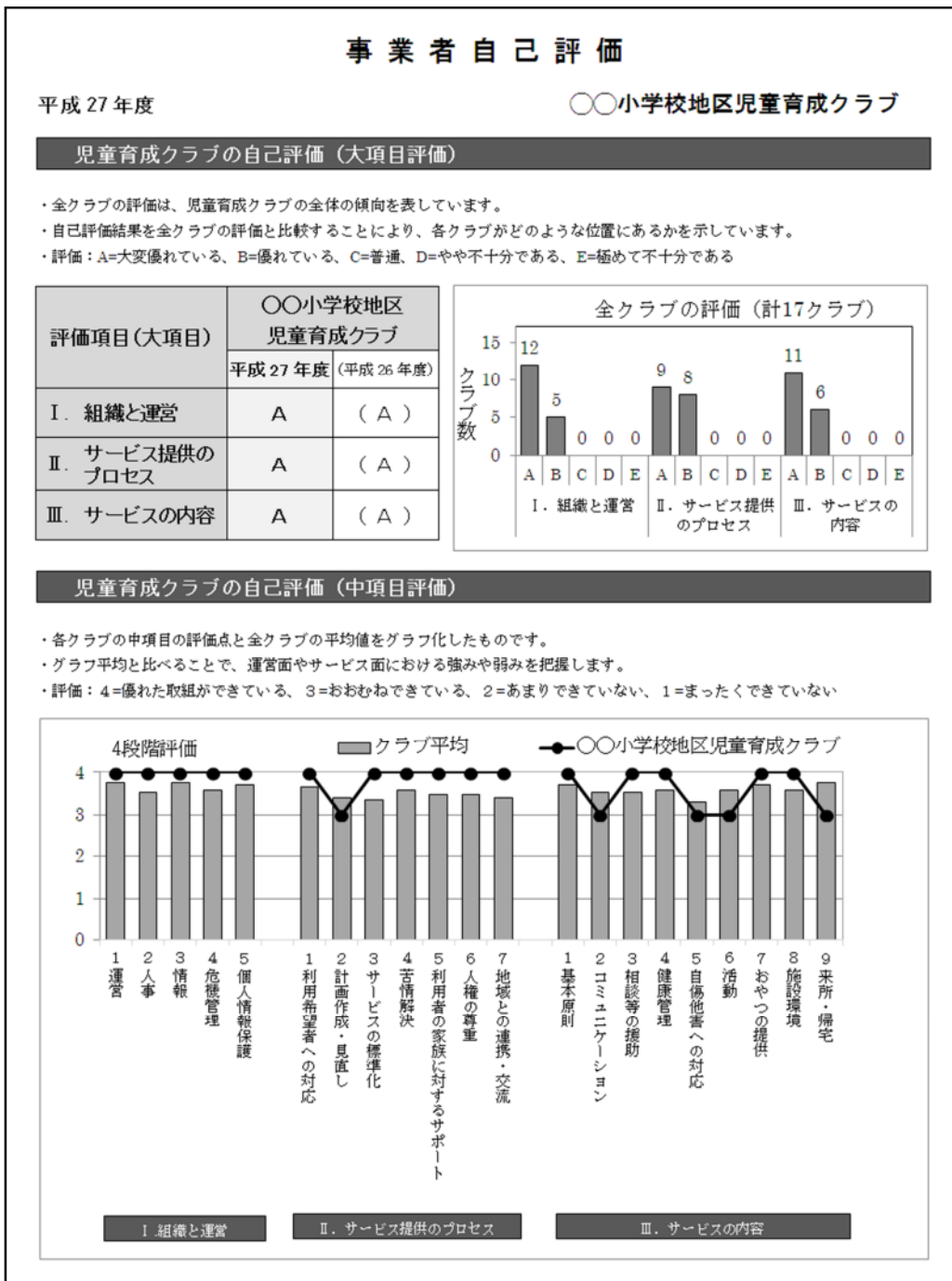
(1) 事業者へのフィードバックに関する考え方

事業者自己評価シートの構成は以下のとおりである。

①事業者自己評価のフィードバック

事業者自己評価の結果については、サービスごとの全体集計結果と当該事業所の自己評価結果を対比できる資料を作成し、フィードバックする。これにより、自己評価を実施した事業者全体における当該事業所の位置づけを伝える。

[事業者へのフィードバックレポートのイメージ (自己評価)]



児童育成クラブの自己評価（小項目評価）

・各クラブの小項目の評価点と全クラブの平均値、平成26年度における評価点を示したものです。
 ・評価：4=優れた取組ができて、3=おおむねできて、2=あまりできていない、1=まったくできていない

I 組織と運営

中項目	小項目	自己評価	全クラブとの比較		平成26年度との比較	
			平均	平均より上=↑	平成26年度	差
1 運営	①理念・方針の職員への周知	4	3.3	↑	4	
	②重要な意思決定時における職員や利用者への説明	4	3.5	↑	4	
	③職員が意見や提案を発言しやすい雰囲気づくり	4	3.6	↑	4	
	④利用者意見に対する適切な対応	4	3.6	↑	4	
	⑤利用者意向の事業計画への反映	4	3.4	↑	4	
	⑥サービス改善状況の全職員への周知	4	3.4	↑	4	
	⑦市との連携や情報共有	4	3.4	↑	4	
	⑧学校との連携や情報共有	4	3.6	↑	4	
2 人事	①職員研修の開催	4	3.4	↑	4	
	②日常的な職員の意向把握	3	3.2		3	
	③職員の適正な採用	3	3.4		3	
3 情報	①指示・連絡・報告・相談の体制	4	3.5	↑	4	
	②利用者の家族に対する定期的な情報提供	4	3.6	↑	4	
	③情報公開仕組み	4	3.4	↑	4	
4 危機管理	①災害・緊急時の対策	4	3.2	↑	4	
	②施設や設備の安全点検及び危険箇所への対処	4	3.5	↑	4	
	③ケガや急病に対する救護対策	3	3.2		4	▼1
	④衛生管理(感染症の拡大防止)	4	3.4	↑	4	
	⑤衛生管理(食中毒の防止)	4	3.6	↑	4	
	⑥ケガや事故の再発防止	4	3.5	↑	4	
5 個人情報保護	①守秘義務の研修	4	3.5	↑	4	
	②守秘義務のための取り組み	4	3.4	↑	4	
	③個人情報利用の利用者への説明	4	3.5	↑	4	
	④プライバシーの確保	4	3.6	↑	4	

II サービス提供のプロセス

中項目	小項目	自己評価	全クラブとの比較		平成26年度との比較	
			平均	平均より上=↑	平成26年度	差
1 利用希望者への対応	①見学者の受け入れ、分かりやすい説明対応	4	3.6	↑	4	
	②重要事項に関する書面による同意	4	3.5	↑	4	
	③説明資料の読みやすさ	4	3.6	↑	4	
2 計画作成・見直し	①子どもや保護者の意見を反映した計画作成	4	3.4	↑	4	
	②利用者への計画説明及び同意	4	3.3	↑	4	

III サービスの内容

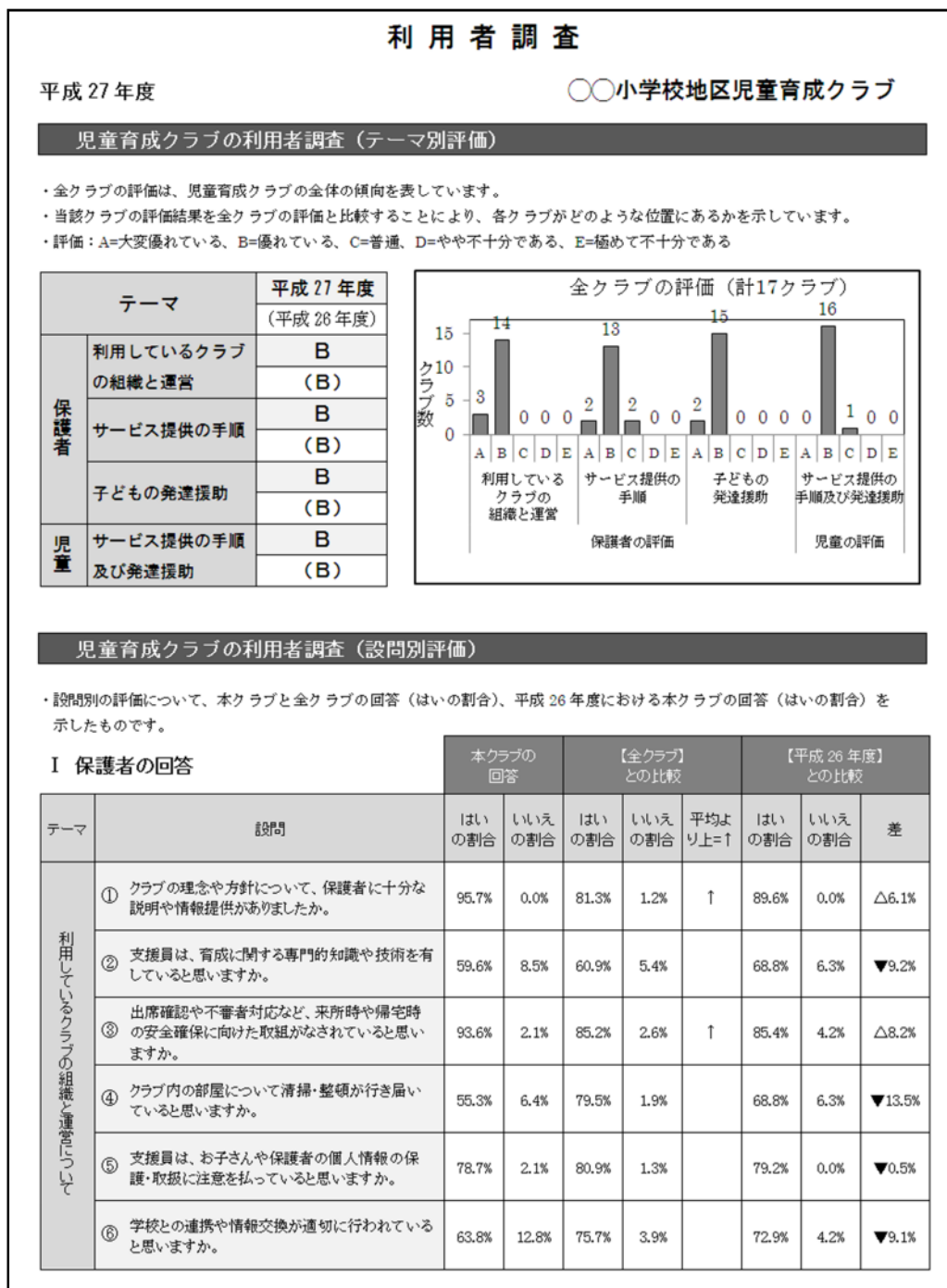
中項目	小項目	自己評価	全クラブとの比較		平成26年度との比較	
			平均	平均より上=↑	平成26年度	差
1 基本原則	①子どもの主体的な活動の援助	4	3.3	↑	4	
	②子どもの状況や要望に応じた支援	4	3.5	↑	4	
	③提供したサービスの記録	4	3.6	↑	4	
2 コミュニケーション	①子どもの自己決定の促進・受け止め	4	3.6	↑	4	
	②子どもの人格や価値観を尊重した対応	4	3.4	↑	4	
3 相談等の援助	①子どもからの相談対応	4	3.4	↑	4	
	②子どもの生活状況の把握、職員間の情報共有、支援への反映	4	3.4	↑	4	
4 健康管理	①適切な服薬管理	4	3.6	↑	4	
	②子どものケガや急病時の対応及び報告	4	3.4	↑	4	
	③アレルギー疾患への配慮	3	3.2		3	
5 自傷他害への対応	①自傷、他害、物損などに対する適切な対応	3	3.4		3	
	②専門家の協力を得た支援方法の工夫	4	3.5	↑	4	
6 活動	①活動メニューの多様性や、子どもが選んで参加できる仕組み	4	3.6	↑	4	
	②子どもが自由に遊べる時間の確保	4	3.4	↑	4	
	③学習活動を自主的に行える環境整備	4	3.2	↑	4	
	④子どもの豊かな人間関係が育つような配慮	4	3.5	↑	4	
	⑤互いに認め合い尊重し合える人間性が育つための支援	3	3.2		4	▼1
	⑥障がいのある子どもが活動する際の支援	4	3.4	↑	4	
7 おやつ提供	①質の高いおやつ提供	4	3.6	↑	4	
	②子どもの嗜好や成長に合わせたおやつ提供	4	3.5	↑	4	
	③おやつを楽しむことが出来るような配慮	4	3.5	↑	4	
8 施設環境	①子どもが快適に生活するための施設環境の配慮	4	3.4	↑	4	
	②施設内の清掃・整理	4	3.5	↑	4	
	③安全に活動するための設備・備品への配慮					
9 来所・帰宅	①子どもひとりでの来所・帰宅に対する安全指導	4	3.6	↑	4	

②利用者調査結果のフィードバック

利用者調査の結果については、当該事業所の項目別・分野別に見た利用評価が分かる資料を作成し、フィードバックする。ただし、サンプル数および回収数が極端に少なく、利用者が特定される可能性のある場合は非公開とする。

利用者の自由意見については、利用者が特定される意見を除き、全て事業者に報告する。

[事業者へのフィードバックレポートのイメージ（利用者調査）]



I 保護者の回答		本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		
サービスマン提供の手厚さについて	① 支援員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。	91.5%	0.0%	86.0%	1.1%	↑	89.6%	0.0%	△1.9%
	② あなたは、支援員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。	57.4%	14.9%	66.5%	6.2%		64.6%	10.4%	▼7.2%
	③ 連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。	68.1%	10.6%	68.0%	7.1%	↑	72.9%	4.2%	▼4.8%
	④ お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを支援員に相談しやすいですか。	72.3%	10.6%	81.8%	3.3%		70.8%	4.2%	△1.5%
	⑤ クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。	74.5%	8.5%	80.0%	2.5%		75.0%	2.1%	▼0.5%
子どもの発達援助について	① 支援員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をされていると思いますか。	74.5%	2.1%	79.8%	1.9%		79.2%	0.0%	▼4.7%
	② 支援員は、遊びを通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。	76.6%	4.3%	75.9%	2.6%	↑	77.1%	0.0%	▼0.5%
	③ 支援員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。	61.7%	12.8%	68.9%	5.7%		60.4%	6.3%	△1.3%
	④ 支援員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。	74.5%	6.4%	70.0%	3.0%	↑	72.9%	2.1%	△1.6%
	⑤ 季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。	95.7%	2.1%	95.0%	0.6%	↑	100.0%	0.0%	▼4.3%
	⑥ クラブにおいての発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。	93.6%	0.0%	85.4%	2.0%	↑	79.2%	6.3%	△14.4%
	⑦ 支援員は、子どもの人権の尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。	76.6%	12.8%	77.8%	3.5%		75.0%	6.3%	△1.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。	70.2%	0.0%	60.2%	1.7%	↑	75.0%	2.1%	▼4.8%
II 利用児童の回答		本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		
テーマ	設問	はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービスマン提供の手厚さ及び発達援助について	① じどういっせいクラブのおやつはおいしいですか。	61.7%	2.1%	77.5%	1.8%		57.4%	0.0%	△4.3%
	② じどういっせいクラブのへややトイレはきもちよくつかうことができますか。	61.7%	6.4%	71.9%	4.2%		48.9%	10.6%	△12.8%
	③ じどういっせいクラブはたのしいですか。	72.3%	2.1%	79.4%	2.4%		76.6%	0.0%	▼4.3%
	④ じどういっせいクラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらいいか、いっしょにかんがえてくれましたか。	68.1%	6.4%	65.0%	3.7%	↑	53.2%	2.1%	△14.9%
	⑤ じどういっせいクラブの先生は、あなたのきもちをよくわかってくれますか。	63.8%	6.4%	62.2%	3.9%	↑	44.7%	8.5%	△19.1%
I 保護者の意見・II 利用児童の意見 別紙にて提供									

(2) 評価結果の公表に関する考え方

①市民への公表

事業者自己評価および利用者調査の結果は、市のホームページ等を通じて市民に公表する。公表の範囲は、「クラブ・運営事業者のプロフィール」、「運営事業者のサービス提供方針」、「運営事業者による自己評価結果」、「利用者による評価結果」をそれぞれ掲載する。

[公表フォームのイメージ]

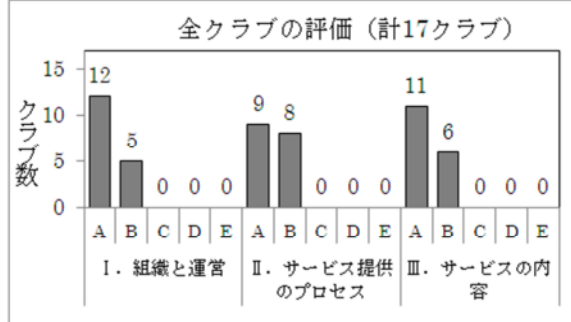
平成 27 年度							〇〇小学校地区児童育成クラブ						
クラブ・運営事業者のプロフィール													
事業者の名称													
クラブの所在地													
クラブの連絡先		電 話			F A X								
当該クラブの運営開始日													
開設場所													
定員/現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員			利 用 者 数								
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数			うち、男性				うち、女性				
		有資格者数	保育士				幼稚園 教諭		幼稚園以 外の教諭				
	非常勤	職員数			うち、男性				うち、女性				
		有資格者数	保育士				幼稚園 教諭		幼稚園以 外の教諭				
運営事業者のサービス提供方針													
サービスの提供にあたって大切にしていること													
		事業者の強み アピールしたい取り組み					サービス改善に向けた取組 今後の展望						
I 組織と運営	1 運営												
	2 人事												
	3 情報												
	4 危機管理												
	5 個人情報保護												
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応												
	2 計画作成・見直し												
	3 サービスの標準化												
	4 苦情解決												
	5 利用者家族へのサポート												
	6 人権の尊重												
	7 地域との連携・交流												
III サービスの内容	1 基本原則												
	2 コミュニケーション												
	3 相談等の援助												
	4 健康管理												
	5 自傷他害への対応												
	6 活動												
	7 おやつ提供												
	8 施設環境												
	9 来所・帰宅												

運営事業者による自己評価結果

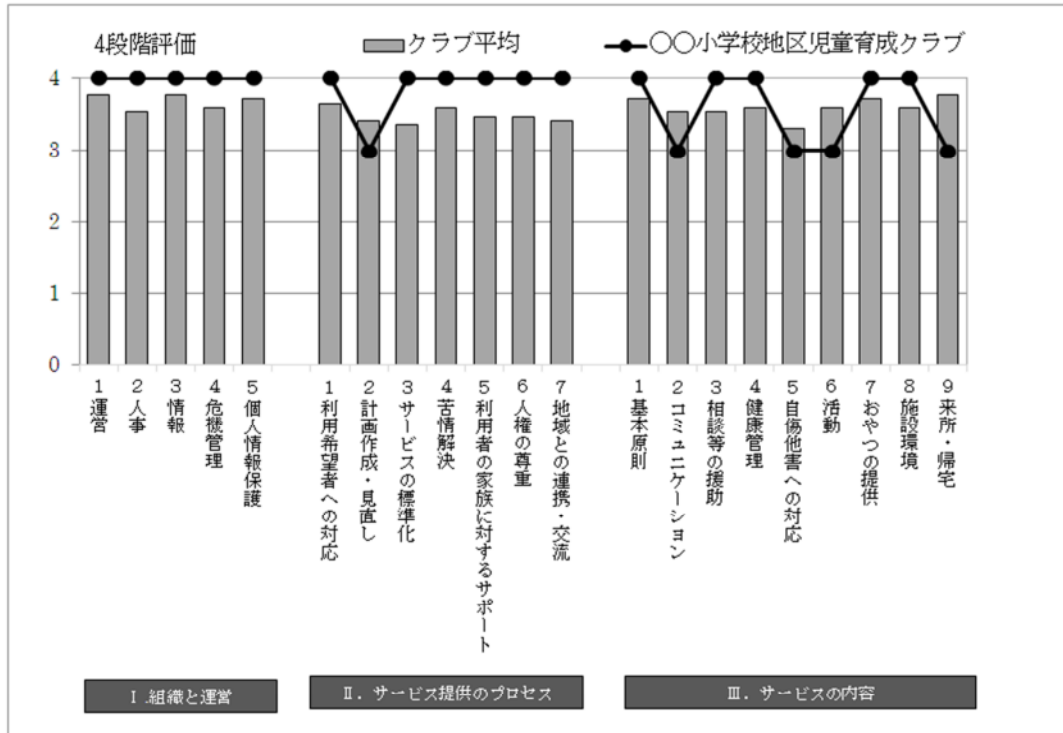
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
Ⅰ. 組織と運営	A
	(A)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	A
	(A)
Ⅲ. サービスの内容	A
	(A)



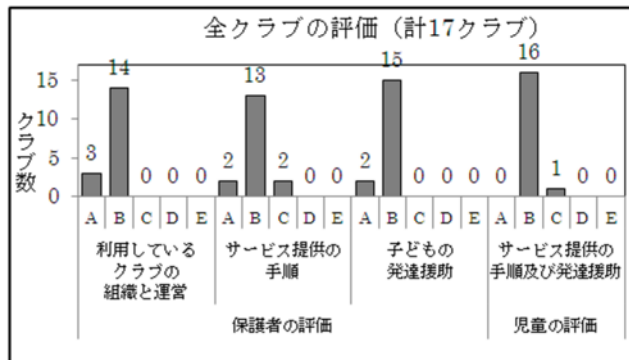
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度 (平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較		【平成26年度】との比較		差	
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合		いいえの割合
利用しているクラブの組織と運営に関する設問	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	81.8%	0.0%	81.3%	1.2%	↑	83.3%	0.0%	▼1.5%
	② 支援員の専門的知識や技術	81.8%	1.8%	60.9%	5.4%	↑	74.1%	0.0%	△7.7%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	94.5%	0.0%	85.2%	2.6%	↑	100.0%	0.0%	▼5.5%
	④ クラブ内の清掃・整理	89.1%	0.0%	79.5%	1.9%	↑	88.9%	0.0%	△0.2%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	87.3%	0.0%	80.9%	1.3%	↑	87.0%	1.9%	△0.3%
	⑥ 学校との連携や情報交換	74.5%	9.1%	75.7%	3.9%		66.7%	1.9%	△7.8%
サービス提供の手順に関する設問	① 支援員からの十分な説明や情報提供	87.3%	0.0%	86.0%	1.1%	↑	90.7%	0.0%	▼3.4%
	② 支援員同士の情報共有	76.4%	0.0%	66.5%	6.2%	↑	81.5%	1.9%	▼5.1%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	74.5%	3.6%	68.0%	7.1%	↑	63.0%	0.0%	△11.5%
	④ 支援員への相談のしやすさ	92.7%	0.0%	81.8%	3.3%	↑	90.7%	0.0%	△2.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	89.1%	0.0%	80.0%	2.5%	↑	90.7%	0.0%	▼1.6%
子どもの発達援助に関する設問	① おやつへの工夫	87.3%	1.8%	79.8%	1.9%	↑	87.0%	0.0%	△0.3%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	90.9%	0.0%	75.9%	2.6%	↑	90.7%	0.0%	△0.2%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	76.4%	5.5%	68.9%	5.7%	↑	75.9%	3.7%	△0.5%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	81.8%	0.0%	70.0%	3.0%	↑	74.1%	1.9%	△7.7%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.2%	1.8%	95.0%	0.6%	↑	96.3%	0.0%	△1.9%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	89.1%	1.8%	85.4%	2.0%	↑	94.4%	0.0%	▼5.3%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	92.7%	0.0%	77.8%	3.5%	↑	88.9%	0.0%	△3.8%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	61.8%	1.8%	60.2%	1.7%	↑	61.1%	0.0%	△0.7%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較		【平成26年度】との比較		差	
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合		いいえの割合
サービス提供の手順及び発達援助に関する設問	① おやつのおいしさ	78.2%	0.0%	77.5%	1.8%	↑	83.0%	1.9%	▼4.8%
	② へややといれのきもちよさ	72.7%	0.0%	71.9%	4.2%	↑	75.5%	0.0%	▼2.8%
	③ クラブのたのしさ	85.5%	1.8%	79.4%	2.4%	↑	83.0%	1.9%	△2.5%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	70.9%	3.6%	65.0%	3.7%	↑	60.4%	3.8%	△10.5%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	74.5%	1.8%	62.2%	3.9%	↑	75.5%	0.0%	▼1.0%

②評価結果の問い合わせ対応

今回の評価結果について、公表後に、利用者や市民から問い合わせがあった場合には、事業者既に設置されている問い合わせ窓口や担当者を通じて対処頂く。また、調査実施方法や全クラブ共通の事項については、市青少年課が窓口となって対処する。

第2章 平成27年度児童育成クラブに係る評価結果

第2章 平成27年度児童育成クラブに係る評価結果

1. 調査の概要

(1) 事業者自己評価

①目的	事業所の職員がサービスの内容について振り返り、良い点、改善が必要な点を把握することを目的とする。
②対象	市が設置する児童育成クラブ 17 クラブ
③期間	平成28年2月22日(月)～平成28年2月29日(金)
④方法	事業者自己評価は、市が定めた事業者自己評価シートを使用して実施し、評価シートは、電子メールにより配布・回収した。

(2) 利用者調査

①目的	サービスについて利用者が日ごろ感じていることを把握し、サービス改善に向けた手がかりとしていくことを目的とする。
②対象	市が設置する児童育成クラブの利用者(児童)及び保護者
③期間	平成28年2月22日(月)～平成28年2月29日(金)
④方法	無記名のアンケート方式により実施した。 調査票は、事業所から利用者へ直接配布し、郵送により回収した。

(3) 各調査の実施状況

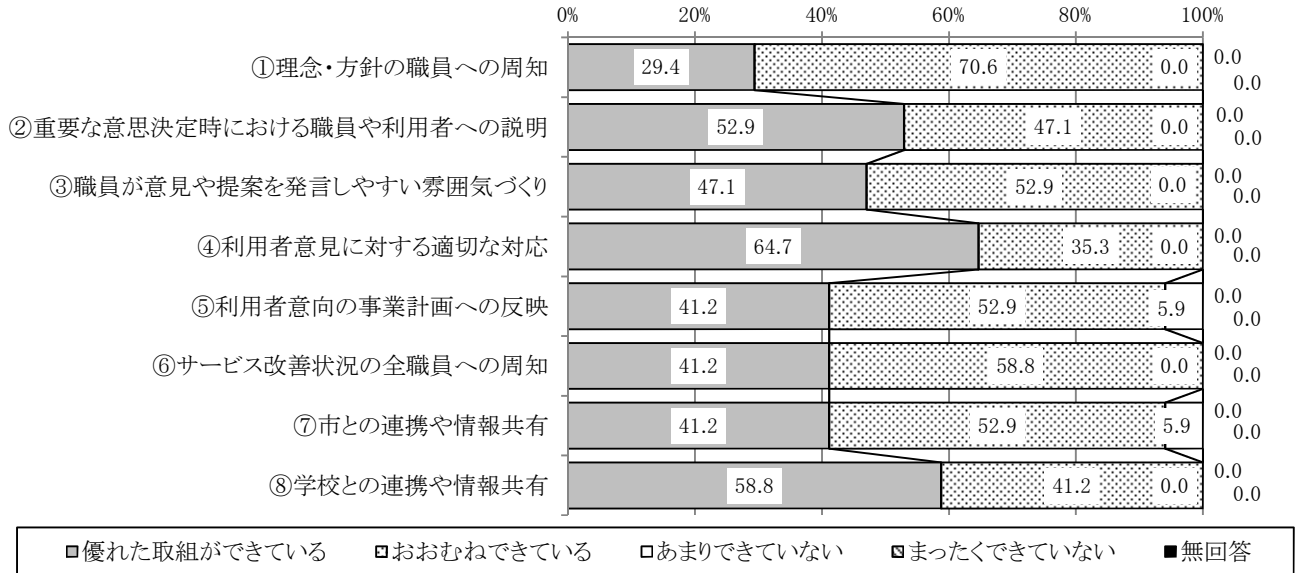
No.	児童育成クラブ名	事業者調査	利用者調査		
		回収状況	配布数	回収数	回収率
1	浦安小学校地区児童育成クラブ	○	100	47	47.0%
2	南小学校地区児童育成クラブ	○	149	78	52.3%
3	北部小学校地区児童育成クラブ	○	171	101	59.1%
4	明海川地区児童育成クラブ	○	83	51	61.4%
5	富岡小学校地区児童育成クラブ	○	52	33	63.5%
6	美浜南地区児童育成クラブ	○	60	35	58.3%
7	東小学校地区児童育成クラブ	○	158	103	65.2%
8	舞浜小学校地区児童育成クラブ	○	131	78	59.5%
9	美浜北小学校地域児童育成クラブ	○	52	35	67.3%
10	日の出小学校地区児童育成クラブ	○	82	55	67.1%
11	明海小学校地区児童育成クラブ	○	60	33	55.0%
12	高洲小学校地区児童育成クラブ	○	182	101	55.5%
13	日の出南小学校地区児童育成クラブ	○	100	47	47.0%
14	明海南小学校地区児童育成クラブ	○	55	36	65.5%
15	高洲北小学校地区児童育成クラブ	○	93	61	65.6%
16	東野小学校地区児童育成クラブ	○	154	78	50.6%
17	入船小学校地区児童育成クラブ	○	98	55	56.1%
合計		17施設	1,780	1,027	57.7%

2. 事業者自己評価の結果

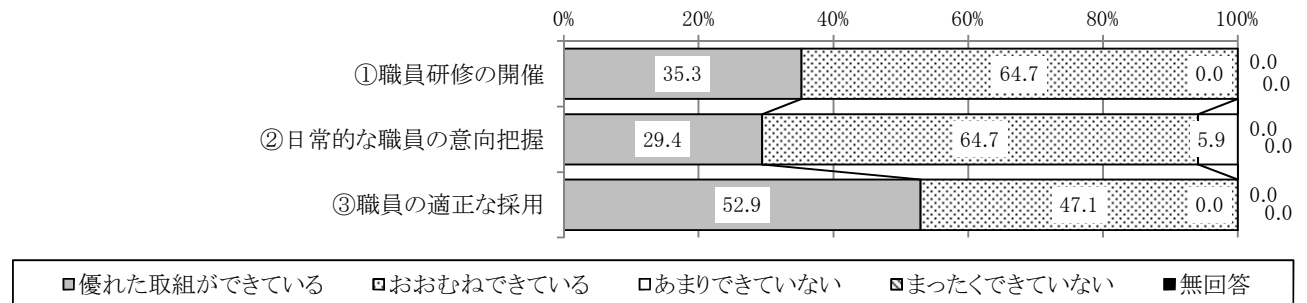
事業者自己評価について、全 18 クラブの単純集計の結果は以下のとおりである。

(1) 組織と運営

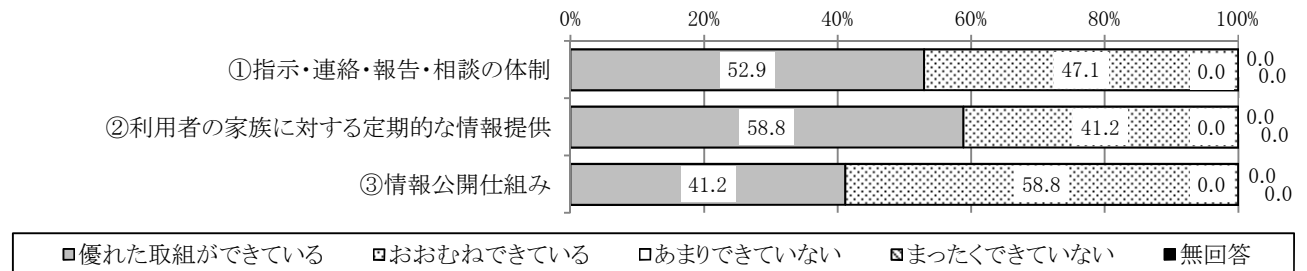
①運営



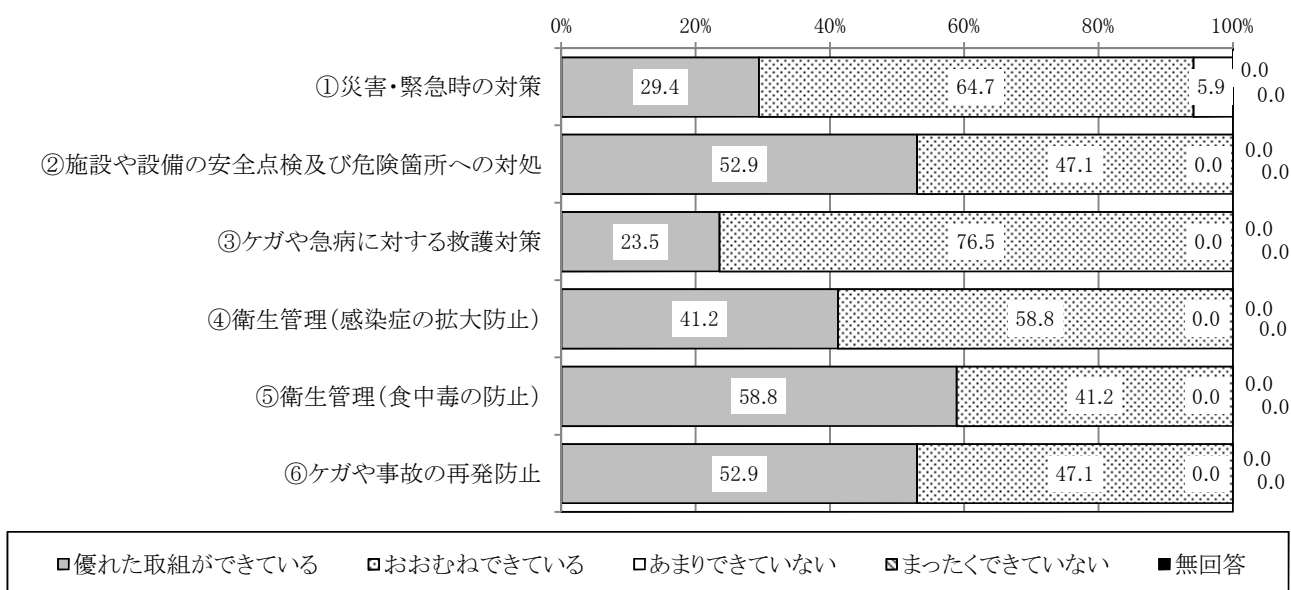
②人事



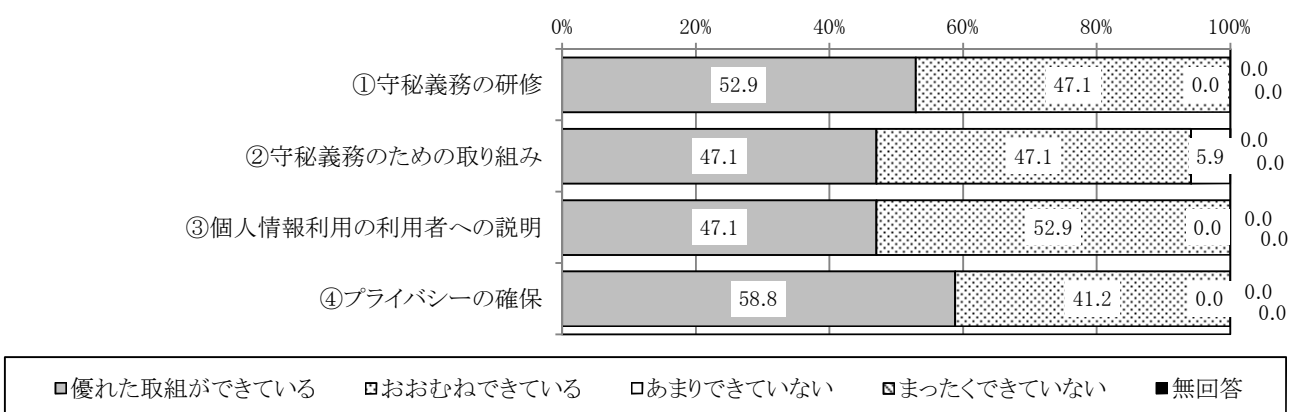
③情報



④危機管理

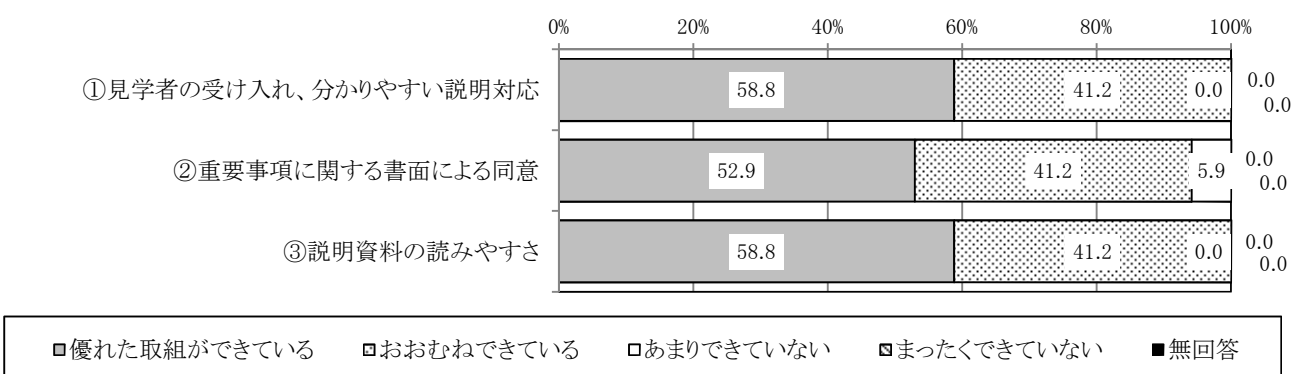


⑤個人情報保護

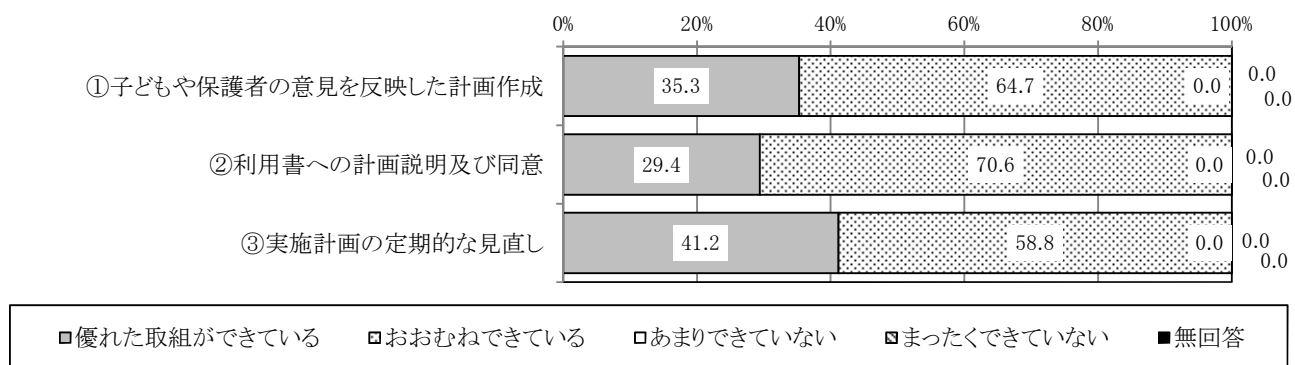


(2) サービス提供のプロセス

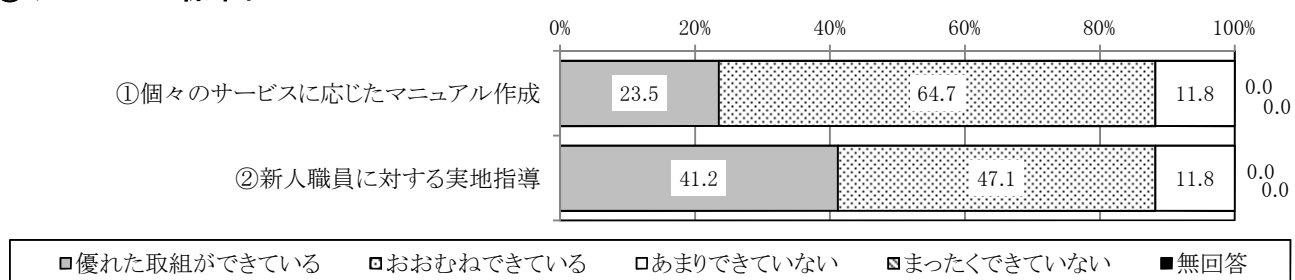
①利用希望者への対応



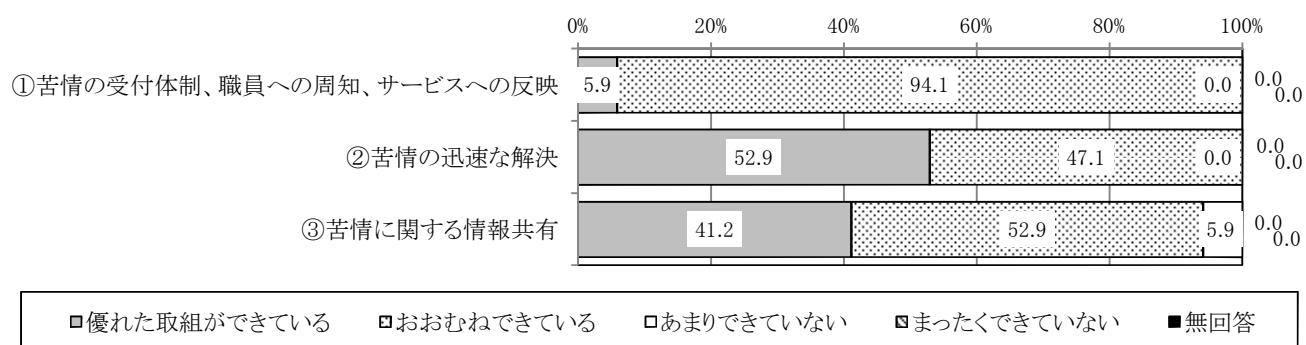
②計画作成・見直し



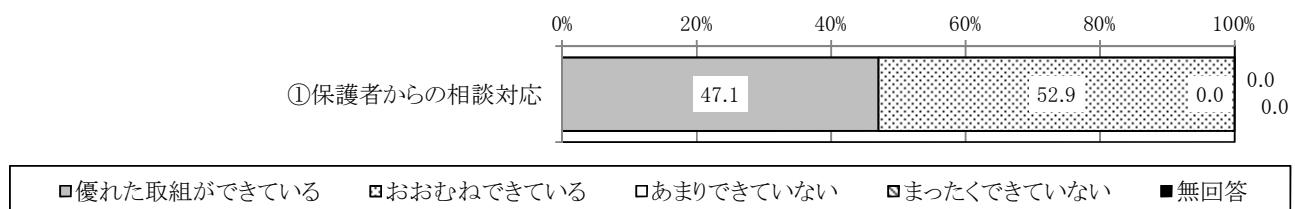
③サービスの標準化



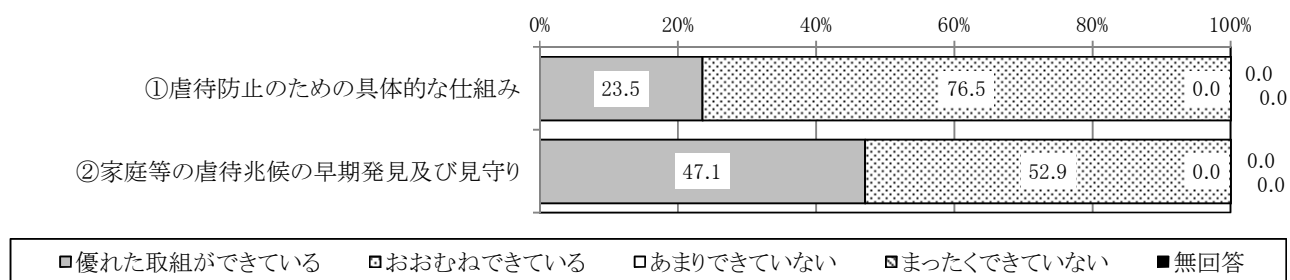
④苦情解決



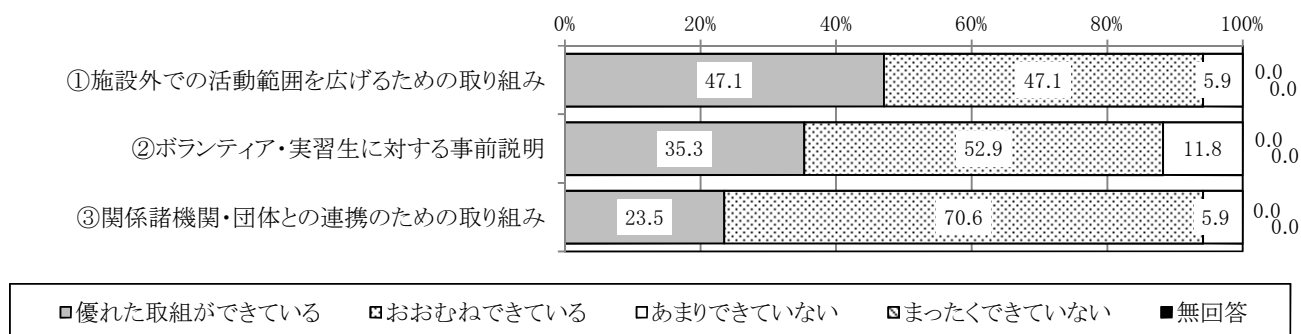
⑤利用者の家族に対するサポート



⑥人権の尊重

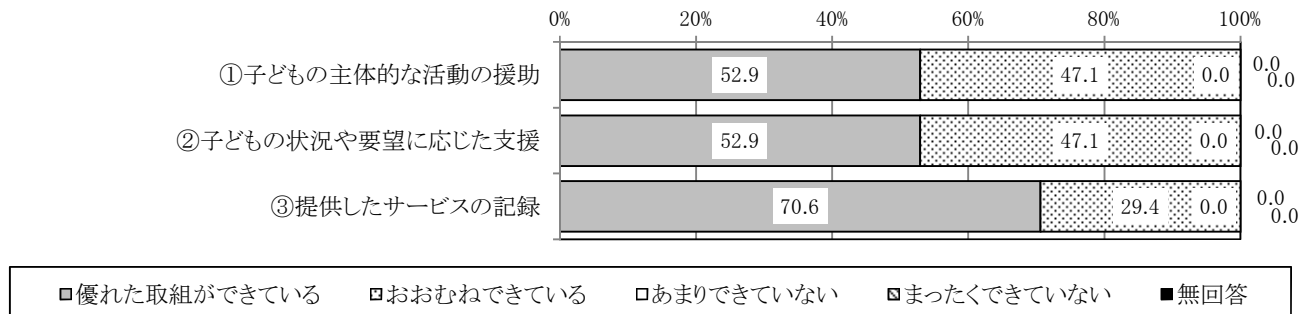


⑦地域との連携・交流

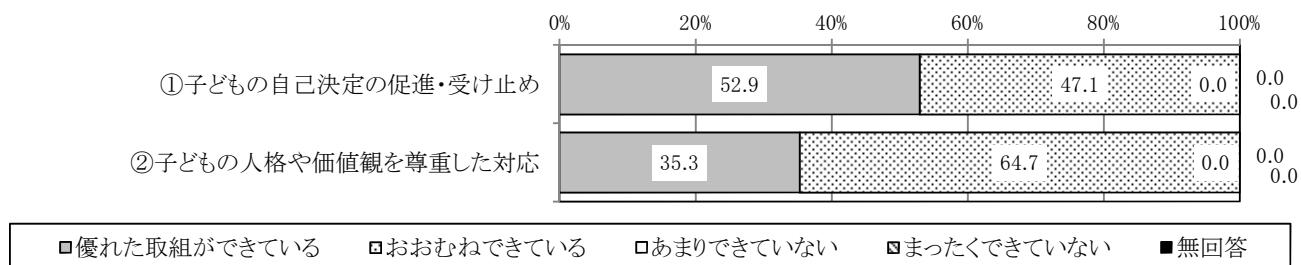


(3) サービスの内用

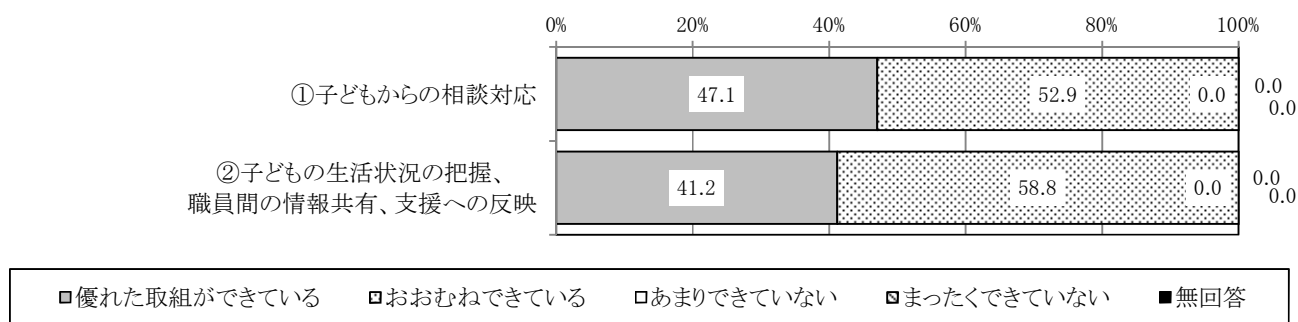
①基本原則



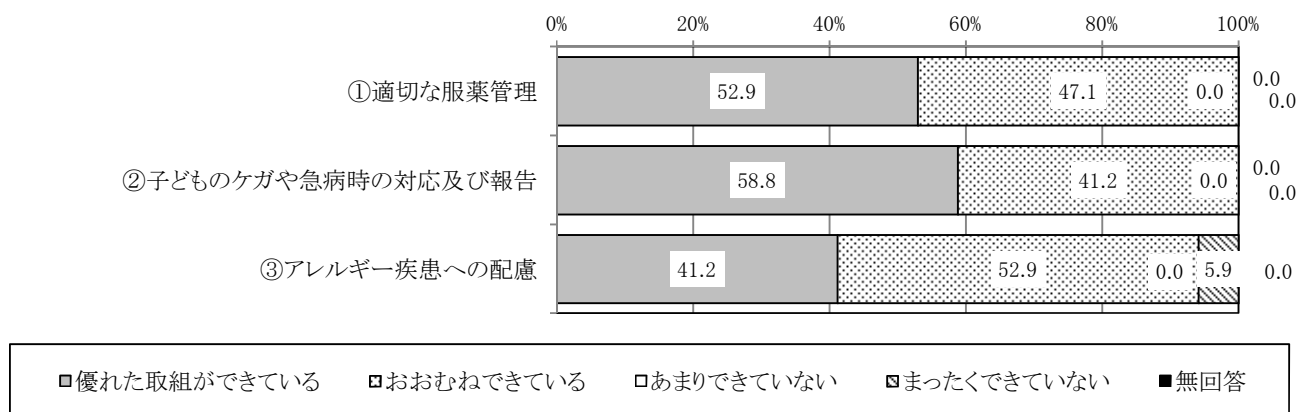
②コミュニケーション



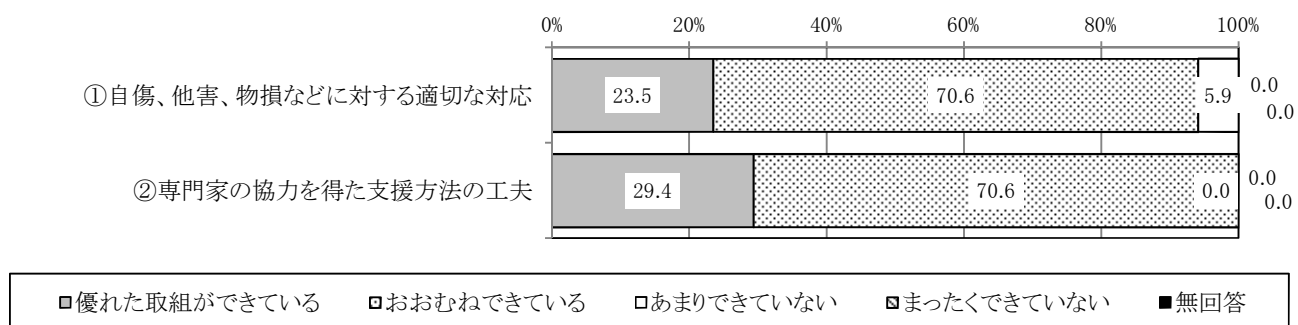
③相談等の援助



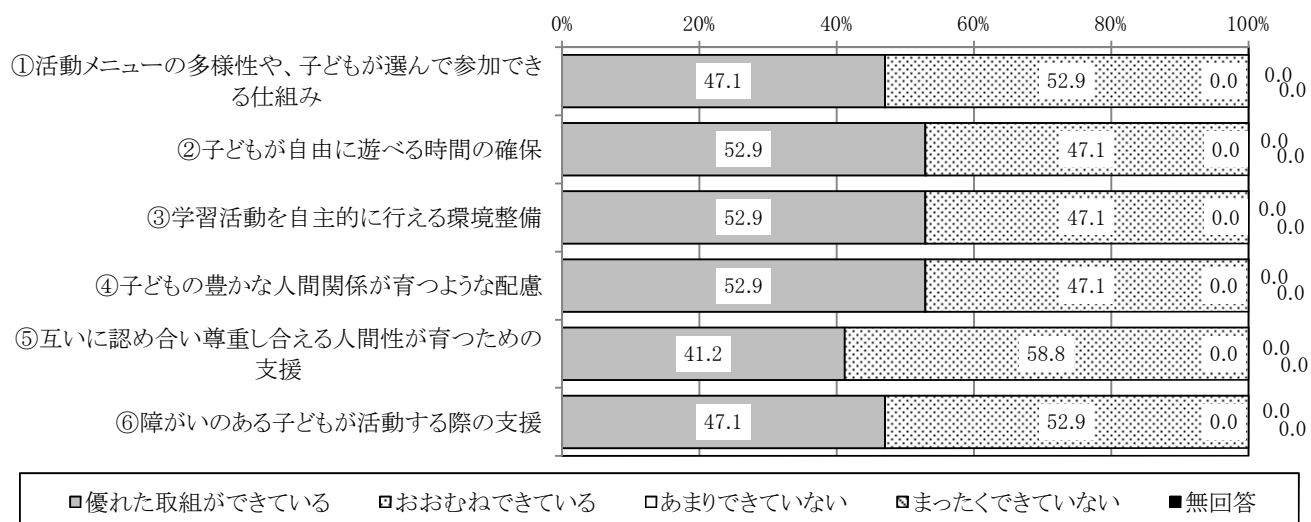
④健康管理



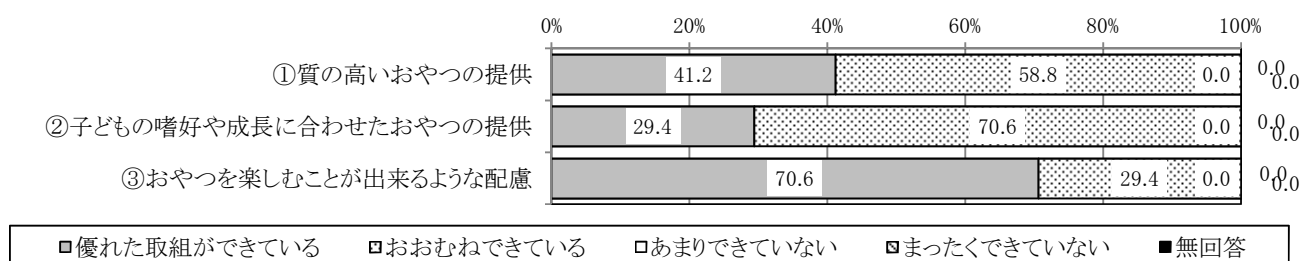
⑤自傷他害への対応



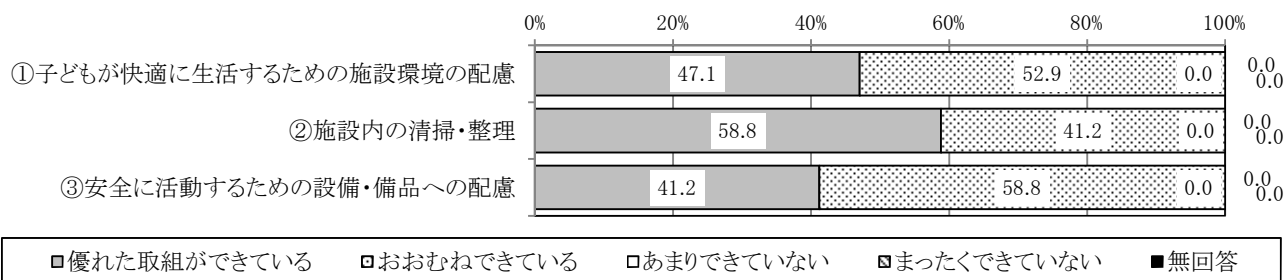
⑥活動



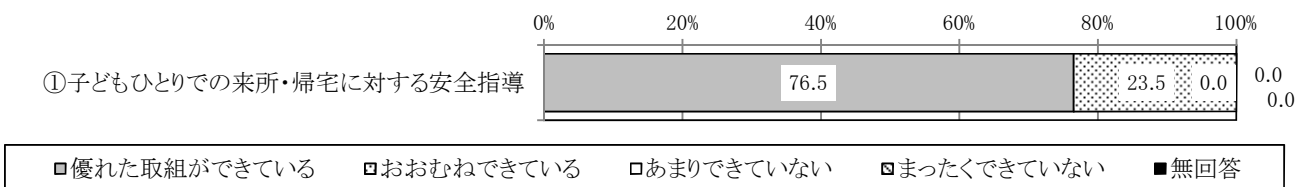
⑦おやつを提供



⑧施設環境



⑨来所・帰宅



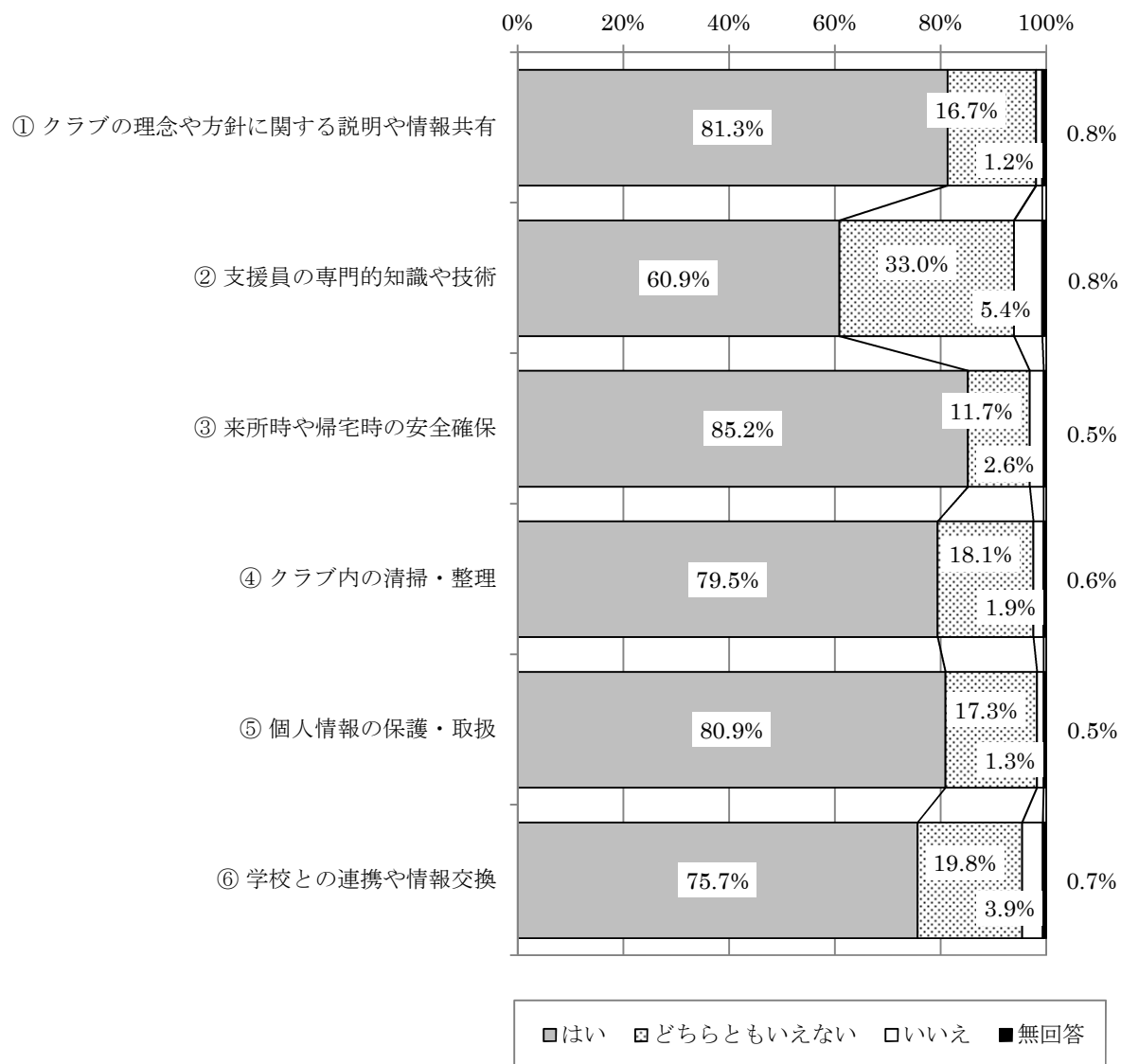
3. 利用者調査の結果

利用者調査について、全回答者の単純集計の結果は以下のとおりである。

(1) 利用しているクラブの組織と運営について

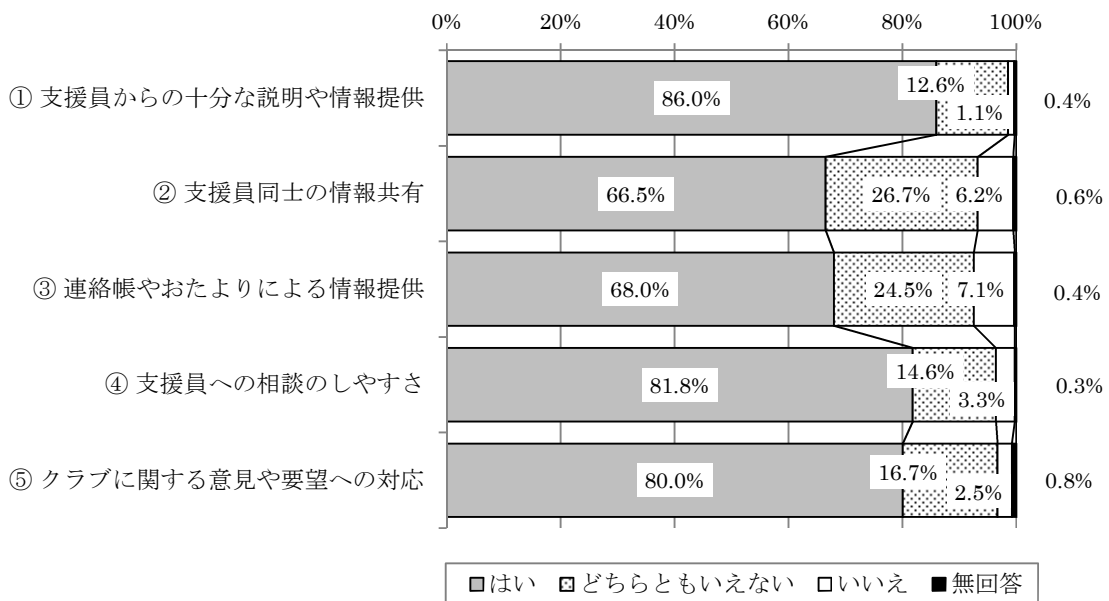
【◆保護者◆】

回答者数=1,027件



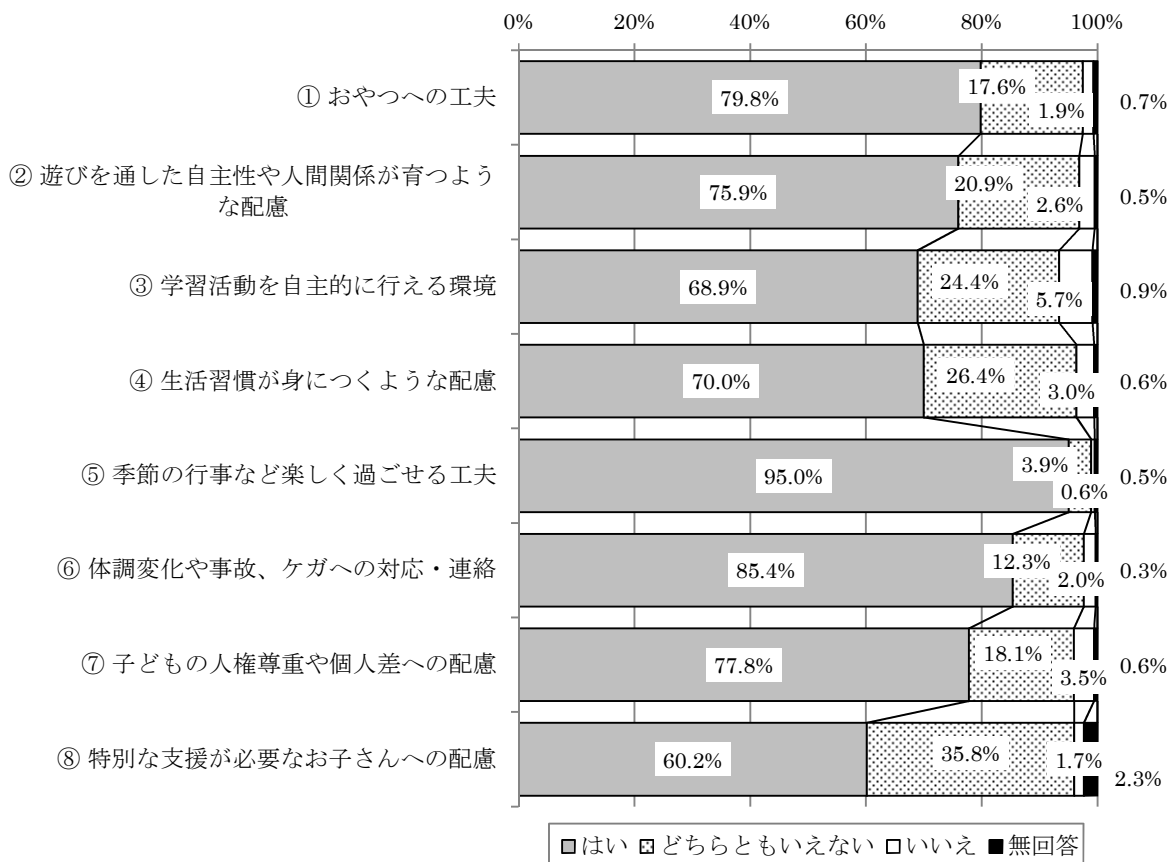
(2) サービス提供の手順について [◆保護者◆]

回答者数=1,027件



(3) 子どもの発達援助について [◆保護者◆]

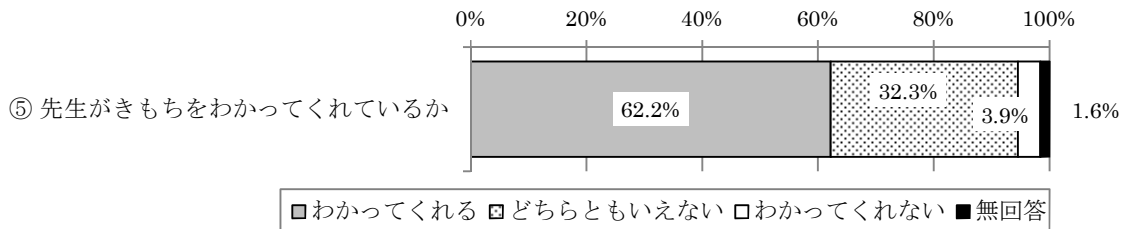
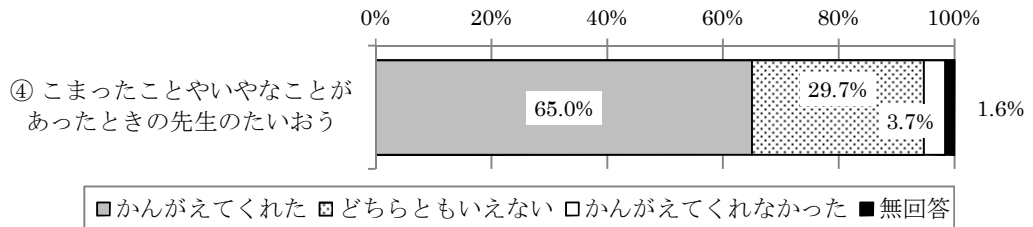
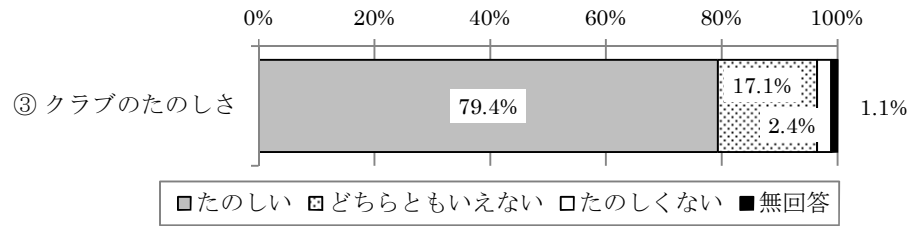
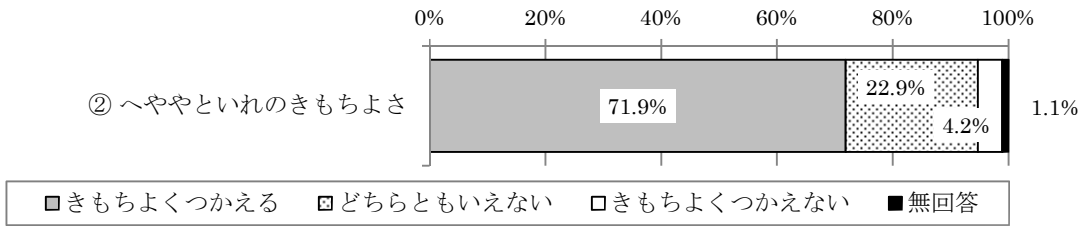
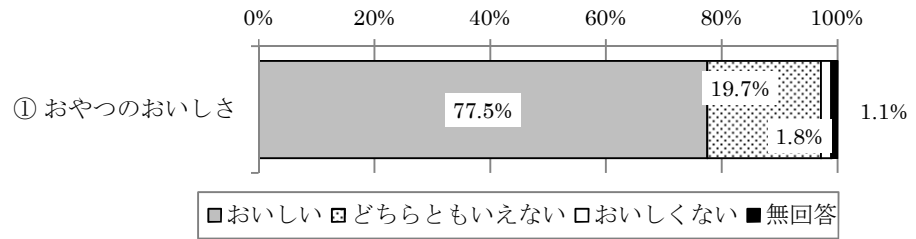
回答者数=1,027件



(4) サービスの提供の手順および発達援助について

[◇児童◇]

回答者数=1,027件



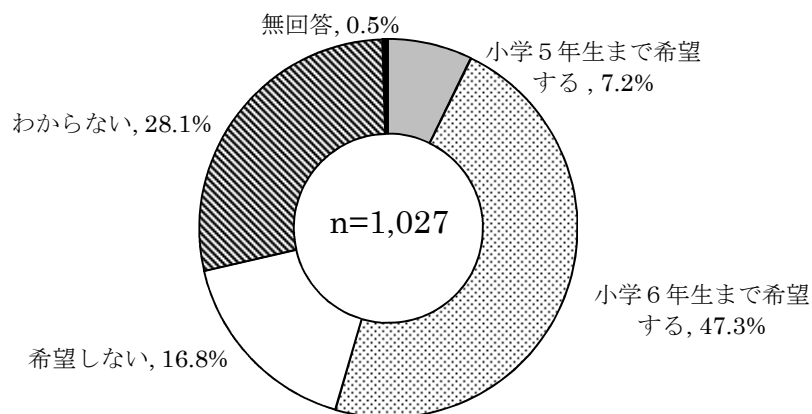
4. 受け入れ学年および開所日の拡充について

利用者調査の結果から、受け入れ学年・開所日の拡充についての単純集計結果は以下のとおりである。

(1) 小学5・6年生までの受け入れについて

【◆保護者◆】

回答者数=1,027件

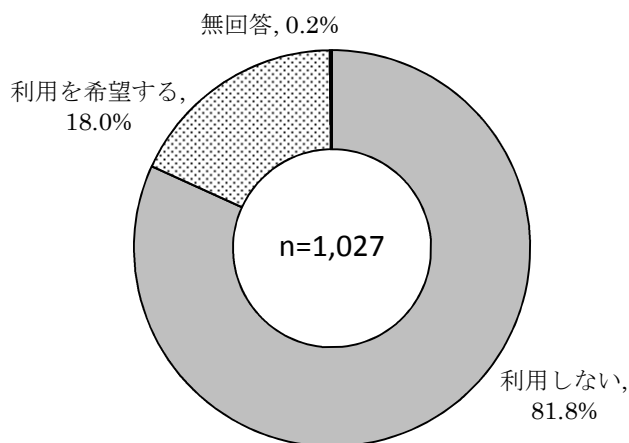


□小学5年生まで希望する □小学6年生まで希望する □希望しない ■わからない ■無回答

(2) 日曜日や祝日の開所希望について

【◆保護者◆】

回答者数=1,027件



□利用しない □利用を希望する ■無回答

5. クラブ別評価結果

評価結果

平成 27 年度

浦安小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール												
事業者の名称		株式会社日本デイケアセンター										
クラブの所在地		浦安市猫実四丁目 9 番 1 号										
クラブの連絡先		電 話	047-351-1990		F A X	047-351-1990						
当該クラブの運営開始日		平成 16 年 4 月 1 日										
開設場所		小学校敷地内										
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		100 人		利用者数		100 人				
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	14 人		うち、男性		3 人		うち、女性		11 人	
		有資格者数		保育士	1 人		幼稚園教諭	3 人		幼稚園以外の教諭	4 人	
	非常勤	職員数	2 人		うち、男性		1 人		うち、女性		1 人	
		有資格者数		保育士	1 人		幼稚園教諭	0 人		幼稚園以外の教諭	0 人	

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	学童保育で大切にしている事は何かを常に職員同士で話し合い、実践して、翌日ミーティングで報告を共有しています。
------------------------------	--

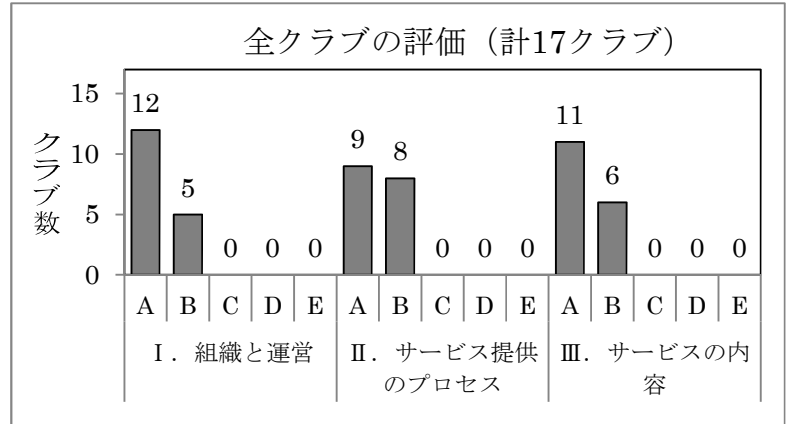
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	毎日、入念なミーティングを行い、前日までの気になる子どもの様子、どう対応したかの報告・反省、今後の対応についてすり寄せ、保護者への伝達等の共通理解、学童保育に大切な事を常に意識し、実践しています。	支援員一人ひとりが、長期的な展望を持ち、保育の質の向上を目指して行きたいと思っています。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービスの提供のプロセス	1 利用希望者への対応	私たちの願い、保護者の願いを聞き、保育の意図を込めながら子どもの成長・発達一人留守番を一体的に展開しながら共に保育計画を立て実践しています。	保護者会やクラブ独自のアンケート、又、保護者参加型の行事(夏祭り)には、その行事についても要望を吸い上げ、保育内容の向上を図っていきたいと思っています。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	子どもの生活や遊びを通して総合的に展開し、子どもの心を大切にし、集団での生活が、できれば充実したものになるように支援しています。そして、保護者と共に子どもの成長の喜びを共有できるようにしています。	「心の成長・思いやり・生きる力・考える力」を身につけていくためにも保護者とのコミュニケーションや信頼関係を深め共に育てるという思いで保育をしていきます。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

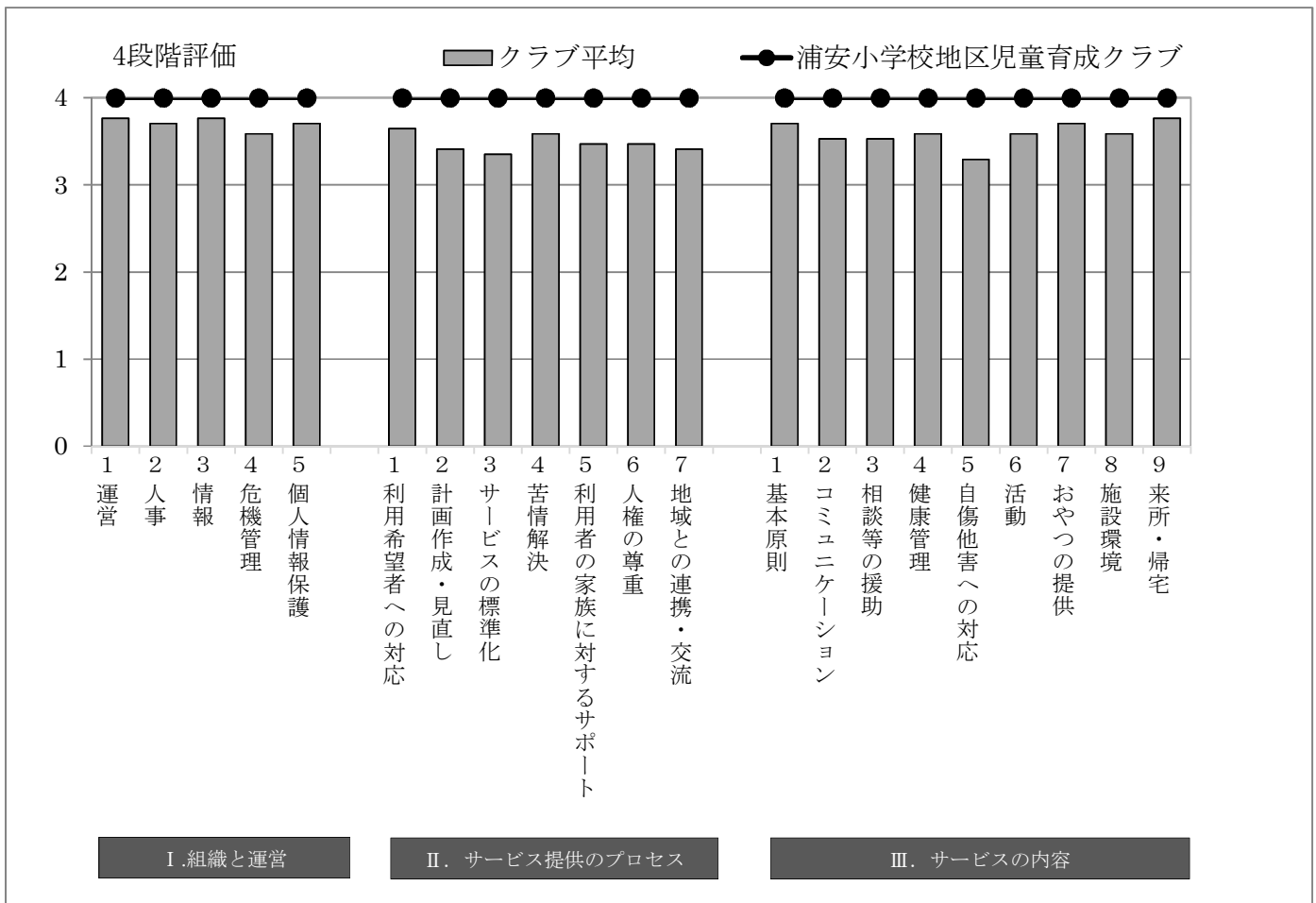
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
Ⅰ. 組織と運営	A
	(A)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	A
	(A)
Ⅲ. サービスの内容	A
	(A)



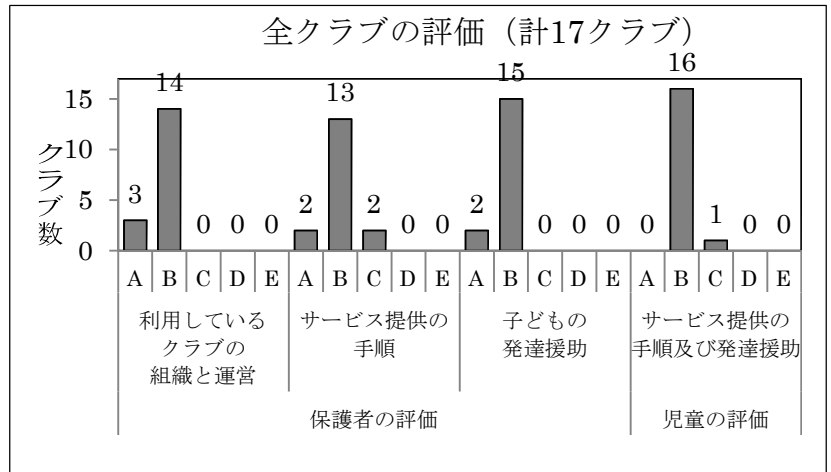
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	95.7%	0.0%	81.3%	1.2%	↑	89.6%	0.0%	△6.1%
	② 支援員の専門的知識や技術	59.6%	8.5%	60.9%	5.4%		68.8%	6.3%	▼9.2%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	93.6%	2.1%	85.2%	2.6%	↑	85.4%	4.2%	△8.2%
	④ クラブ内の清掃・整理	55.3%	6.4%	79.5%	1.9%		68.8%	6.3%	▼13.5%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	78.7%	2.1%	80.9%	1.3%		79.2%	0.0%	▼0.5%
	⑥ 学校との連携や情報交換	63.8%	12.8%	75.7%	3.9%		72.9%	4.2%	▼9.1%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	91.5%	0.0%	86.0%	1.1%	↑	89.6%	0.0%	△1.9%
	② 支援員同士の情報共有	57.4%	14.9%	66.5%	6.2%		64.6%	10.4%	▼7.2%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	68.1%	10.6%	68.0%	7.1%	↑	72.9%	4.2%	▼4.8%
	④ 支援員への相談のしやすさ	72.3%	10.6%	81.8%	3.3%		70.8%	4.2%	△1.5%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	74.5%	8.5%	80.0%	2.5%		75.0%	2.1%	▼0.5%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	74.5%	2.1%	79.8%	1.9%		79.2%	0.0%	▼4.7%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	76.6%	4.3%	75.9%	2.6%	↑	77.1%	0.0%	▼0.5%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	61.7%	12.8%	68.9%	5.7%		60.4%	6.3%	△1.3%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	74.5%	6.4%	70.0%	3.0%	↑	72.9%	2.1%	△1.6%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	95.7%	2.1%	95.0%	0.6%	↑	100.0%	0.0%	▼4.3%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	93.6%	0.0%	85.4%	2.0%	↑	79.2%	6.3%	△14.4%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	76.6%	12.8%	77.8%	3.5%		75.0%	6.3%	△1.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	70.2%	0.0%	60.2%	1.7%	↑	75.0%	2.1%	▼4.8%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	61.7%	2.1%	77.5%	1.8%		57.4%	0.0%	△4.3%
	② へややといれのきもちよさ	61.7%	6.4%	71.9%	4.2%		48.9%	10.6%	△12.8%
	③ クラブのたのしさ	72.3%	2.1%	79.4%	2.4%		76.6%	0.0%	▼4.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	68.1%	6.4%	65.0%	3.7%	↑	53.2%	2.1%	△14.9%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	63.8%	6.4%	62.2%	3.9%	↑	44.7%	8.5%	△19.1%

評価結果

平成 27 年度

南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社日本デイケアセンター						
クラブの所在地		浦安市堀江五丁目 4 番 1 号						
クラブの連絡先		電 話	047-352-1697	F A X	047-352-1697			
当該クラブの運営開始日		平成 22 年 4 月 1 日						
開設場所		小学校敷地内／その他（分室）						
定員／現在の利用者数 （平成 27 年 12 月末現在）		定 員		185 人	利 用 者 数		150 人	
職員数 <small>（平成 27 年 12 月末現在）</small>	常勤	職員数	7 人	うち、男性	1 人	うち、女性	6 人	
		有資格者数		保育士	2 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	10 人	うち、男性	1 人	うち、女性	9 人	
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	①子どもの自主性を尊重し、高められる指導・場づくり ②子どもの社会性を育てる指導・場作り ③地域に根ざした指導・場作り
------------------------------	---

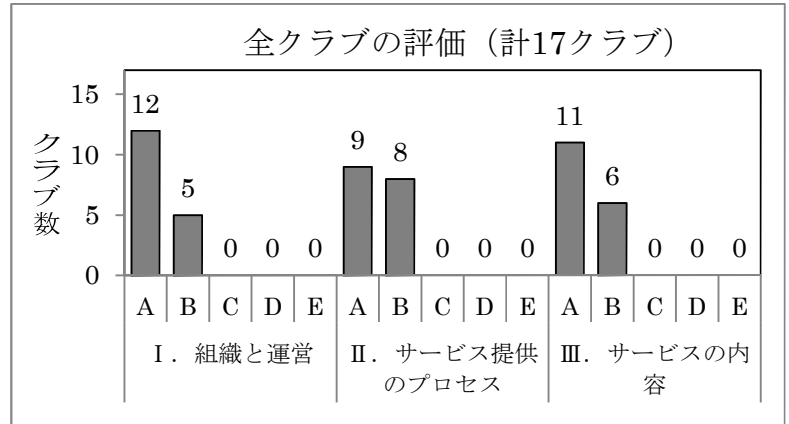
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や苦情等の対応は迅速に行っています。 ・緊急時の対応のフローチャートを配り、訓練しています。 ・職員会議で意見交換会を活発に行い、学校職員との連携を大切にしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報については厳重に管理します。 ・メール送信の時はダブルチェックをし、確実に個人情報漏えいを防止します。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や運営協議会にかかわらず、会計監査や普段のお迎えの時など、保護者の要望を聞き、取り込むように努めています。 ・地域のゴミ拾いなどに参加したり、多世代交流など近所のお年寄りと交流する行事をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受け付けの仕組みを更に明確化します。 ・体罰防止マニュアルはあるが、更に詳しいマニュアルの作成に努めます。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会など、子ども達の楽しめるゲームやプレゼントを取り入れています。 ・おやつを作る行事を行い、食べる楽しさを育てています。 ・遊びを通して自分の意見を相手に伝えられるよう促しています。 ・子どもが安全に帰れるよう交通安全教室を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー児童のための食べる楽しさを伝える行事などをしていきます。 ・アレルギー児童のために周囲の理解を促していきます。 ・支援児に対して優しい気持ちで接することができるよう心を豊かに育てていきます。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつの提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

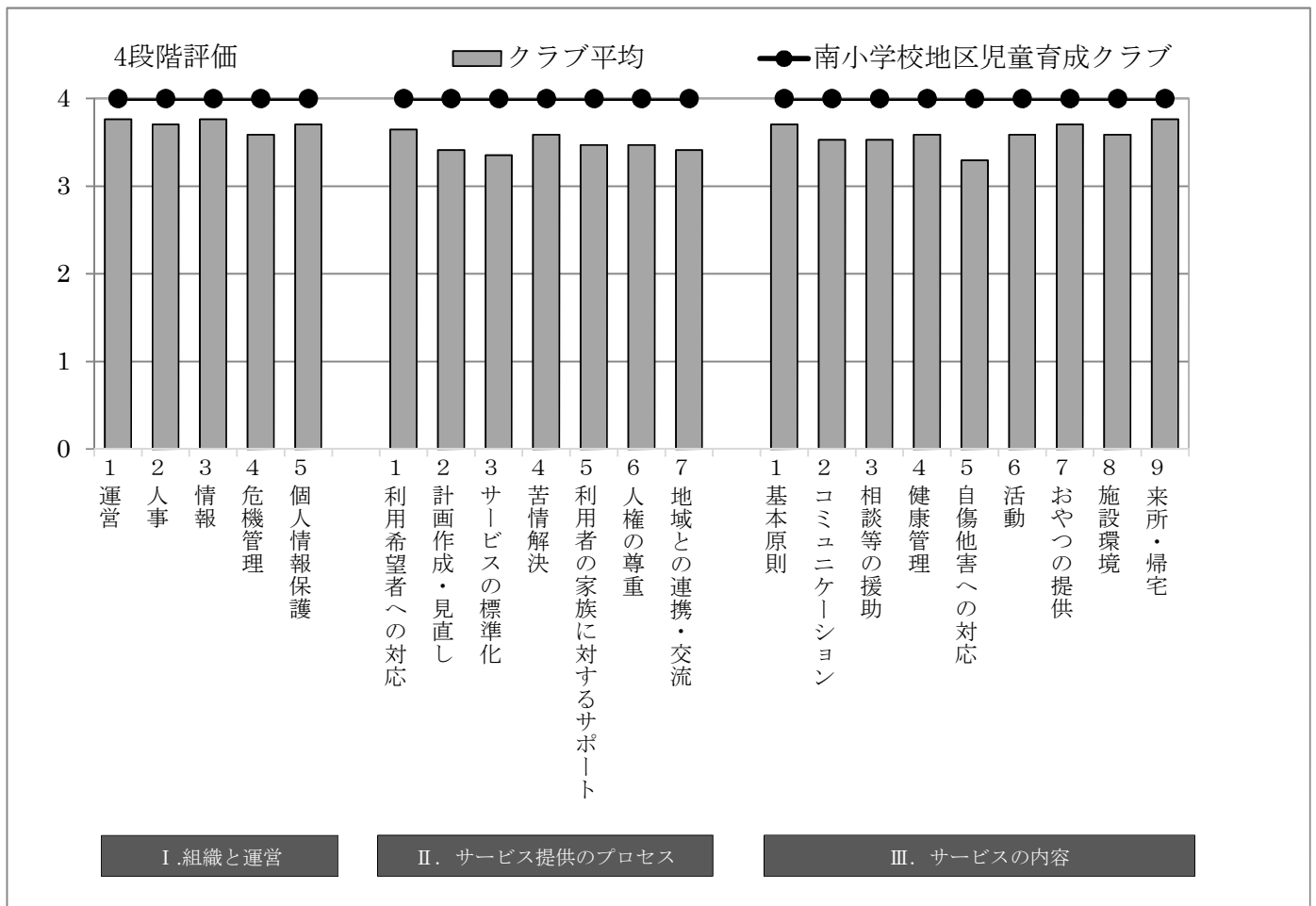
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
I. 組織と運営	A
	(B)
II. サービス提供の プロセス	A
	(B)
III. サービスの内容	A
	(A)



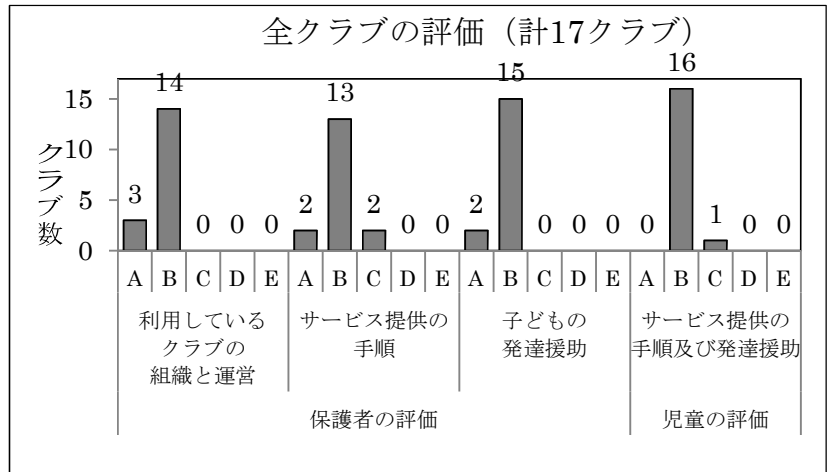
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	82.1%	0.0%	81.3%	1.2%	↑	84.4%	0.0%	▼2.3%
	② 支援員の専門的知識や技術	55.1%	5.1%	60.9%	5.4%		42.9%	7.8%	△12.2%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	79.5%	3.8%	85.2%	2.6%		83.1%	2.6%	▼3.6%
	④ クラブ内の清掃・整理	61.5%	2.6%	79.5%	1.9%		67.5%	5.2%	▼6.0%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	69.2%	6.4%	80.9%	1.3%		75.3%	0.0%	▼6.1%
	⑥ 学校との連携や情報交換	65.4%	3.8%	75.7%	3.9%		63.6%	5.2%	△1.8%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	84.6%	1.3%	86.0%	1.1%		89.6%	1.3%	▼5.0%
	② 支援員同士の情報共有	62.8%	10.3%	66.5%	6.2%		63.6%	9.1%	▼0.8%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	60.3%	15.4%	68.0%	7.1%		49.4%	15.6%	△10.9%
	④ 支援員への相談のしやすさ	78.2%	3.8%	81.8%	3.3%		67.5%	2.6%	△10.7%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	64.1%	5.1%	80.0%	2.5%		64.9%	3.9%	▼0.8%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	61.5%	3.8%	79.8%	1.9%		61.0%	0.0%	△0.5%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	70.5%	3.8%	75.9%	2.6%		66.2%	2.6%	△4.3%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	65.4%	7.7%	68.9%	5.7%		51.9%	7.8%	△13.5%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	60.3%	6.4%	70.0%	3.0%		66.2%	5.2%	▼5.9%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	88.5%	1.3%	95.0%	0.6%		94.8%	0.0%	▼6.3%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	78.2%	3.8%	85.4%	2.0%		85.7%	1.3%	▼7.5%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	64.1%	5.1%	77.8%	3.5%		72.7%	2.6%	▼8.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	38.5%	0.0%	60.2%	1.7%		39.0%	3.9%	▼0.5%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	76.9%	2.6%	77.5%	1.8%		76.3%	1.3%	△0.6%
	② へややといれのきもちよさ	69.2%	5.1%	71.9%	4.2%		72.4%	5.3%	▼3.2%
	③ クラブのたのしさ	74.4%	2.6%	79.4%	2.4%		71.1%	11.8%	△3.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	64.1%	2.6%	65.0%	3.7%		64.5%	3.9%	▼0.4%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	56.4%	3.8%	62.2%	3.9%		60.5%	6.6%	▼4.1%

評価結果

平成 27 年度

北部小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		NPO法人 ワーカーズコープ							
クラブの所在地		浦安市北栄三丁目 20 番 3 号							
クラブの連絡先		電 話	047-351-1782	F A X	047-351-1782				
当該クラブの運営開始日		平成 22 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地外							
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		200 人		利 用 者 数		177 人	
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常 勤	職員数	12 人	うち、男性		6 人	うち、女性		6 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園 教諭	1 人	幼稚園以 外の教諭	7 人
	非常勤	職員数	22 人	うち、男性		6 人	うち、女性		16 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園 教諭	2 人	幼稚園以 外の教諭	0 人

運営事業者のサービス提供方針

<p>サービスの提供にあたって大切にしていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども 1 人ひとりの自主性、自発性、創造性を育てます。 ・子どもたち同士の話し合いや提案を大切にし、実行できるようにサポートしています。 ・地域の中で子育てをするという視点を大切にし、地域交流を積極的に行います。
-------------------------------------	--

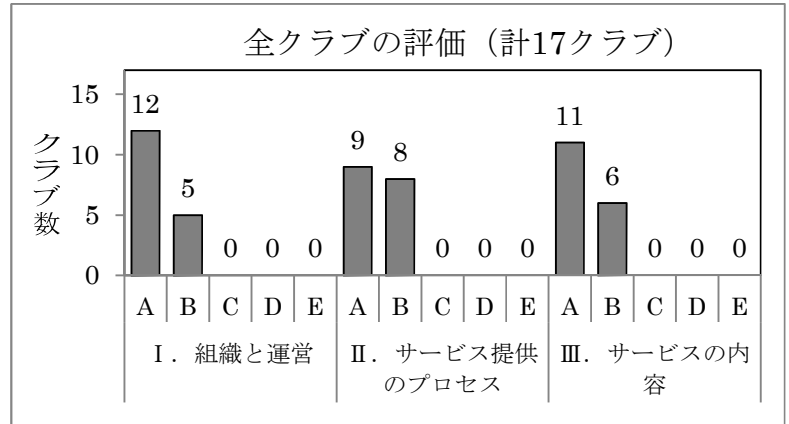
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>支援員一人ひとりが経営者として、運営に責任を持っている。毎日のミーティングや毎月の会議において話し合いや情報の共有を頻繁に行い、保育に活かすようにしている。</p> <p>また、同事業者 3 クラブが連携してマニュアル作成を行うことで、運営体制を整えている。それと共に、ほぼ毎月合同で研修会を行い、学びを深めるとともに指導員同士で情報交換を行っている。</p>	<p>支援員が保護者、学校、地域の連携をはかり一緒に子どもを育てていけるようますます働きかけていく。</p> <p>支援員研修の内容を充実することで、継続して働きやすい環境を整えていきたい。</p> <p>支援員が学童のプロとしてのスキルと能力を高める仕組みをさらにつくり上げていきたい。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>子どもを中心に、子どもが主役になれるような保育を目指している。自分たちで生活や遊びの決まりを考えたり、行事においては、実行委員を立て企画するところから子どもが参加できるようにしてきた。運営においては、地域との連携で子育てをしてもらうという視点から、ハローウィン時には、近隣の家庭や施設を訪問することで学童の子どもたちとのふれあいをお願いした。また、小学校とは、毎日のように教頭先生と合い、日々の情報交換を行い、学校を一体となって、子どもの支援を行っている。保護者が安心して仕事ができるようにクラブも支えていく。</p>	<p>お世話になっている自治会の方、近隣の幼保育園、福祉施設などの地域の方々と、より関わりが深くできるようにしていきたい。そのことによって、子ども自身が地域の方々に見守られながら大切に育てられているという実感を持てるようにしたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>クラブは第二の家庭と考え、子ども達にとって安心できる居場所になるようにしている。季節や伝統行事を大切にしながら、子ども達と共に自主性、自発性、創造性を育てるような行事を企画、実行している。</p> <p>おやつに関しては、アレルギー児童に対しては、全職員の注意がいくようにミーティング等で意識付けをしている。</p>	<p>遊びや生活の中で、異学年、支援児が自然に関わりが持てるように、工夫していきたい。子ども達が安全に過ごせる場の環境づくりをさらに強化していきたい。行事においては、今年度以上に子どもの参加や活躍の場を増やしていきたい。興味・関心に合うレベルや内容を一緒に選び、実践を積み重ねることで、保護者と共に子どもの成長を喜び合えるようになりたい。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

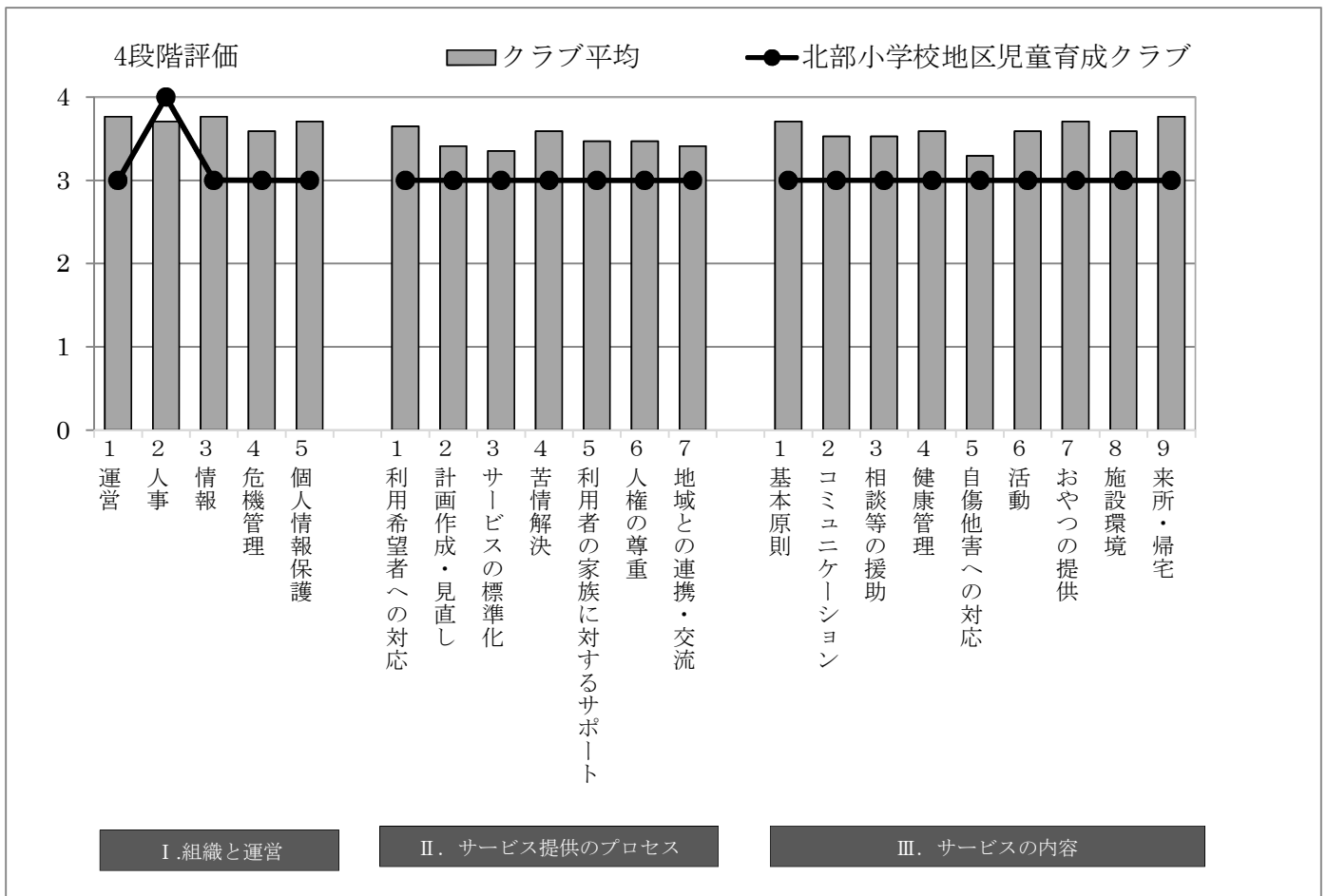
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
I. 組織と運営	B (B)
II. サービス提供の プロセス	B (B)
III. サービスの内容	B (B)



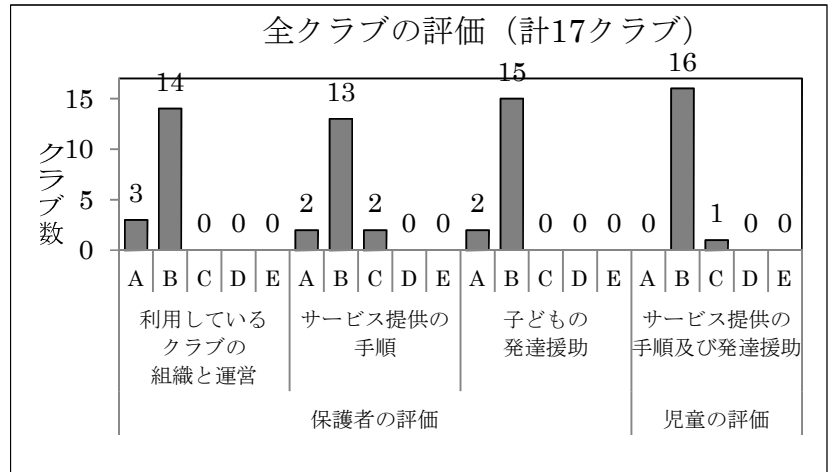
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	C (C)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	59.4%	5.9%	81.3%	1.2%		63.4%	4.3%	▼4.0%
	② 支援員の専門的知識や技術	36.6%	19.8%	60.9%	5.4%		32.3%	16.1%	△4.3%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	53.5%	10.9%	85.2%	2.6%		55.9%	10.8%	▼2.4%
	④ クラブ内の清掃・整理	79.2%	2.0%	79.5%	1.9%		69.9%	2.2%	△9.3%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	63.4%	3.0%	80.9%	1.3%		73.1%	2.2%	▼9.7%
	⑥ 学校との連携や情報交換	64.4%	6.9%	75.7%	3.9%		53.8%	8.6%	△10.6%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	64.4%	5.0%	86.0%	1.1%		71.0%	7.5%	▼6.6%
	② 支援員同士の情報共有	33.7%	16.8%	66.5%	6.2%		39.8%	17.2%	▼6.1%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	56.4%	11.9%	68.0%	7.1%		50.5%	19.4%	△5.9%
	④ 支援員への相談のしやすさ	62.4%	5.9%	81.8%	3.3%		57.0%	10.8%	△5.4%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	65.3%	7.9%	80.0%	2.5%		55.9%	7.5%	△9.4%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	66.3%	2.0%	79.8%	1.9%		67.7%	2.2%	▼1.4%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	51.5%	6.9%	75.9%	2.6%		59.1%	6.5%	▼7.6%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	60.4%	5.9%	68.9%	5.7%		55.9%	7.5%	△4.5%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	47.5%	6.9%	70.0%	3.0%		50.5%	3.2%	▼3.0%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	92.1%	1.0%	95.0%	0.6%		89.2%	2.2%	△2.9%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	75.2%	4.0%	85.4%	2.0%		74.2%	7.5%	△1.0%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	51.5%	9.9%	77.8%	3.5%		60.2%	6.5%	▼8.7%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	59.4%	3.0%	60.2%	1.7%		64.5%	3.2%	▼5.1%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	71.3%	3.0%	77.5%	1.8%		81.7%	2.2%	▼10.4%
	② へややといれのきもちよさ	65.3%	5.9%	71.9%	4.2%		74.2%	7.5%	▼8.9%
	③ クラブのたのしさ	72.3%	5.0%	79.4%	2.4%		74.2%	3.2%	▼1.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	62.4%	5.9%	65.0%	3.7%		65.6%	4.3%	▼3.2%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	57.4%	7.9%	62.2%	3.9%		64.5%	5.4%	▼7.1%

評価結果

平成 27 年度

見明川小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		社会福祉法人わかみや福祉会							
クラブの所在地		浦安市弁天三丁目 1 番 2 号							
クラブの連絡先		電 話	047-351-1633	F A X	047-351-1633				
当該クラブの運営開始日		平成 24 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		80 人		利用者数		82 人	
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	3 人	うち、男性		2 人	うち、女性		1 人
		有資格者数		保育士	3 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	0 人
	非常勤	職員数	5 人	うち、男性		1 人	うち、女性		4 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭	1 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と職員が力を合わせ児童によりよい環境を作る。 ・保護者が安心して働くことができるよう保育の充実を目指す。 ・子育て相談機関としての役割を自覚し、地域に開かれた学童保育を目指す。
------------------------------	--

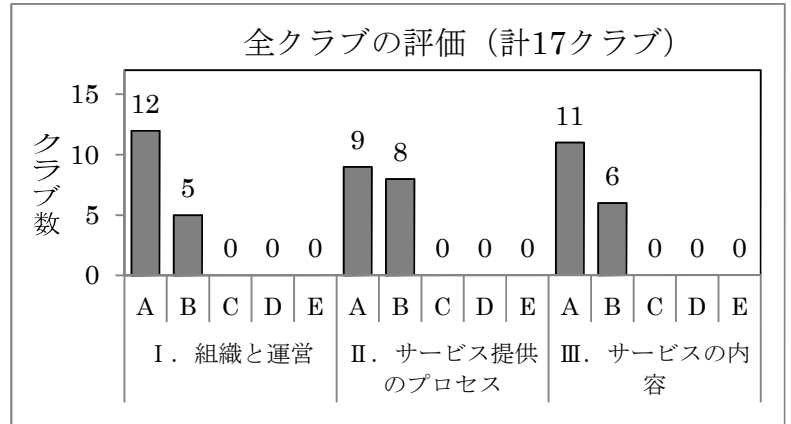
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	保育園運営実績も踏まえながら社会福祉法人としての組織作りをしっかりと行っている。職員間の連絡・連携及び、情報交換も日々細やかかつ丁寧に行っている。どんな場合も利用者の意見や思いに寄り添った対応を心がけている。また、個人情報保護を尊重し、法人として必要に応じて情報の公開を行っている。各クラスに有資格者（保育士資格）を配置し、よりよい保育や支援が出来る環境作りを努めている。	保護者会等を通し、保護者意見を出来るだけ反映できるようにしている。 (行事・おやつ) また、個々の成長や相談はその都度対応している体制を作っている。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	利用希望者の方には、随時見学や相談の対応・説明を行っている。出来るだけ利用者のニーズに応えられるよう同法人の保育園や児童育成クラブと情報を共有しながら、保育の質を高められるよう努力している。また、子どもの人権を尊重し、一人ひとりの思いを受け止め、愛情を持った関わりを行っている。 支援が必要な子どもや家庭環境が複雑で日々の生活に影響している子どもには、小学校と連携をとり、虐待等の早期発見や問題解決、心のケアに努めている。	地域交流に関しては、同法人の保育園児や児童育成クラブとの交流会を行っているが、回数が少ないので定期的にできるようにしていく。 記録やマニュアルが不十分なものは早々に作成し、職員に周知徹底させるようにしていく。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	子ども一人ひとりの自主性を尊重しながら、計画や見通しを持って遊びや活動・行事に取り組んでいる。また、子どもたちの健康や安全を留意し、環境設定・整備を十分に行い怪我や病気を事前に防いでいる。おやつに関してはできるだけ手作りに近いものを提供し、季節に合ったものや子どもたちが楽しめるおやつにすることで食育にも繋げている。	おやつや行事等は改善できるところがあるので、現状で満足せず、よりよいものが提供できるよう検討・実施していく。また、施設環境や遊びの環境も整え、より快適に過ごせるよう取り組んでいく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

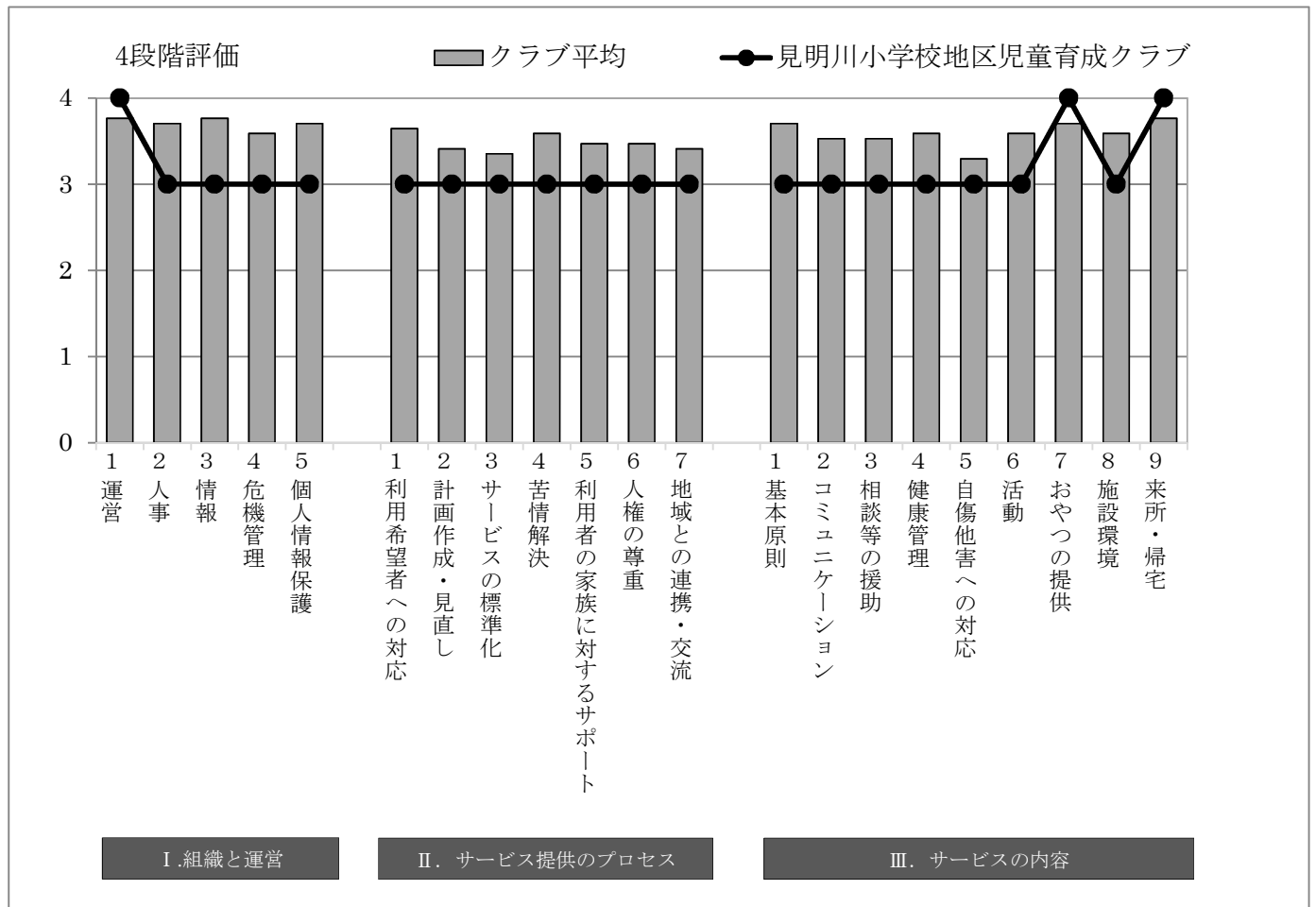
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
I. 組織と運営	B
	(B)
II. サービス提供の プロセス	B
	(B)
III. サービスの内容	B
	(B)



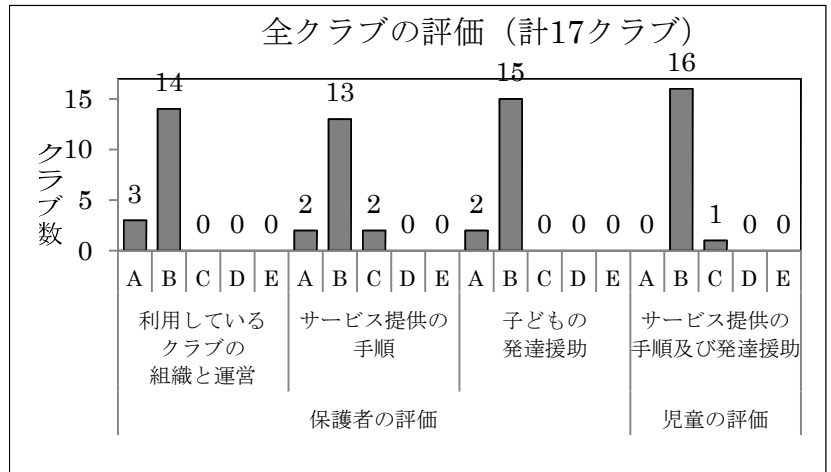
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (A)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	A (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	84.3%	5.9%	81.3%	1.2%	↑	81.1%	0.0%	△3.2%
	② 支援員の専門的知識や技術	76.5%	2.0%	60.9%	5.4%	↑	69.8%	5.7%	△6.7%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	98.0%	0.0%	85.2%	2.6%	↑	88.7%	0.0%	△9.3%
	④ クラブ内の清掃・整理	82.4%	0.0%	79.5%	1.9%	↑	81.1%	1.9%	△1.3%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	92.2%	0.0%	80.9%	1.3%	↑	81.1%	0.0%	△11.1%
	⑥ 学校との連携や情報交換	84.3%	2.0%	75.7%	3.9%	↑	77.4%	7.5%	△6.9%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	92.2%	2.0%	86.0%	1.1%	↑	88.7%	0.0%	△3.5%
	② 支援員同士の情報共有	80.4%	0.0%	66.5%	6.2%	↑	71.7%	3.8%	△8.7%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	70.6%	5.9%	68.0%	7.1%	↑	73.6%	17.0%	▼3.0%
	④ 支援員への相談のしやすさ	84.3%	5.9%	81.8%	3.3%	↑	81.1%	1.9%	△3.2%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	86.3%	0.0%	80.0%	2.5%	↑	75.5%	3.8%	△10.8%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	96.1%	0.0%	79.8%	1.9%	↑	94.3%	0.0%	△1.8%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	86.3%	0.0%	75.9%	2.6%	↑	73.6%	5.7%	△12.7%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	84.3%	3.9%	68.9%	5.7%	↑	77.4%	5.7%	△6.9%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	88.2%	2.0%	70.0%	3.0%	↑	66.0%	5.7%	△22.2%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.0%	0.0%	95.0%	0.6%	↑	98.1%	0.0%	▼0.1%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	78.4%	3.9%	85.4%	2.0%		83.0%	5.7%	▼4.6%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	86.3%	2.0%	77.8%	3.5%	↑	77.4%	5.7%	△8.9%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	76.5%	0.0%	60.2%	1.7%	↑	66.0%	0.0%	△10.5%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	80.4%	0.0%	77.5%	1.8%	↑	81.1%	1.9%	▼0.7%
	② へややといれのきもちよさ	80.4%	0.0%	71.9%	4.2%	↑	71.7%	1.9%	△8.7%
	③ クラブのたのしさ	86.3%	0.0%	79.4%	2.4%	↑	81.1%	3.8%	△5.2%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	64.7%	2.0%	65.0%	3.7%		60.4%	3.8%	△4.3%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	62.7%	2.0%	62.2%	3.9%	↑	54.7%	3.8%	△8.0%

評価結果

平成 27 年度

富岡小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール										
事業者の名称		富岡小学校地区児童育成クラブ運営委員会								
クラブの所在地		浦安市富岡一丁目 1 番 1 号								
クラブの連絡先		電 話	047-352-7400		F A X	047-352-7400				
当該クラブの運営開始日		平成 9 年 10 月 1 日								
開設場所		小学校校舎内								
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		85 人		利用者数		52 人		
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人		うち、男性	0 人		うち、女性	4 人	
		有資格者数	保育士	0 人		幼稚園教諭	0 人		幼稚園以外の教諭	0 人
	非常勤	職員数	4 人		うち、男性	0 人		うち、女性	4 人	
		有資格者数	保育士	1 人		幼稚園教諭	1 人		幼稚園以外の教諭	1 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係を大切にします。 ・保護者が安心して働く事が出来る様に保育の充実をはかる。 ・子ども達にとって居心地の良い場所であり、社会性を身に付けている様、心がけている。 ・地域の人々の協力を得て子ども達を育てている。
------------------------------	--

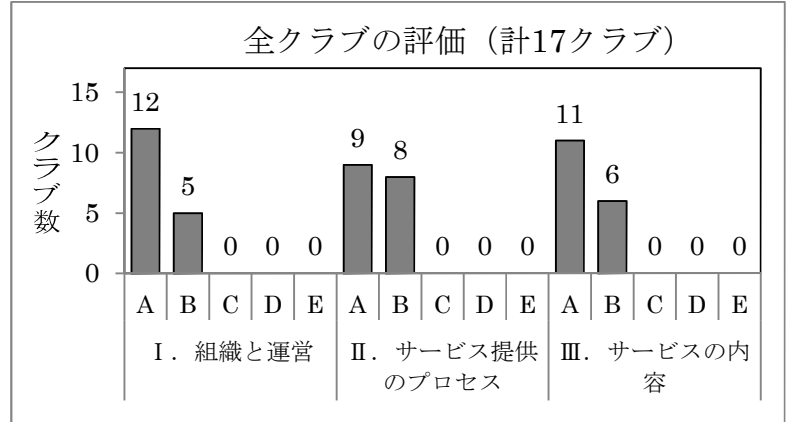
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の役員会と支援員との話し合い ・育成協議会（2ヶ月毎） ・支援員ミーティング ・毎月のお便り発行 ・議事録発行 ・学校と連携を密にとっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会に来られない保護者、1人帰りの保護者と話し合う機会が少ないので保護者面談をしていく。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービスの提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のサービス毎に計画書、プロセスをマニュアル化し取り組んでいる。 ・学童カードで通信欄を活用し必要に応じ手紙等に対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル化していないものに関して整理し速やかに対応していきたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちに寄り添い環境設定を十分に整えることで事前に防いでいる。 ・地域の方々の協力を得て季節に応じて様々な行事を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、地域の方々と共に子どもが快適にすごせる様取り組んでいく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

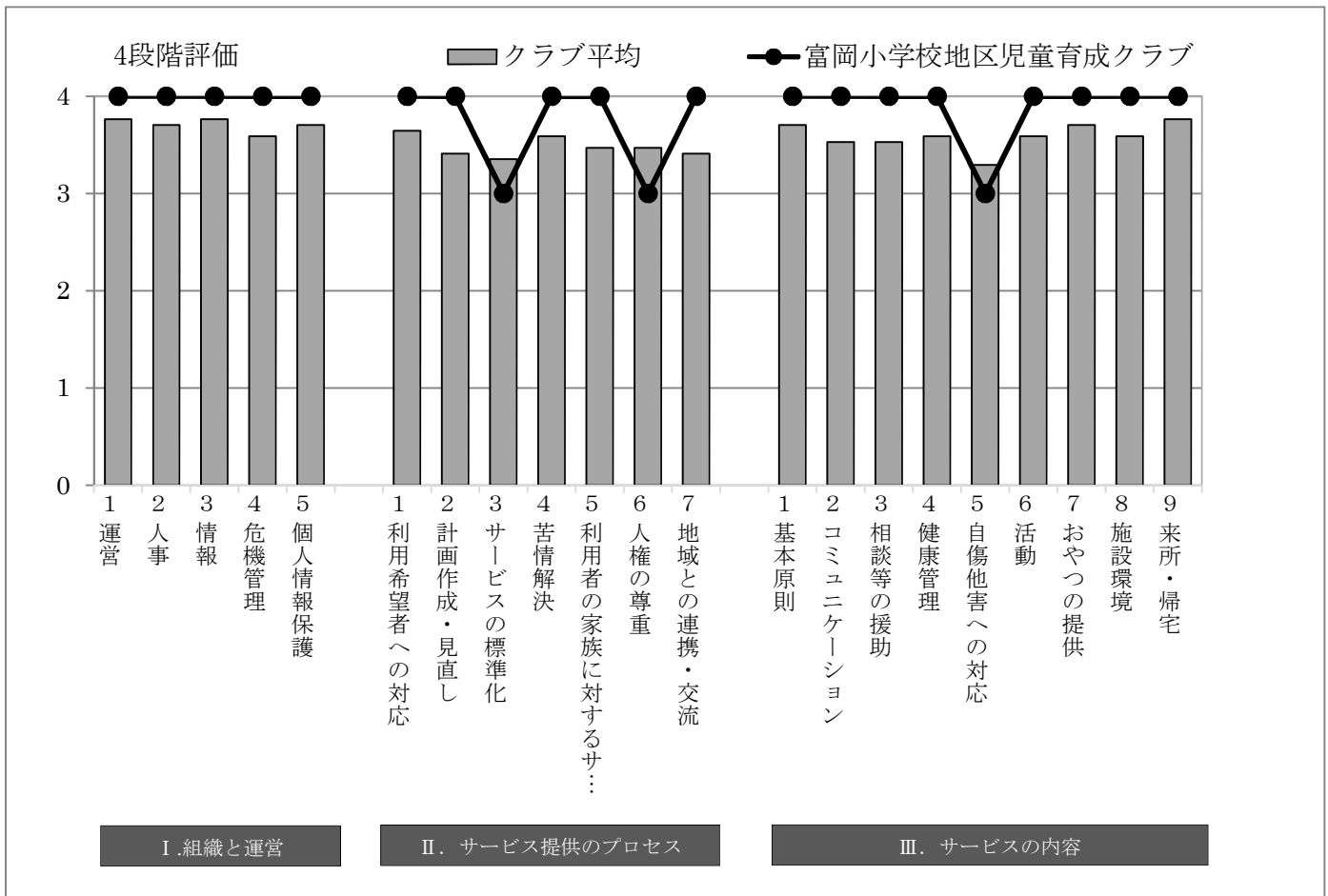
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
Ⅰ. 組織と運営	A
	(A)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	A
	(A)
Ⅲ. サービスの内容	A
	(A)



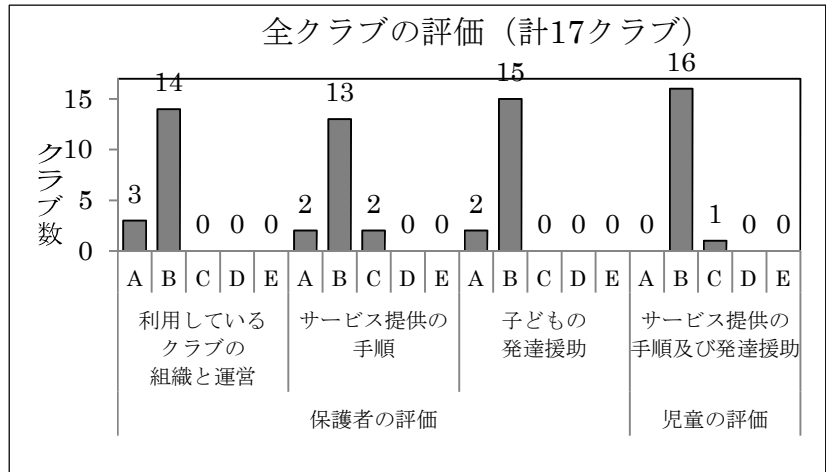
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (A)
	サービス提供の手順について	B (A)
	子どもの発達援助について	B (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (A)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	75.8%	0.0%	81.3%	1.2%		79.3%	0.0%	▼3.5%
	② 支援員の専門的知識や技術	57.6%	0.0%	60.9%	5.4%		62.1%	0.0%	▼4.5%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	78.8%	3.0%	85.2%	2.6%		79.3%	6.9%	▼0.5%
	④ クラブ内の清掃・整理	100.0%	0.0%	79.5%	1.9%	↑	93.1%	0.0%	△6.9%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	75.8%	3.0%	80.9%	1.3%		75.9%	0.0%	▼0.1%
	⑥ 学校との連携や情報交換	57.6%	6.1%	75.7%	3.9%		79.3%	0.0%	▼21.7%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	84.8%	3.0%	86.0%	1.1%		89.7%	0.0%	▼4.9%
	② 支援員同士の情報共有	69.7%	6.1%	66.5%	6.2%	↑	79.3%	0.0%	▼9.6%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	63.6%	6.1%	68.0%	7.1%		72.4%	0.0%	▼8.8%
	④ 支援員への相談のしやすさ	72.7%	3.0%	81.8%	3.3%		96.6%	0.0%	▼23.9%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	75.8%	3.0%	80.0%	2.5%		89.7%	0.0%	▼13.9%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	69.7%	0.0%	79.8%	1.9%		93.1%	0.0%	▼23.4%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	66.7%	6.1%	75.9%	2.6%		86.2%	0.0%	▼19.5%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	63.6%	9.1%	68.9%	5.7%		75.9%	6.9%	▼12.3%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	78.8%	3.0%	70.0%	3.0%	↑	86.2%	0.0%	▼7.4%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.0%	0.0%	95.0%	0.6%	↑	100.0%	0.0%	▼3.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	84.8%	0.0%	85.4%	2.0%		82.8%	0.0%	△2.0%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	84.8%	6.1%	77.8%	3.5%	↑	89.7%	0.0%	▼4.9%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	66.7%	0.0%	60.2%	1.7%	↑	65.5%	3.4%	△1.2%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	87.9%	3.0%	77.5%	1.8%	↑	82.8%	0.0%	△5.1%
	② へややといれのきもちよさ	75.8%	3.0%	71.9%	4.2%	↑	69.0%	0.0%	△6.8%
	③ クラブのたのしさ	87.9%	3.0%	79.4%	2.4%	↑	89.7%	0.0%	▼1.8%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	78.8%	6.1%	65.0%	3.7%	↑	75.9%	0.0%	△2.9%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	81.8%	3.0%	62.2%	3.9%	↑	86.2%	0.0%	▼4.4%

評価結果

平成 27 年度

美浜南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		美浜南小学校地区児童育成クラブ運営委員会							
クラブの所在地		浦安市美浜三丁目 15 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-350-6624	F A X	047-350-6624				
当該クラブの運営開始日		平成 9 年 10 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内							
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		70 人		利用者数		60 人	
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	1 人	うち、男性		0 人	うち、女性		1 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	0 人
	非常勤	職員数	8 人	うち、男性		0 人	うち、女性		8 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	4 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>家庭で迎えるような温かい声掛けや送り出しと、地域の人々と協力し、地域で子供達を育てるといった環境作りをしている。</p> <p>家庭的な雰囲気環境作りと、室内の飾りつけや子どもたちが落ち着ける空間作りをし、笑顔絶やさないよう努めている。</p>
------------------------------	---

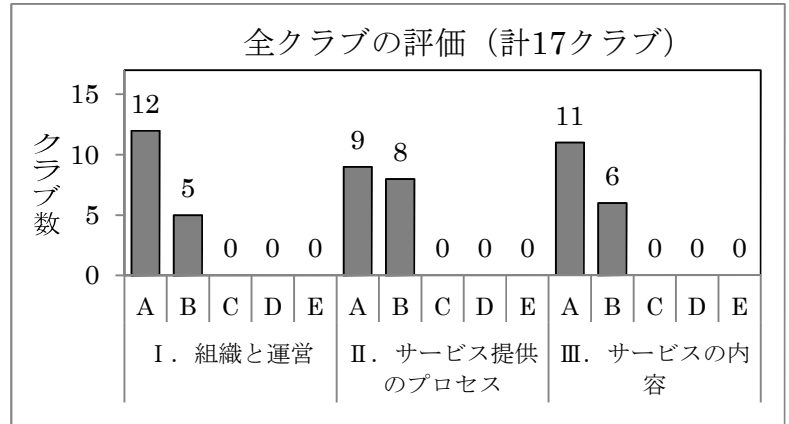
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> ・経験の長い支援員が多く、一人一人の児童に応じた対応をとることが可能であること ・近隣地域の方々が学童行事に参加していただいていること ・支援員間の連絡が密であり、学んだことの共有ができています 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員の体力作りや研修等で学んだ課題を習得し、今まで以上、日々の活動に役立てたい ・行事等の企画をさらに充実させたい
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・お便りや連絡帳・メールにて、保護者との情報交換が密であること ・支援員がおやつを直接購入することもあるが、主に生協を利用していること 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も連絡帳やお便りを通して、保護者との交流を深めたい ・他のクラブの支援員ともっと情報交換していきたい ・誕生日会の内容をさらに充実させたい
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭を全面利用し、のびのびと遊べる環境と時間を確保していること ・雨天時にも、2 部屋を開放して、卓球・風船遊びやプラ板作りなどして、のびのび遊べること 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全を確保できるよう校庭を確認したり、遊具の点検を徹底し、子どもにも周知する ・子供たちのアルバムを作っており、卒所時に渡している
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

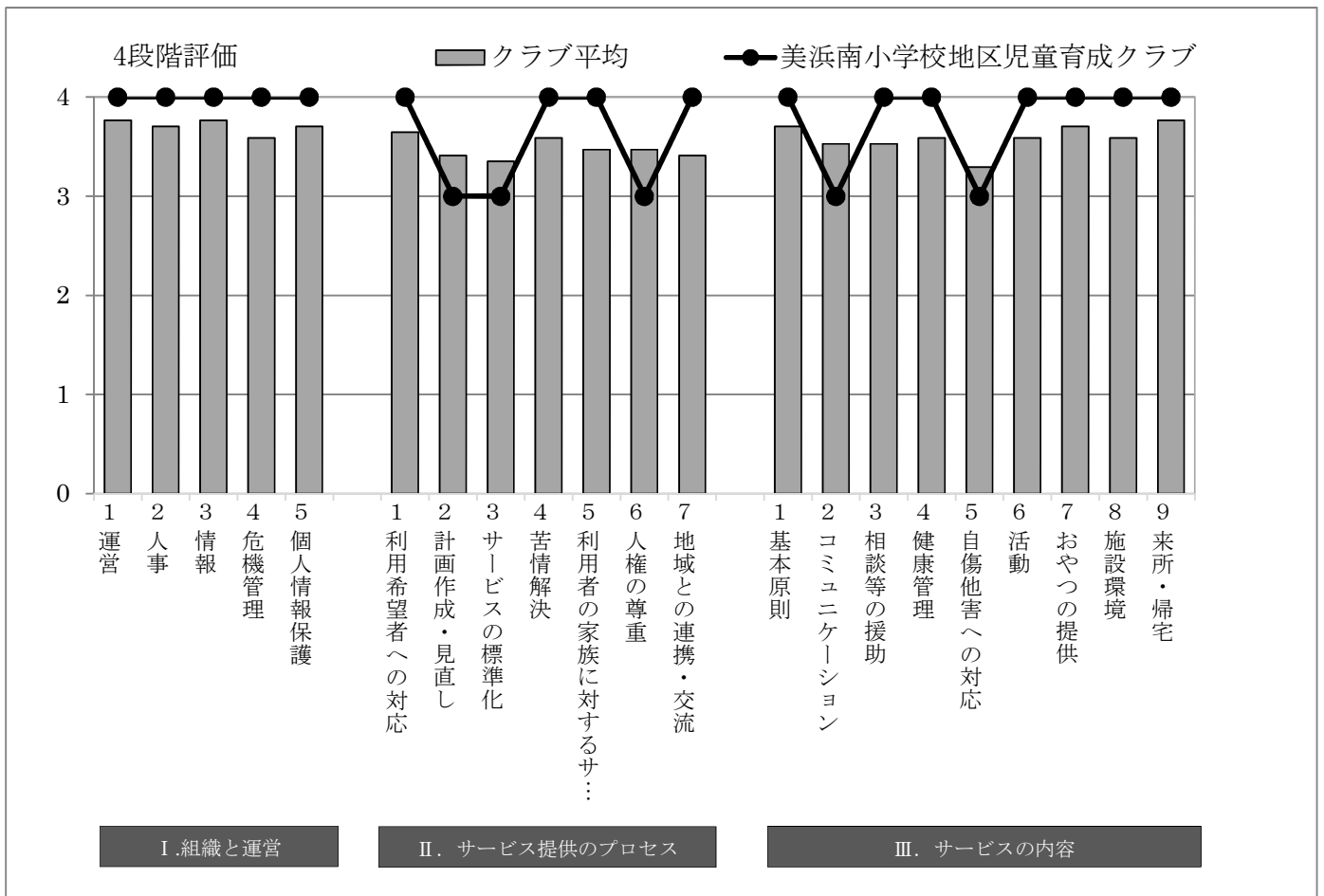
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
I. 組織と運営	A
	(B)
II. サービス提供の プロセス	A
	(B)
III. サービスの内容	A
	(B)



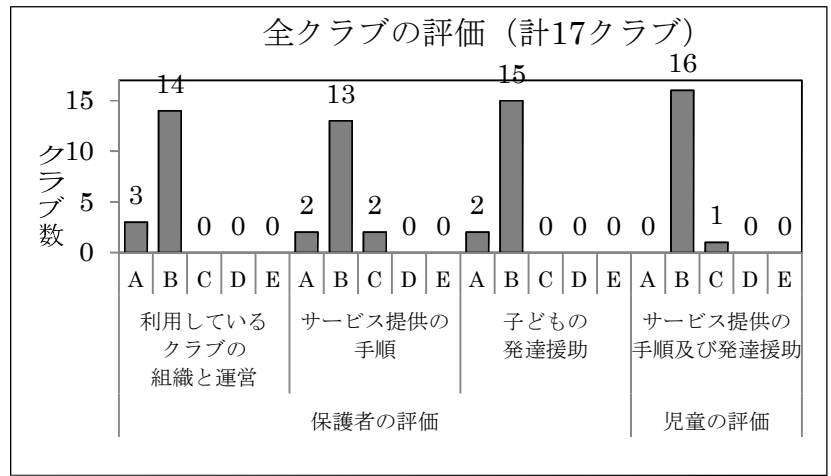
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (A)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	51.4%	2.9%	81.3%	1.2%		75.9%	0.0%	▼24.5%
	② 支援員の専門的知識や技術	48.6%	11.4%	60.9%	5.4%		41.4%	0.0%	△7.2%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	62.9%	5.7%	85.2%	2.6%		69.0%	0.0%	▼6.1%
	④ クラブ内の清掃・整理	71.4%	2.9%	79.5%	1.9%		86.2%	0.0%	▼14.8%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	62.9%	0.0%	80.9%	1.3%		69.0%	0.0%	▼6.1%
	⑥ 学校との連携や情報交換	68.6%	0.0%	75.7%	3.9%		79.3%	3.4%	▼10.7%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	68.6%	2.9%	86.0%	1.1%		75.9%	0.0%	▼7.3%
	② 支援員同士の情報共有	62.9%	14.3%	66.5%	6.2%		65.5%	0.0%	▼2.6%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	57.1%	20.0%	68.0%	7.1%		72.4%	10.3%	▼15.3%
	④ 支援員への相談のしやすさ	60.0%	0.0%	81.8%	3.3%		86.2%	0.0%	▼26.2%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	62.9%	2.9%	80.0%	2.5%		86.2%	0.0%	▼23.3%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	60.0%	5.7%	79.8%	1.9%		69.0%	3.4%	▼9.0%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	40.0%	5.7%	75.9%	2.6%		72.4%	3.4%	▼32.4%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	62.9%	8.6%	68.9%	5.7%		69.0%	0.0%	▼6.1%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	51.4%	8.6%	70.0%	3.0%		65.5%	0.0%	▼14.1%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	80.0%	0.0%	95.0%	0.6%		100.0%	0.0%	▼20.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	74.3%	8.6%	85.4%	2.0%		75.9%	6.9%	▼1.6%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	60.0%	5.7%	77.8%	3.5%		82.8%	0.0%	▼22.8%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	48.6%	5.7%	60.2%	1.7%		55.2%	0.0%	▼6.6%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	88.6%	0.0%	77.5%	1.8%	↑	93.1%	0.0%	▼4.5%
	② へややといれのきもちよさ	71.4%	5.7%	71.9%	4.2%		82.8%	3.4%	▼11.4%
	③ クラブのたのしさ	71.4%	0.0%	79.4%	2.4%		79.3%	0.0%	▼7.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	48.6%	0.0%	65.0%	3.7%		62.1%	0.0%	▼13.5%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	45.7%	5.7%	62.2%	3.9%		55.2%	0.0%	▼9.5%

評価結果

平成 27 年度

東小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		東小学校地区児童育成クラブ運営委員会							
クラブの所在地		浦安市猫実一丁目 11 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-350-4424	F A X	047-350-4424				
当該クラブの運営開始日		平成 21 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校敷地内／その他（分室）							
定員／現在の利用者数 （平成 27 年 12 月末現在）		定 員		198 人		利 用 者 数		161 人	
職員数 （平成 27 年 12 月末現在）	常 勤	職員数	10 人	うち、男性		2 人	うち、女性		8 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	1 人
	非常勤	職員数	6 人	うち、男性		0 人	うち、女性		6 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	1 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	大きな怪我に注意しながらも、児童が全力で遊びに取り組めるクラブであることを目標としています。異なる学年の児童が同じ時間を過ごすことが出来るのが育成クラブの良さなので、支援員も児童同士の関係を大切に、サポートするように心がけています。また、本室と分室が離れて設置されていますが、サービスに差が出ないように気を付けています。
------------------------------	--

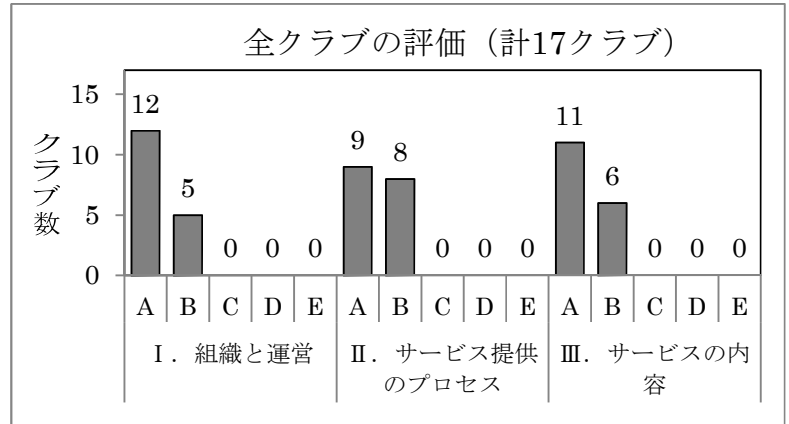
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	東小学校地区児童育成クラブは運営委員会を保護者が組織し運営を行っていることから、支援員への連絡や説明、また反対に支援員から運営委員会へ意見や提案がしやすい環境であると考えています。運営委員会が全員、働いている保護者で組織されているので、クラブに来て話をする、会議に出席するなど保護者としては大変な部分もありますが、保護者の意見がそのままクラブに反映される事はとても良い点かと思っています。	仕事が忙しく、運営になかなか参加できないという保護者の方は年々増えています。しかしながら、保護者の意見が直接反映されることは、他にはない良いところだと考えていますので、保護者の負担は最小限に、保護者同士の交流や保護者が企画・参加する行事などは可能な限りしていきたいと思っています。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	見学者は随時受け入れ、保護者への説明等も文書で行っています。新人の支援員には十分な研修をしているとは言いがたいですが、毎日の始まりと終わりには反省会をして、日々成長できるようにしています。保護者からの苦情・相談は支援員・運営どちらも受け付けていて、検討がされたあと保護者に通知がいくようにしています。	新人に対する教育・研修については、今後十分な支援員数を確保した後、必要に応じて行っていきたいと考えています。 苦情や相談については、受付先の運営委員も保護者の方なので、支援員が受け付けることも多いです。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	児童の主體的な活動を第一と考え、それが可能な環境を作り、支援できるようにしています。遊びを通して児童同士、または支援員と児童で関るので、児童との心の距離は近いと感じています。 おやつは季節の行事に関係することが多いので、量や質と同様にその部分も大切にしています。	基本的にはクラブに来ている時間のほとんどが自由な時間ですが、宿題や自主学習を重視する保護者の方も一定数います。児童一人一人が余裕を持って学習時間をとれるようにしていきたいと思っています。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

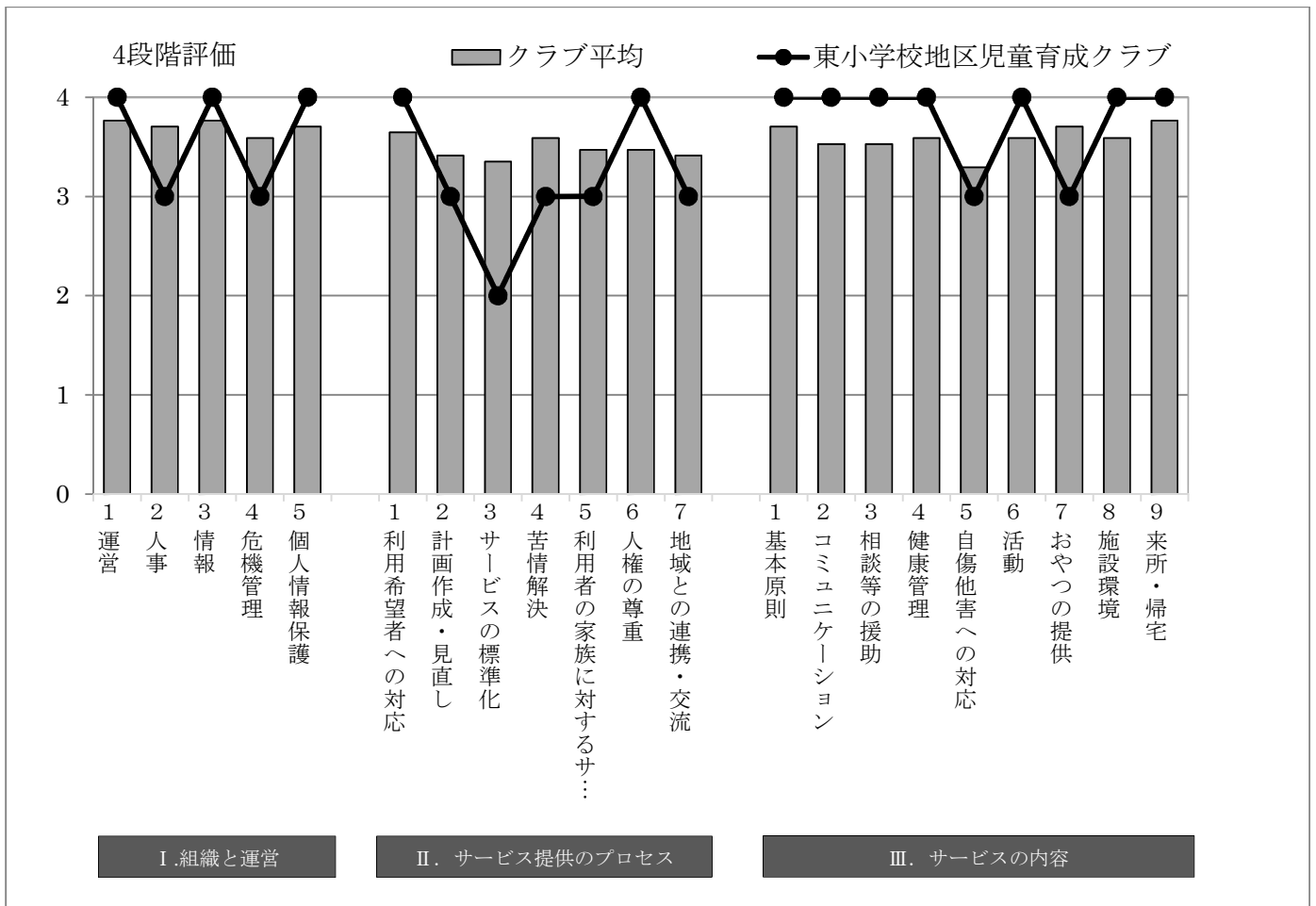
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
Ⅰ. 組織と運営	A
	(B)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	B
	(B)
Ⅲ. サービスの内容	A
	(A)



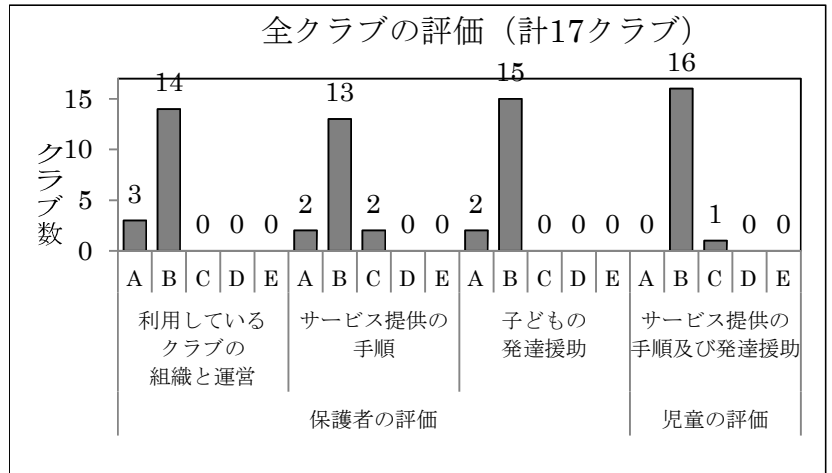
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (A)
	サービス提供の手順について	B (A)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	85.4%	0.0%	81.3%	1.2%	↑	79.2%	1.0%	△6.2%
	② 支援員の専門的知識や技術	77.7%	1.9%	60.9%	5.4%	↑	63.4%	5.0%	△14.3%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	95.1%	1.0%	85.2%	2.6%	↑	93.1%	3.0%	△2.0%
	④ クラブ内の清掃・整理	89.3%	1.9%	79.5%	1.9%	↑	85.1%	0.0%	△4.2%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	86.4%	0.0%	80.9%	1.3%	↑	84.2%	2.0%	△2.2%
	⑥ 学校との連携や情報交換	83.5%	1.0%	75.7%	3.9%	↑	79.2%	4.0%	△4.3%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	94.2%	0.0%	86.0%	1.1%	↑	92.1%	1.0%	△2.1%
	② 支援員同士の情報共有	74.8%	4.9%	66.5%	6.2%	↑	70.3%	5.0%	△4.5%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	70.9%	3.9%	68.0%	7.1%	↑	72.3%	5.9%	▼1.4%
	④ 支援員への相談のしやすさ	95.1%	1.0%	81.8%	3.3%	↑	89.1%	2.0%	△6.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	93.2%	1.0%	80.0%	2.5%	↑	82.2%	2.0%	△11.0%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	90.3%	1.0%	79.8%	1.9%	↑	84.2%	1.0%	△6.1%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	91.3%	1.9%	75.9%	2.6%	↑	79.2%	2.0%	△12.1%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	71.8%	1.9%	68.9%	5.7%	↑	65.3%	7.9%	△6.5%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	75.7%	1.0%	70.0%	3.0%	↑	72.3%	3.0%	△3.4%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.1%	0.0%	95.0%	0.6%	↑	98.0%	1.0%	▼0.9%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	87.4%	3.9%	85.4%	2.0%	↑	86.1%	2.0%	△1.3%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	87.4%	1.0%	77.8%	3.5%	↑	80.2%	1.0%	△7.2%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	58.3%	1.0%	60.2%	1.7%		50.5%	0.0%	△7.8%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	84.5%	0.0%	77.5%	1.8%	↑	82.2%	1.0%	△2.3%
	② へややといれのきもちよさ	83.5%	0.0%	71.9%	4.2%	↑	85.1%	1.0%	▼1.6%
	③ クラブのたのしさ	82.5%	0.0%	79.4%	2.4%	↑	77.2%	0.0%	△5.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	71.8%	0.0%	65.0%	3.7%	↑	74.3%	2.0%	▼2.5%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	64.1%	1.0%	62.2%	3.9%	↑	61.4%	3.0%	△2.7%

評価結果

平成 27 年度

舞浜小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		舞浜小学校地区児童育成クラブ運営委員会						
クラブの所在地		浦安市舞浜二丁目 1 番 1 号						
クラブの連絡先		電 話	047-352-3615	F A X	047-352-3615			
当該クラブの運営開始日		昭和 62 年 4 月 8 日						
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		158 人	利 用 者 数		134 人	
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	5 人	うち、男性	0 人	うち、女性	5 人	
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	9 人	うち、男性	0 人	うち、女性	9 人	
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	「学童は第 2 の家庭」安心して通える場所になるように、利用者（子ども・保護者）の声に真摯に対応するよう心掛けている。
------------------------------	---

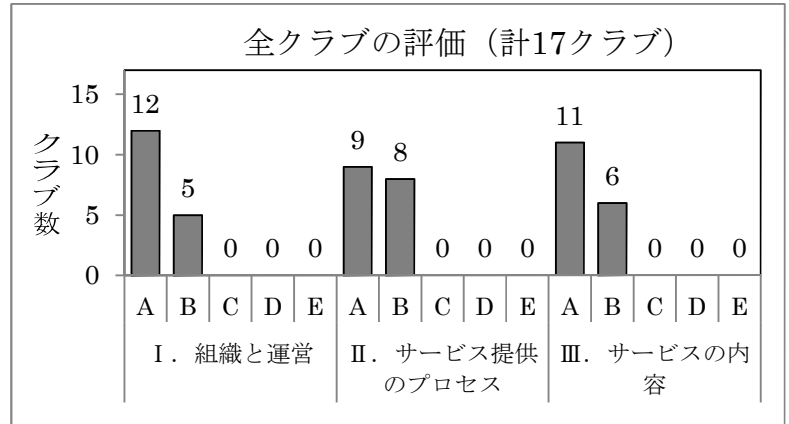
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	毎日のミーティングや月次の支援員会議・常勤会議を開催し、作業確認や行事準備、課題の共有、対応や改善について話し合っている。担任と各クラスを回る支援員を配置し、縦横の視点で子どもの様子や施設環境を把握して運営レベルの向上が図れるよう努めている。また、運営委員会と支援員も密にコミュニケーションをとっている。	支援員全体のレベルアップに取り組むたい。そのためにも、業務内容の標準化・マニュアル化や新人職員への研修をより充実させたいと考えている。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービスの提供のプロセス	1 利用希望者への対応	入会説明会、毎月のお便り、掲示物、一斉メール等を活用し利用者との情報連携を行っている。 父母会と連携し、子どもが安心安全に過ごせる環境を提供すること、利用者が安心して預けられることを重視している。意見や提案を言いやすいオープンな運営を心掛けている。	本室／分室間でサービスの質の違いが生まれないよう情報連携を密にすることが重要であると考えている。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	行事・おやつ・遊びなど、子どもが学童で過ごす時間を楽しいと思えるよう工夫している。保護者にも、お迎え時に施設内を見てもらったり、支援員から積極的に声を掛けることによって、学童での子どもの様子を共有出来るように努めている。	怪我の対応（保護者への連絡等）により一層取り組みたい。また、施設環境面の改善と、子どもたちへの危険な行動に対する注意喚起にも引き続き取り組みたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

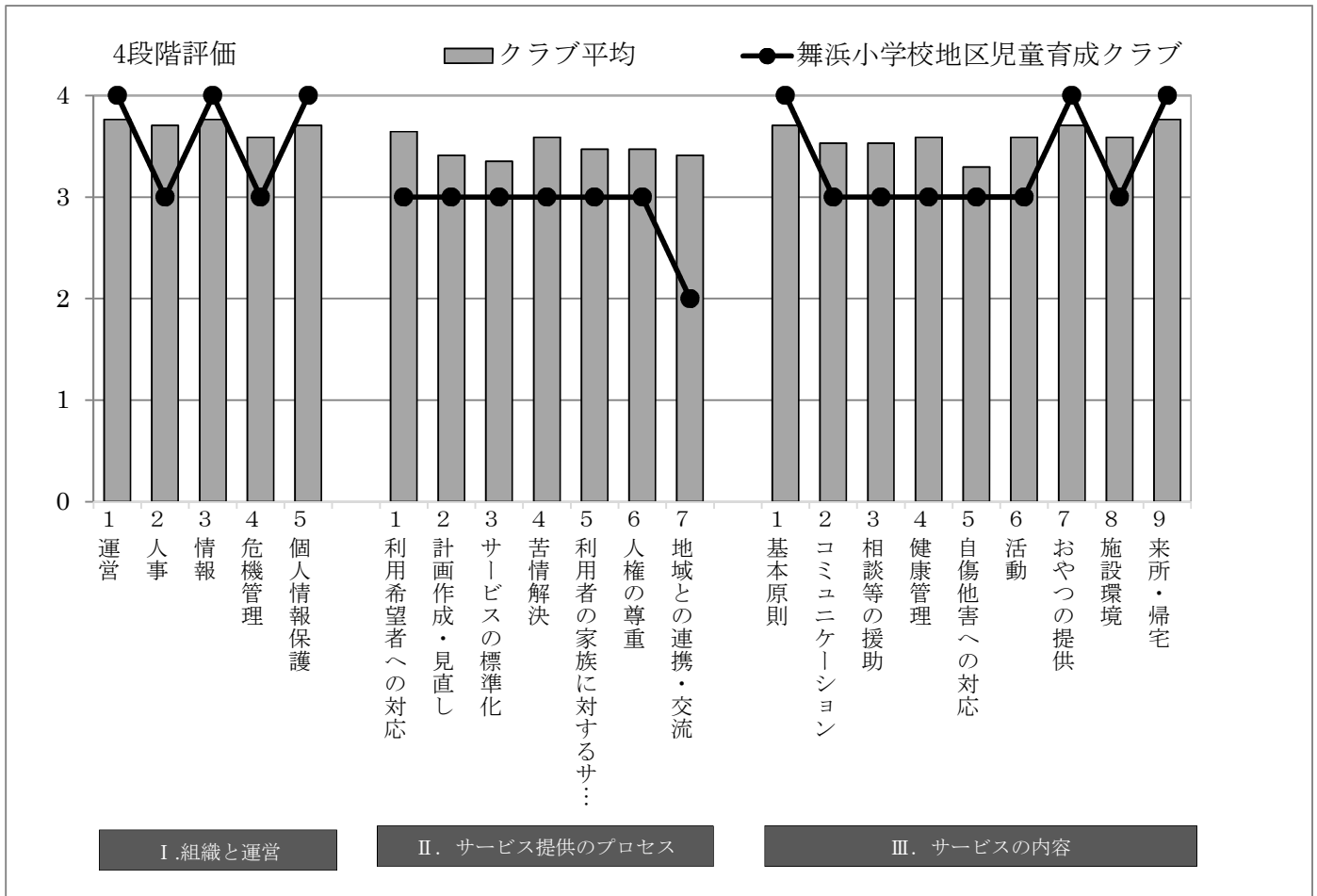
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
Ⅰ. 組織と運営	A
	(B)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	B
	(B)
Ⅲ. サービスの内容	B
	(B)



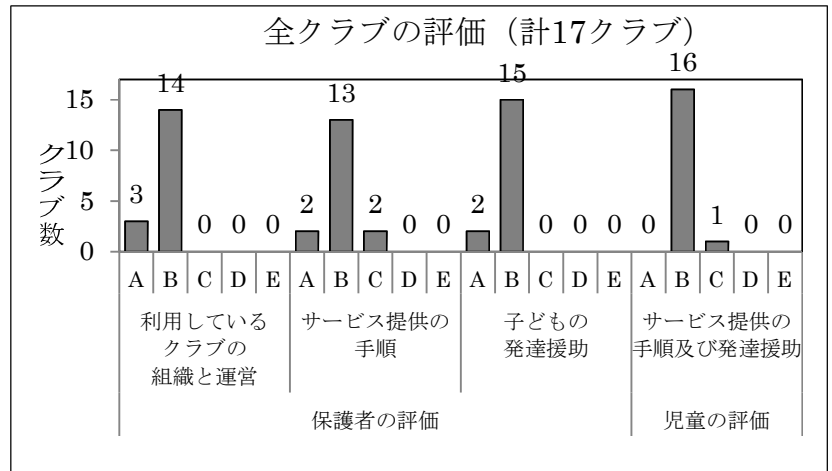
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (A)
	サービス提供の手順について	B (A)
	子どもの発達援助について	B (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	82.1%	0.0%	81.3%	1.2%	↑	83.3%	0.0%	▼1.2%
	② 支援員の専門的知識や技術	51.3%	6.4%	60.9%	5.4%		66.7%	2.8%	▼15.4%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	87.2%	1.3%	85.2%	2.6%	↑	90.3%	1.4%	▼3.1%
	④ クラブ内の清掃・整理	78.2%	1.3%	79.5%	1.9%		86.1%	0.0%	▼7.9%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	84.6%	0.0%	80.9%	1.3%	↑	86.1%	0.0%	▼1.5%
	⑥ 学校との連携や情報交換	85.9%	1.3%	75.7%	3.9%	↑	70.8%	4.2%	△15.1%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	84.6%	0.0%	86.0%	1.1%		87.5%	0.0%	▼2.9%
	② 支援員同士の情報共有	65.4%	3.8%	66.5%	6.2%		70.8%	0.0%	▼5.4%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	55.1%	5.1%	68.0%	7.1%		73.6%	2.8%	▼18.5%
	④ 支援員への相談のしやすさ	76.9%	2.6%	81.8%	3.3%		81.9%	4.2%	▼5.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	76.9%	0.0%	80.0%	2.5%		79.2%	0.0%	▼2.3%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	75.6%	3.8%	79.8%	1.9%		88.9%	0.0%	▼13.3%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	67.9%	1.3%	75.9%	2.6%		77.8%	2.8%	▼9.9%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	66.7%	9.0%	68.9%	5.7%		81.9%	4.2%	▼15.2%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	67.9%	1.3%	70.0%	3.0%		77.8%	0.0%	▼9.9%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	91.0%	0.0%	95.0%	0.6%		93.1%	0.0%	▼2.1%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	88.5%	2.6%	85.4%	2.0%	↑	84.7%	2.8%	△3.8%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	69.2%	5.1%	77.8%	3.5%		79.2%	0.0%	▼10.0%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	42.3%	5.1%	60.2%	1.7%		43.1%	5.6%	▼0.8%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	79.5%	3.8%	77.5%	1.8%	↑	84.7%	1.4%	▼5.2%
	② へややといれのきもちよさ	76.9%	3.8%	71.9%	4.2%	↑	68.1%	5.6%	△8.8%
	③ クラブのたのしさ	78.2%	6.4%	79.4%	2.4%		76.4%	6.9%	△1.8%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	55.1%	6.4%	65.0%	3.7%		59.7%	1.4%	▼4.6%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	52.6%	3.8%	62.2%	3.9%		63.9%	6.9%	▼11.3%

評価結果

平成 27 年度

美浜北小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール												
事業者の名称		NPO 法人 ワーカーズコープ										
クラブの所在地		浦安市美浜五丁目 12 番 1 号										
クラブの連絡先		電 話	047-351-6050		F A X	047-351-6050						
当該クラブの運営開始日		平成 21 年 4 月 1 日										
開設場所		小学校校舎内										
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		78 人		利用者数		57 人				
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人		うち、男性		3 人		うち、女性		1 人	
		有資格者数		保育士	1 人		幼稚園教諭	1 人		幼稚園以外の教諭		2 人
	非常勤	職員数	7 人		うち、男性		3 人		うち、女性		4 人	
		有資格者数		保育士	0 人		幼稚園教諭	0 人		幼稚園以外の教諭		2 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	次のような活動方針を大事にしていきたい。 ☆ 第二の家庭としての温かい居場所 ☆ 学習、活動に自主的に取り組む環境 ☆ あいさつ、礼儀、思いやりを体験
------------------------------	--

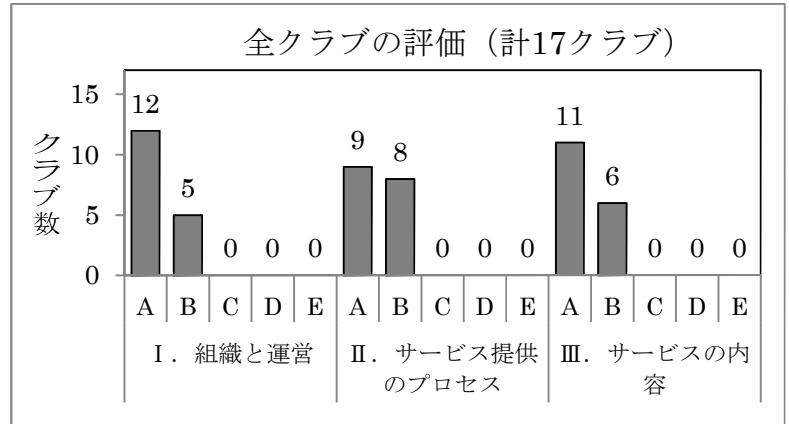
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	職員一人ひとりが経営者として運営に責任を持っている。毎月の定例会議、毎日のミーティングなどを頻繁に行い、運営についてコンセンサスを得ている。同一事業所内の 3 事業所で連携して運営の基本的考え方について考えたり、情報交換を図ったりしている。	誰でも同じサポートが可能になるように、サービスの標準化を徹底していきたい。 具体的には標準化マニュアルの策定、年度別教育プランの策定などで検討していきたい。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	「働くもの同士の協同」「利用者・家族との協同」「地域との協同」の観点からサービスを考えている。 地域で子育ての一端を担うという基本的な考え方で、父母、児童及び地域と関わっていききたい。	近隣の公民館、自治会などとの連携をとり、継続的な関わり合いを深めいろいろな行事の実施につなげていきたい。 そのことによって、地域での子育ての一環を担うという考えをより具体化していきたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	学童保育などを運営している他の施設の考え方を取り入れたり、必要に応じて他の施設との情報交換を行ったりしてサービス内容企画、検討を行っている。	児童の意見を取り入れる仕組みを作り、日頃のサービスに極力取り入れるようにしていきたい。 おやつについても供給元の多様化、手作りの工夫などを行いながら、父母や児童の要望に応じていきたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

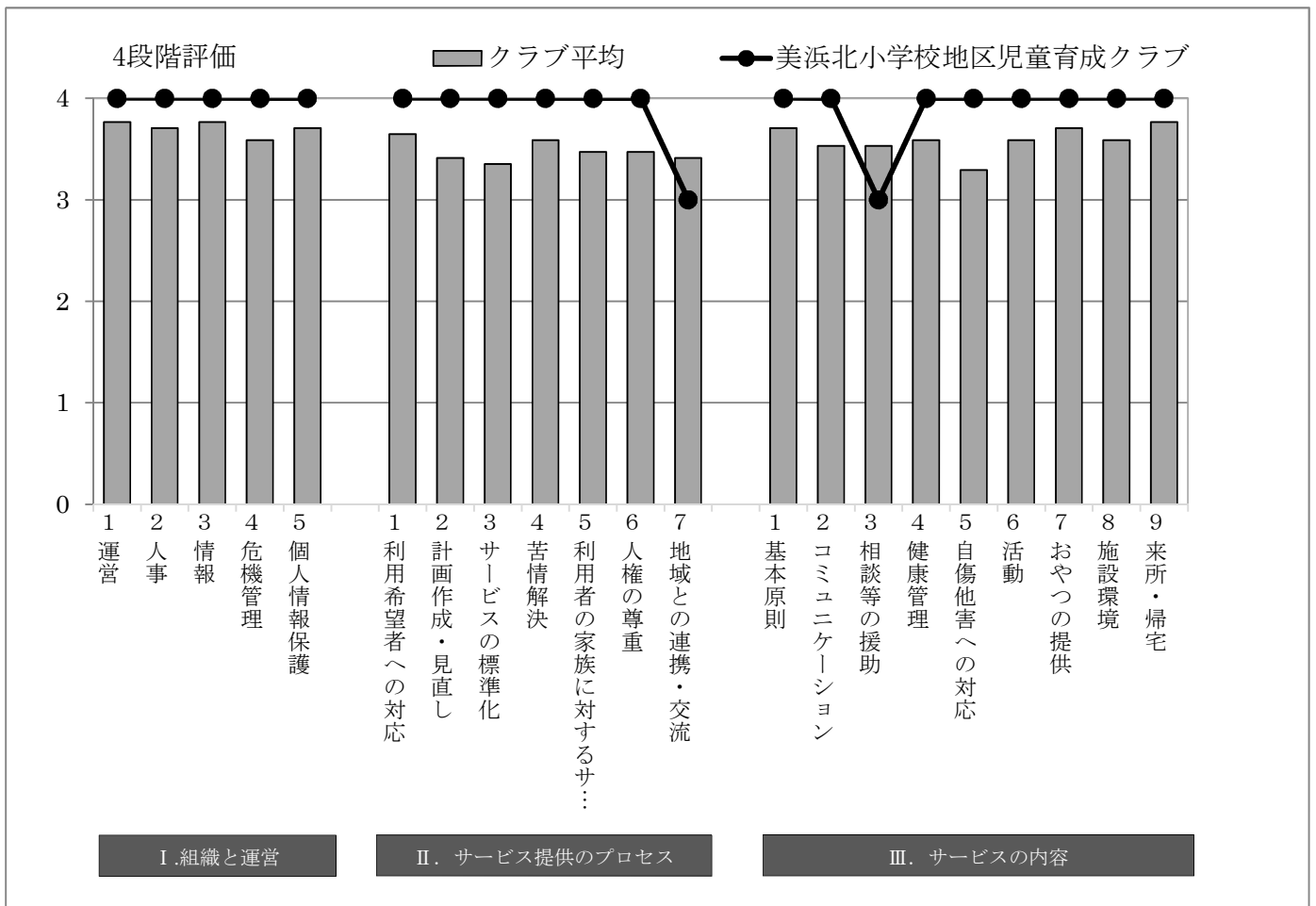
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
I. 組織と運営	A
	(B)
II. サービス提供の プロセス	A
	(B)
III. サービスの内容	A
	(B)



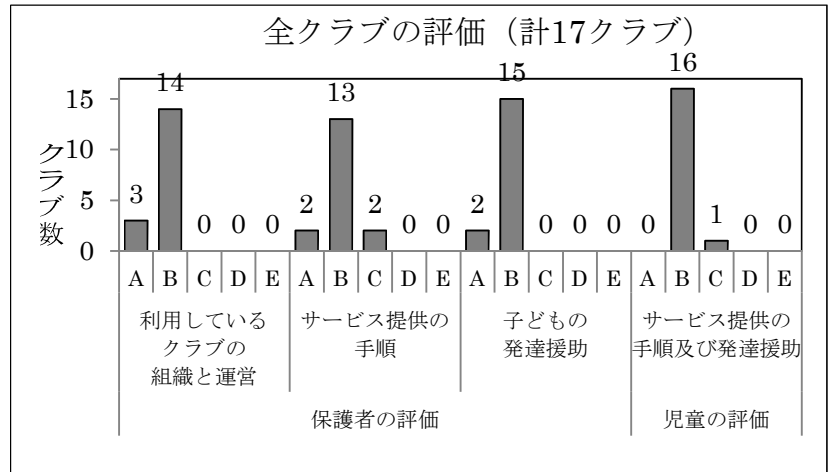
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (A)
	サービス提供の手順について	C (A)
	子どもの発達援助について	B (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	C (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	74.3%	2.9%	81.3%	1.2%		72.0%	0.0%	△2.3%
	② 支援員の専門的知識や技術	34.3%	11.4%	60.9%	5.4%		72.0%	0.0%	▼37.7%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	65.7%	2.9%	85.2%	2.6%		92.0%	0.0%	▼26.3%
	④ クラブ内の清掃・整理	77.1%	2.9%	79.5%	1.9%		84.0%	0.0%	▼6.9%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	68.6%	5.7%	80.9%	1.3%		88.0%	0.0%	▼19.4%
	⑥ 学校との連携や情報交換	48.6%	11.4%	75.7%	3.9%		76.0%	12.0%	▼27.4%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	71.4%	5.7%	86.0%	1.1%		80.0%	0.0%	▼8.6%
	② 支援員同士の情報共有	34.3%	22.9%	66.5%	6.2%		68.0%	0.0%	▼33.7%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	51.4%	17.1%	68.0%	7.1%		76.0%	0.0%	▼24.6%
	④ 支援員への相談のしやすさ	68.6%	8.6%	81.8%	3.3%		88.0%	0.0%	▼19.4%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	48.6%	11.4%	80.0%	2.5%		92.0%	0.0%	▼43.4%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	71.4%	2.9%	79.8%	1.9%		80.0%	4.0%	▼8.6%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	68.6%	11.4%	75.9%	2.6%		80.0%	4.0%	▼11.4%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	54.3%	11.4%	68.9%	5.7%		72.0%	12.0%	▼17.7%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	51.4%	11.4%	70.0%	3.0%		64.0%	4.0%	▼12.6%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	91.4%	2.9%	95.0%	0.6%		92.0%	0.0%	▼0.6%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	71.4%	2.9%	85.4%	2.0%		88.0%	0.0%	▼16.6%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	62.9%	5.7%	77.8%	3.5%		76.0%	0.0%	▼13.1%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	48.6%	2.9%	60.2%	1.7%		88.0%	0.0%	▼39.4%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	37.1%	11.4%	77.5%	1.8%		60.0%	8.0%	▼22.9%
	② へややといれのきもちよさ	60.0%	5.7%	71.9%	4.2%		72.0%	4.0%	▼12.0%
	③ クラブのたのしさ	54.3%	8.6%	79.4%	2.4%		64.0%	0.0%	▼9.7%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	34.3%	20.0%	65.0%	3.7%		64.0%	16.0%	▼29.7%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	28.6%	17.1%	62.2%	3.9%		56.0%	4.0%	▼27.4%

評価結果

平成 27 年度

日の出小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール							
事業者の名称	社会福祉法人 わかみや福祉会						
クラブの所在地	浦安市日の出二丁目 11 番 10 号						
クラブの連絡先	電 話	047-380-0666	F A X	047-380-0666			
当該クラブの運営開始日	平成 23 年 4 月 1 日						
開設場所	小学校敷地外						
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)	定 員	105 人		利 用 者 数	100 人		
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常 勤	職員数	5 人	うち、男性	1 人	うち、女性	4 人
		有資格者数	保育士	4 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭
	非常勤	職員数	5 人	うち、男性	1 人	うち、女性	4 人
		有資格者数	保育士	0 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と職員が力を合わせ児童により良い環境を作る。 ・保護者が安心して働くことが出来るように支援の充実を目指す。 ・子育て相談機関としての役割を自覚し、地域に開かれた学童支援を目指す。
------------------------------	---

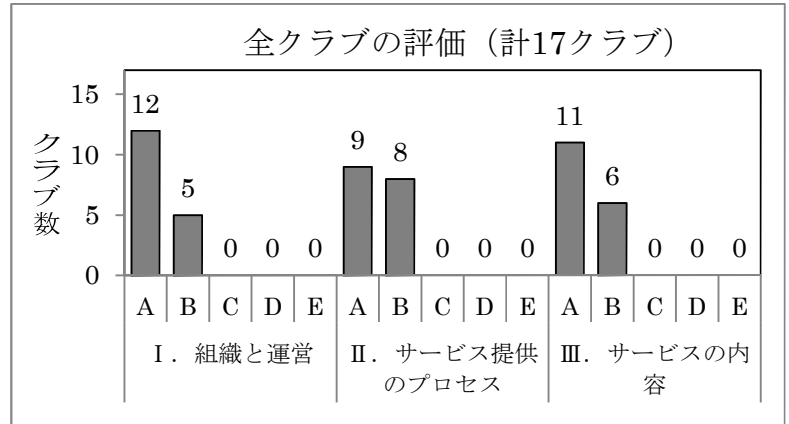
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	社会福祉法人としての実績も踏まえながら組織作りをしっかりと行っている。職員間の情報交換も細やかにかつ丁寧に取組んで、利用者に対して意見や悩みに寄り添いながら個人情報保護を遵守し、情報公開をオープンにしている。有資格者が担任を持つことで子どもの成長や発達に合わせた細やかな支援を行っている。また保護者とも深く関わりを持つことで、保護者と共によりよい支援が出来る環境づくりができています。	保護者会や口頭・電話でのやり取り・対応は行っているが、紙面での利用者調査票やアンケートが保護者向けに発信されていない事があるので、子ども達だけでなく保護者の意見もより尊重し保育に取り入れていける体制作りをしていく。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	利用希望者の対応に関しては、随時見学や相談の対応・説明を時間をかけて行っている。出来るだけ利用者のニーズに応えられるよう同法人の保育園や児童育成クラブを尊重し、個々に合わせた支援を行い更に支援が必要な子どもや家庭環境が日々の生活に影響している子どもには、小学校と連携し、早期発見や問題解決に努めている。	地域交流に関して公民館や保育園との交流も増えてきているが、更に定期的に行えるようにしていきたい。また同法人の保育園児や児童育成クラブとの交流会を行っているが、更に回数が増やせるようにしていく。記録やマニュアルが不十分なものは早々に改善し、職員に周知徹底させるようにしていく。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	子ども一人ひとりの自主性を尊重しながら、計画や見直しを持って遊びや活動・行事に取り組んでいる。また子どもたちの健康や安全を留意し、環境設定・整備を十分に行い怪我や病気を事前に防いでいる。おやつに関しては野菜を作り収穫の楽しみを味わえる機会を作っている、また手作りのものを多く取り入れ、季節に合ったものや子ども達が楽しめるおやつにすることで食育にも繋げている。	おやつや行事等はまだまだ改善出来るところがあるので、現状で満足せず、よりよいものが提供できるよう検討・実施していく。また施設環境や遊びの環境も整え、より快適に過ごせるよう取り組んでいく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつの提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

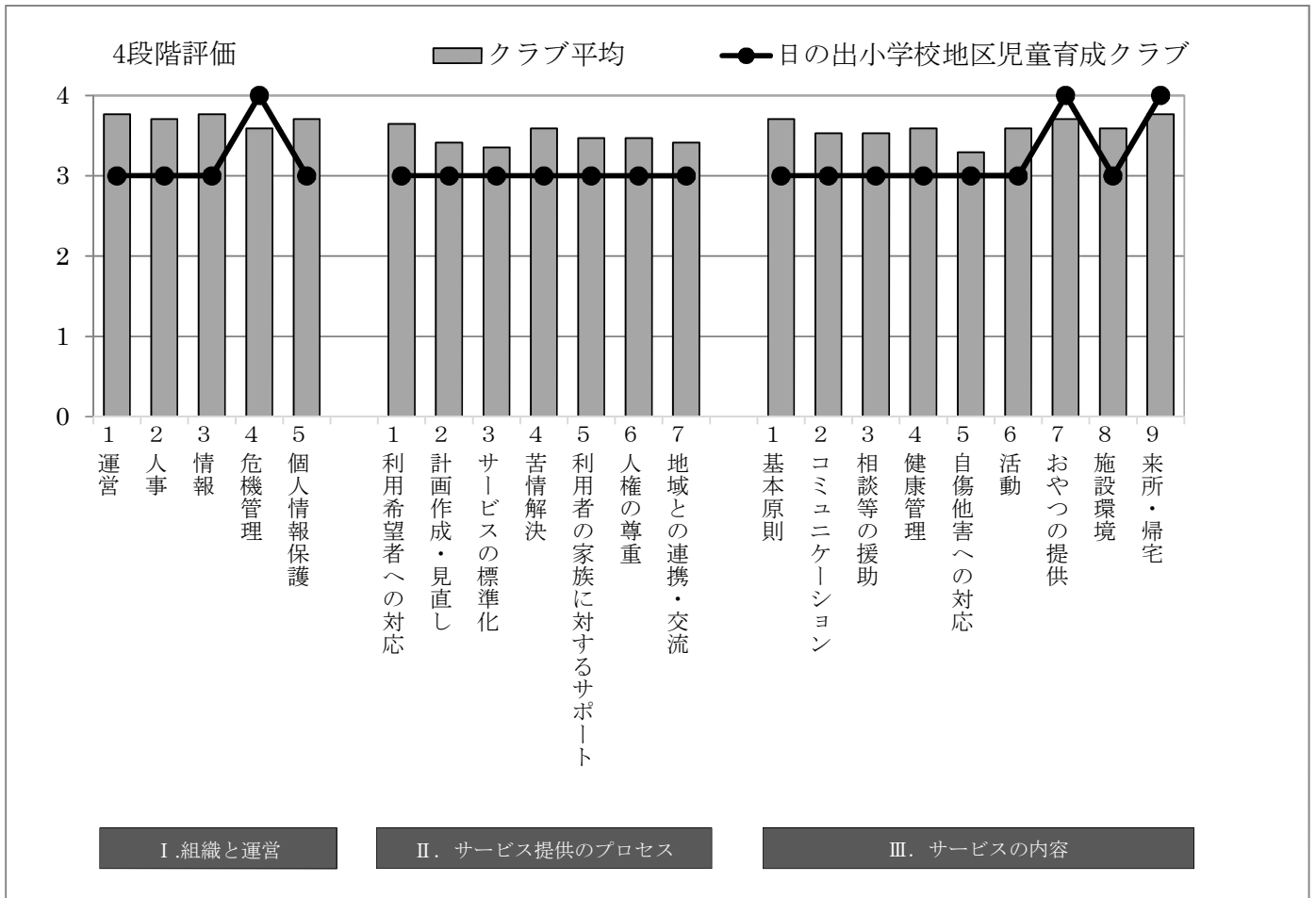
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
Ⅰ. 組織と運営	B
	(B)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	B
	(B)
Ⅲ. サービスの内容	B
	(B)



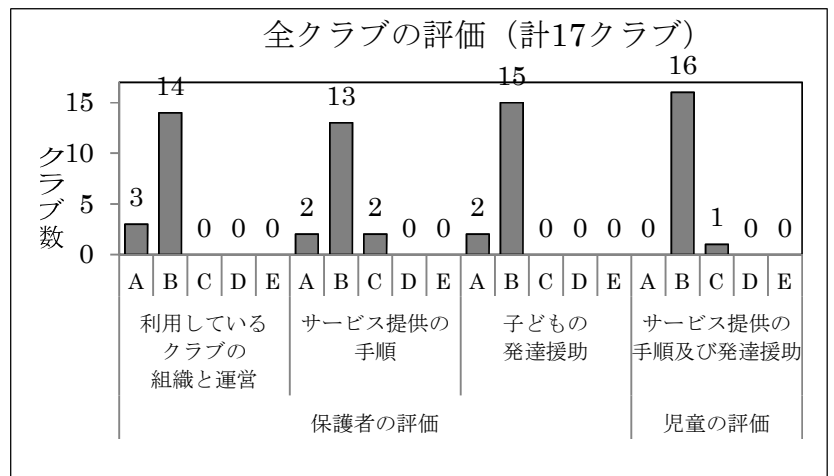
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (A)
	サービス提供の手順について	B (A)
	子どもの発達援助について	B (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	94.5%	0.0%	81.3%	1.2%	↑	89.4%	3.0%	△5.1%
	② 支援員の専門的知識や技術	69.1%	0.0%	60.9%	5.4%	↑	69.7%	1.5%	▼0.6%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	90.9%	0.0%	85.2%	2.6%	↑	97.0%	1.5%	▼6.1%
	④ クラブ内の清掃・整理	90.9%	1.8%	79.5%	1.9%	↑	90.9%	1.5%	△0.0%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	92.7%	0.0%	80.9%	1.3%	↑	92.4%	1.5%	△0.3%
	⑥ 学校との連携や情報交換	70.9%	1.8%	75.7%	3.9%		95.5%	1.5%	▼24.6%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	96.4%	0.0%	86.0%	1.1%	↑	93.9%	1.5%	△2.5%
	② 支援員同士の情報共有	76.4%	1.8%	66.5%	6.2%	↑	83.3%	1.5%	▼6.9%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	67.3%	1.8%	68.0%	7.1%		65.2%	7.6%	△2.1%
	④ 支援員への相談のしやすさ	87.3%	1.8%	81.8%	3.3%	↑	93.9%	0.0%	▼6.6%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	92.7%	1.8%	80.0%	2.5%	↑	95.5%	0.0%	▼2.8%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	92.7%	0.0%	79.8%	1.9%	↑	93.9%	1.5%	▼1.2%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	89.1%	0.0%	75.9%	2.6%	↑	86.4%	1.5%	△2.7%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	69.1%	3.6%	68.9%	5.7%	↑	78.8%	3.0%	▼9.7%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	78.2%	1.8%	70.0%	3.0%	↑	86.4%	3.0%	▼8.2%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.2%	0.0%	95.0%	0.6%	↑	98.5%	0.0%	▼0.3%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	90.9%	0.0%	85.4%	2.0%	↑	97.0%	0.0%	▼6.1%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	90.9%	0.0%	77.8%	3.5%	↑	90.9%	0.0%	△0.0%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	52.7%	3.6%	60.2%	1.7%		65.2%	1.5%	▼12.5%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	80.0%	0.0%	77.5%	1.8%	↑	74.2%	0.0%	△5.8%
	② へややといれのきもちよさ	81.8%	0.0%	71.9%	4.2%	↑	75.8%	6.1%	△6.0%
	③ クラブのたのしさ	85.5%	1.8%	79.4%	2.4%	↑	80.3%	4.5%	△5.2%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	74.5%	1.8%	65.0%	3.7%	↑	74.2%	3.0%	△0.3%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	63.6%	0.0%	62.2%	3.9%	↑	72.7%	3.0%	▼9.1%

評価結果

平成 27 年度

明海小学校地区児童育成クラブ

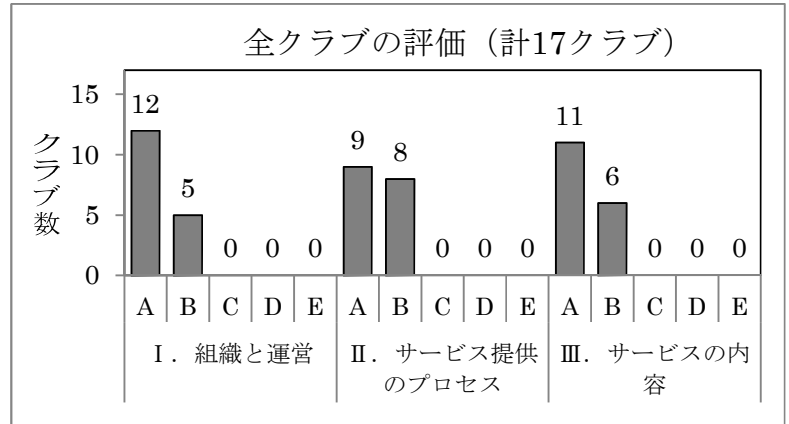
クラブ・運営事業者のプロフィール												
事業者の名称		NPO法人 ワーカーズコープ										
クラブの所在地		浦安市明海二丁目 13 番 1 号										
クラブの連絡先		電 話	047-305-0220		F A X	047-305-0220						
当該クラブの運営開始日		平成 21 年 4 月 1 日										
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地外										
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		78 人		利用者数		60 人				
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	2 人		うち、男性		0 人		うち、女性		2 人	
		有資格者数		保育士	0 人		幼稚園教諭	0 人		幼稚園以外の教諭	2 人	
	非常勤	職員数	4 人		うち、男性		0 人		うち、女性		4 人	
		有資格者数		保育士	0 人		幼稚園教諭	0 人		幼稚園以外の教諭	1 人	
運営事業者のサービス提供方針												
サービスの提供にあたって大切にしていること			<ul style="list-style-type: none"> ・子ども 1 人ひとりの自主性、自発性、創造性を育てます。 ・子どもたち同士の話し合いや提案を大切にし、実行できるようにサポートしています。 ・地域の中で子育てをするという視点を大切に、地域交流を積極的に行います。 									
		事業者の強み アピールしたい取り組み					サービス改善に向けた取組 今後の展望					
I 組織と運営	1 運営	支援員一人ひとりが経営者として、運営に責任を持っている。毎日のミーティングや毎月の会議において話し合いや情報の共有を頻繁に行い、保育に活かすようにしている。 また、同事業者 3 クラブが連携してマニュアル作成を行うことで、運営体制を整えている。それと共に、ほぼ毎月合同で研修会を行い、学びを深めるとともに指導員同士で情報交換を行っている。					支援員が保護者、学校、地域の連携をはかり一緒に子どもを育てていけるようますます働きかけていく。 支援員研修の内容を充実することで、継続して働きやすい環境を整えていきたい。 利用者が意見を出したり相談したりしやすくなるようなシステムを作っている。(寄り道カフェ)					
	2 人事											
	3 情報											
	4 危機管理											
	5 個人情報保護											
II サービスの提供のプロセス	1 利用希望者への対応	子どもを中心に、子どもが主役になれるような保育を目指している。自分たちで生活や遊びの決まりを考えたり、行事においては、実行委員を立て企画するところから子どもが参加できるようにしてきた。運営においては、地域で子育てをするという視点を大切にしており、公民館事業に参加したり、行事の際には、幼稚園、あけみ遊び広場、郵便局や小学校にも声をかけをし、連携をとりあった。また、小学校とは、緊急時対応や子どもの様子の共有について、日頃から連携をしている。保護者が安心して仕事ができるように応援している。					継続してお世話になっている自治会の方、近隣の幼保育園、地域の方々、さらに関わり合いが持てるようになっていきたい。そのことによって、子ども自身が地域の方々に見守られながら大切に育てられているという実感を持てるようにしたい。					
	2 計画作成・見直し											
	3 サービスの標準化											
	4 苦情解決											
	5 利用者家族へのサポート											
	6 人権の尊重											
	7 地域との連携・交流											
III サービスの内容	1 基本原則	クラブは第二の家庭と考え、子ども達にとって安心できる居場所になるようにしている。季節や伝統行事を大切にしながら、子ども達と共に自主性、自発性、創造性を育てるような行事を企画、実行している。 おやつに関しては、アレルギー児童が多いため、コンタミネーションまで徹底し、一般の子に対しても、スナック菓子ではなく、手作り安心して食べられるものを提供している。					遊びや生活の中で、異学年、支援児が自然に関わりが持てるように、工夫していきたい。子ども達が安全に過ごせる場の環境づくりをさらに強化していきたい。行事においては、今年度以上に子どもの参加や活躍の場を増やしていきたい。興味・関心に合うレベルや内容を一緒に選び、実践を積み重ねることで、保護者と共に子どもの成長を喜び合えるようになりたい。					
	2 コミュニケーション											
	3 相談等の援助											
	4 健康管理											
	5 自傷他害への対応											
	6 活動											
	7 おやつの提供											
	8 施設環境											
	9 来所・帰宅											

運営事業者による自己評価結果

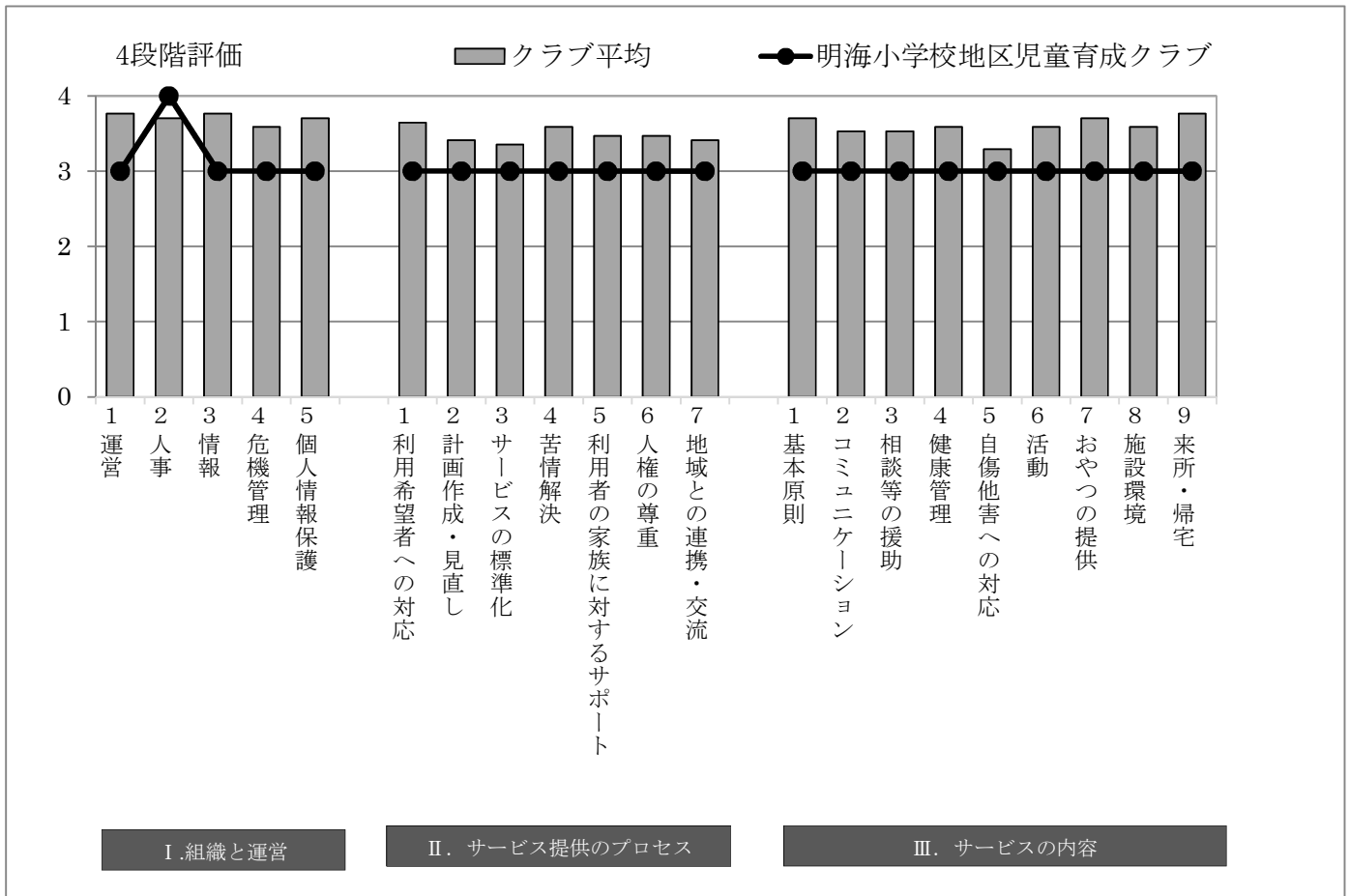
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
Ⅰ. 組織と運営	B
	(B)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	B
	(B)
Ⅲ. サービスの内容	B
	(B)



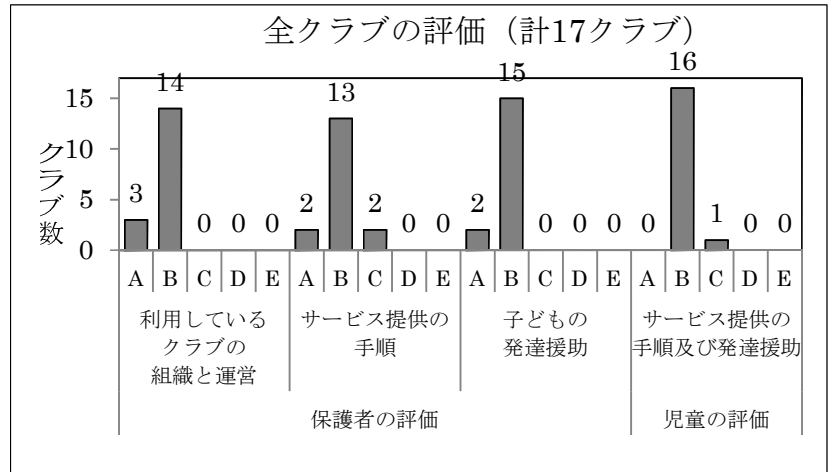
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	A (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	97.0%	0.0%	81.3%	1.2%	↑	82.1%	0.0%	△14.9%
	② 支援員の専門的知識や技術	81.8%	0.0%	60.9%	5.4%	↑	53.8%	0.0%	△28.0%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	93.9%	3.0%	85.2%	2.6%	↑	84.6%	0.0%	△9.3%
	④ クラブ内の清掃・整理	90.9%	0.0%	79.5%	1.9%	↑	87.2%	0.0%	△3.7%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	78.8%	0.0%	80.9%	1.3%		61.5%	2.6%	△17.3%
	⑥ 学校との連携や情報交換	81.8%	3.0%	75.7%	3.9%	↑	74.4%	2.6%	△7.4%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	97.0%	0.0%	86.0%	1.1%	↑	87.2%	0.0%	△9.8%
	② 支援員同士の情報共有	81.8%	0.0%	66.5%	6.2%	↑	66.7%	7.7%	△15.1%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	84.8%	3.0%	68.0%	7.1%	↑	61.5%	17.9%	△23.3%
	④ 支援員への相談のしやすさ	100.0%	0.0%	81.8%	3.3%	↑	84.6%	0.0%	△15.4%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	93.9%	0.0%	80.0%	2.5%	↑	82.1%	0.0%	△11.8%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	100.0%	0.0%	79.8%	1.9%	↑	89.7%	0.0%	△10.3%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	93.9%	0.0%	75.9%	2.6%	↑	79.5%	2.6%	△14.4%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	81.8%	6.1%	68.9%	5.7%	↑	66.7%	7.7%	△15.1%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	87.9%	0.0%	70.0%	3.0%	↑	76.9%	2.6%	△11.0%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	95.0%	0.6%	↑	97.4%	0.0%	△2.6%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	97.0%	0.0%	85.4%	2.0%	↑	82.1%	0.0%	△14.9%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	93.9%	0.0%	77.8%	3.5%	↑	82.1%	0.0%	△11.8%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	87.9%	0.0%	60.2%	1.7%	↑	64.1%	0.0%	△23.8%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	72.7%	0.0%	77.5%	1.8%		66.7%	2.6%	△6.0%
	② へややといれのきもちよさ	60.6%	18.2%	71.9%	4.2%		64.1%	12.8%	▼3.5%
	③ クラブのたのしさ	75.8%	6.1%	79.4%	2.4%		61.5%	10.3%	△14.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	69.7%	0.0%	65.0%	3.7%	↑	61.1%	2.6%	△8.6%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	72.7%	0.0%	62.2%	3.9%	↑	59.0%	5.1%	△13.7%

評価結果

平成 27 年度

高洲小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社日本デイケアセンター						
クラブの所在地		浦安市高洲四丁目 2 番 8 号						
クラブの連絡先		電 話	047-351-1015	F A X	047-351-1015			
当該クラブの運営開始日		平成 15 年 4 月 1 日						
開設場所		小学校敷地外						
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		195 人	利 用 者 数		182 人	
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常 勤	職員数	10 人	うち、男性	2 人	うち、女性	8 人	
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	2 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	7 人	うち、男性	0 人	うち、女性	7 人	
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	2 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>毎日のミーティングや聞き取りで得た情報を全支援員間で共有しています。また、情報を記録に残し、いつでも閲覧できるようにしています。</p> <p>子どもの意見を尊重しつつも、けじめをつけたり、悪いことをしたらしっかり叱るよう、保育を行なっています。</p>
------------------------------	--

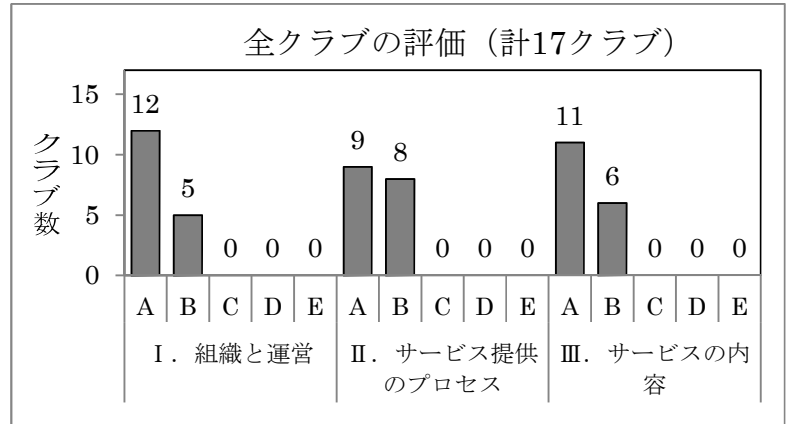
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>始業時のミーティングや終業時の聞き取りを毎日行ない、記録を残しているため、支援員間での情報共有がしっかり行なえています。</p> <p>学校とはこまめに連絡を取り、学校のイベントに積極的に参加することで良好な関係を築けるよう努めています。</p> <p>怪我事故について記録をしっかりと残り、支援員間で話し合い、再発防止に努めています。</p>	<p>ミーティングで意見を聞いていますが、より話し合いがしやすい状態を保っていきます。</p> <p>学童の活動内容についてより多くの方に知ってもらおう努力をしています。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>年度初めに活動計画について話し合い、内容の変更なども柔軟に行なっています。</p> <p>苦情については早急にミーティングで話し合い、解決に向けて動いています。</p> <p>家庭環境に変化のあった子どもについて、情報を全支援員で共有し、重点的に様子を見るようにしています。</p>	<p>マニュアルや新人研修をより充実したものにしていきます。</p> <p>地域行事の参加について積極的にやりたいところですが、子どもの人数や参加意欲の問題もあるので、柔軟に行なっていきます。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子どもの意向を聞いて、なるべくやりたいことができるようにしています。</p> <p>毎日のミーティングで子どもの様子について話し、気になる子どもは注意して様子を見ています、また、記録を残して全支援員が確認できるようにしています。</p> <p>清掃は毎日 2 回おこなっていますが、それ以外にもこまめに掃き掃除、拭き掃除を行なっています。</p>	<p>おやつについて同じようなメニューとなることがあるため、より工夫をしていきます。</p> <p>清掃についてはしっかり行なえているので、より整理整頓を心がけていきます。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

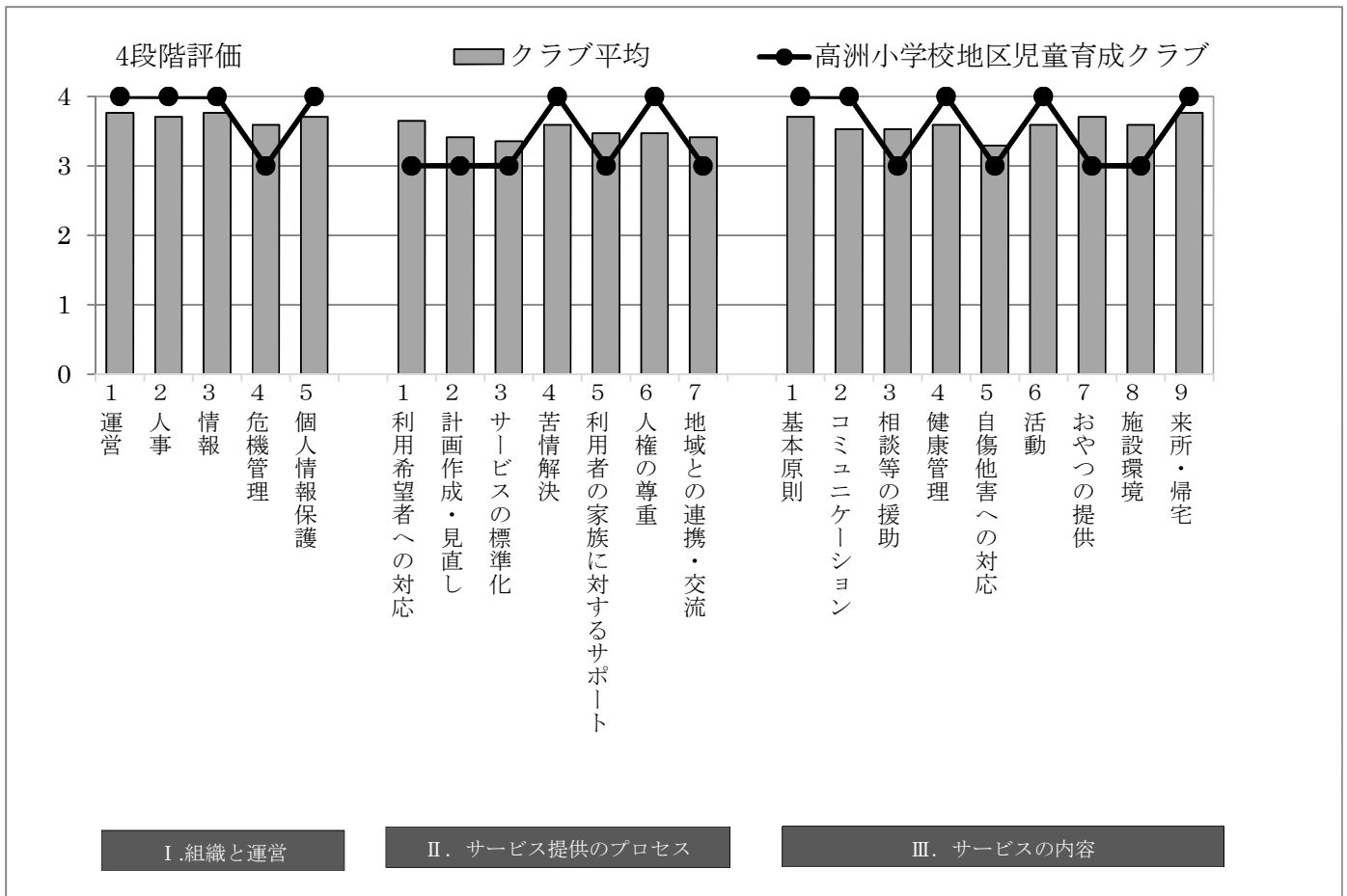
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
Ⅰ. 組織と運営	A
	(B)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	B
	(B)
Ⅲ. サービスの内容	A
	(B)



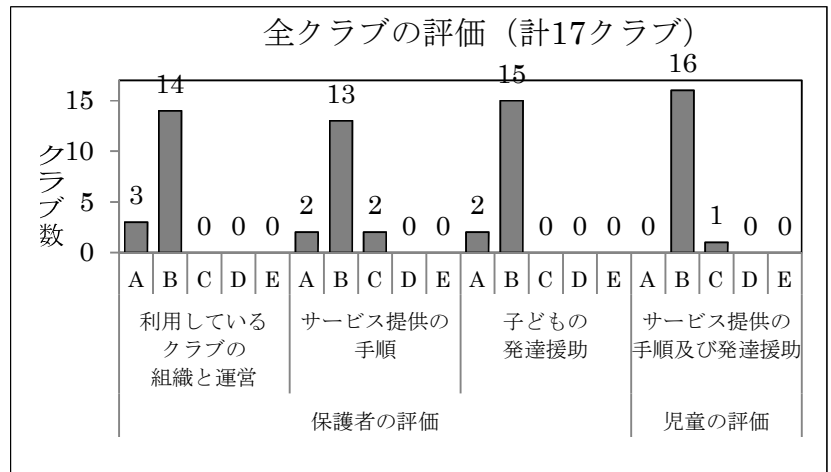
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (A)
	サービス提供の手順について	B (A)
	子どもの発達援助について	B (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	84.2%	1.0%	81.3%	1.2%	↑	85.0%	0.9%	▼0.8%
	② 支援員の専門的知識や技術	69.3%	1.0%	60.9%	5.4%	↑	69.2%	2.8%	△0.1%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	88.1%	3.0%	85.2%	2.6%	↑	85.0%	0.9%	△3.1%
	④ クラブ内の清掃・整理	76.2%	2.0%	79.5%	1.9%		78.5%	0.9%	▼2.3%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	89.1%	0.0%	80.9%	1.3%	↑	87.9%	0.9%	△1.2%
	⑥ 学校との連携や情報交換	88.1%	0.0%	75.7%	3.9%	↑	83.2%	0.9%	△4.9%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	93.1%	0.0%	86.0%	1.1%	↑	94.4%	0.0%	▼1.3%
	② 支援員同士の情報共有	76.2%	0.0%	66.5%	6.2%	↑	83.2%	1.9%	▼7.0%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	78.2%	5.0%	68.0%	7.1%	↑	80.4%	4.7%	▼2.2%
	④ 支援員への相談のしやすさ	84.2%	1.0%	81.8%	3.3%	↑	88.8%	1.9%	▼4.6%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	85.1%	0.0%	80.0%	2.5%	↑	87.9%	0.0%	▼2.8%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	77.2%	4.0%	79.8%	1.9%		76.6%	1.9%	△0.6%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	75.2%	1.0%	75.9%	2.6%		88.8%	0.9%	▼13.6%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	80.2%	1.0%	68.9%	5.7%	↑	83.2%	1.9%	▼3.0%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	74.3%	2.0%	70.0%	3.0%	↑	78.5%	2.8%	▼4.2%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.0%	0.0%	95.0%	0.6%	↑	99.1%	0.0%	▼1.1%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	91.1%	0.0%	85.4%	2.0%	↑	84.1%	0.9%	△7.0%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	84.2%	0.0%	77.8%	3.5%	↑	93.5%	0.9%	▼9.3%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	71.3%	1.0%	60.2%	1.7%	↑	86.0%	0.0%	▼14.7%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	82.2%	0.0%	77.5%	1.8%	↑	79.2%	1.9%	△3.0%
	② へややといれのきもちよさ	67.3%	5.9%	71.9%	4.2%		70.8%	5.7%	▼3.5%
	③ クラブのたのしさ	84.2%	1.0%	79.4%	2.4%	↑	78.3%	0.0%	△5.9%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	65.3%	4.0%	65.0%	3.7%	↑	75.5%	0.9%	▼10.2%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	68.3%	4.0%	62.2%	3.9%	↑	77.4%	0.9%	▼9.1%

評価結果

平成 27 年度

日の出南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社 サクセスアカデミー						
クラブの所在地		浦安市日の出五丁目 4 番 3 号						
クラブの連絡先		電 話	047-305-1345	F A X	047-305-1345			
当該クラブの運営開始日		平成 24 年 4 月 1 日						
開設場所		小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		120 人	利用者数		108 人	
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	5 人	うち、男性	1 人	うち、女性	4 人	
		有資格者数		保育士	4 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	11 人	うち、男性	2 人	うち、女性	9 人	
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	あたたかな環境の中で、ひとり 1 人の心に寄り添い、泣いたり、笑ったり、時には怒ったり、自分らしさを表現できる居場所づくりをたいせつにしています。働く保護者の子育てを支えていける安全安心した居場所作りを目指しています。
------------------------------	---

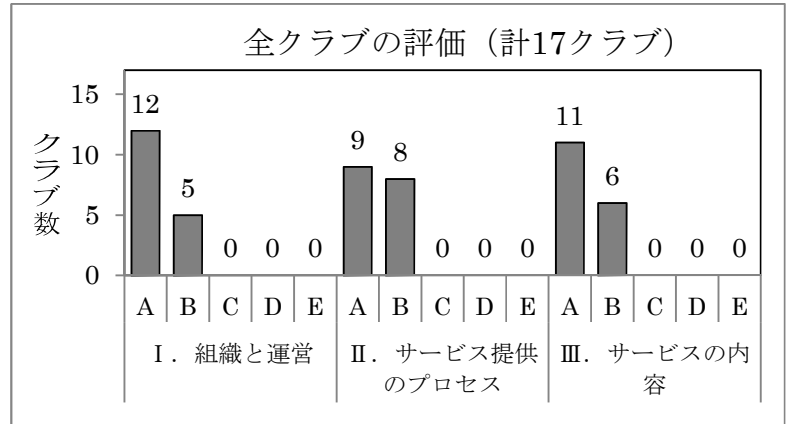
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>目指すべき施設の在り方を、毎日のミーティング時に斉唱し、支援員への意識付けを行っている。目標を明確にすることは、子どもへの公平な支援やよりよいサービスの提供に繋がると認識している。</p> <p>勤続年数が高い支援員が多いため、コミュニケーションがよく取れている。</p>	<p>支援員の年齢はバランスが取れている構成だが、男性支援員が 3 名と少ない。バランスを考慮して、この点は改善していきたい。</p> <p>大規模施設を、職員間の連携はとても重要な事である。その為にも職員の意識の統一化に向けた取り組みを行っていく必要がある。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>運営ガイドにも基づくサービスの提供を行っているが、マニュアルに頼るのではなく、子どもや保護者が望む事を「正確に理解する」為に、情報共有を大切にして支援員間で密に話合っている。</p> <p>支援員の得意分野を生かした活動を取り入れ、子どもが興味関心を持つ工夫をしている。</p>	<p>各自のスキルアップを高める、研修などを積極的に取り入れていきたい。</p> <p>保護者のお迎え時等を利用し、時間のある保護者には子どもと一緒に工作や遊びを出来るような工夫をしていきたい。クラブの活動を通し、親子の会話を増やす取り組みを考えていきたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>茶道体験 身近な材料を用いての科学実験、世界の国を知る、日本の名産品のおやつを取り入れる等、継続した取り組みを行っているので、無理なく自然に子どもたちが知識を得ることが出来ている。</p> <p>支援員の大きな声が響くのではなく、子どもの声がたくさん聞こえる施設になっている。</p>	<p>身体を使った遊びの工夫をしていきたい。遊びの中で、体力の向上が望めるようなプログラムを考えていきたい。</p> <p>ユニバーサルマナー等を子どもたちの成長において必要な知識を伝えていくプログラムも検討している。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

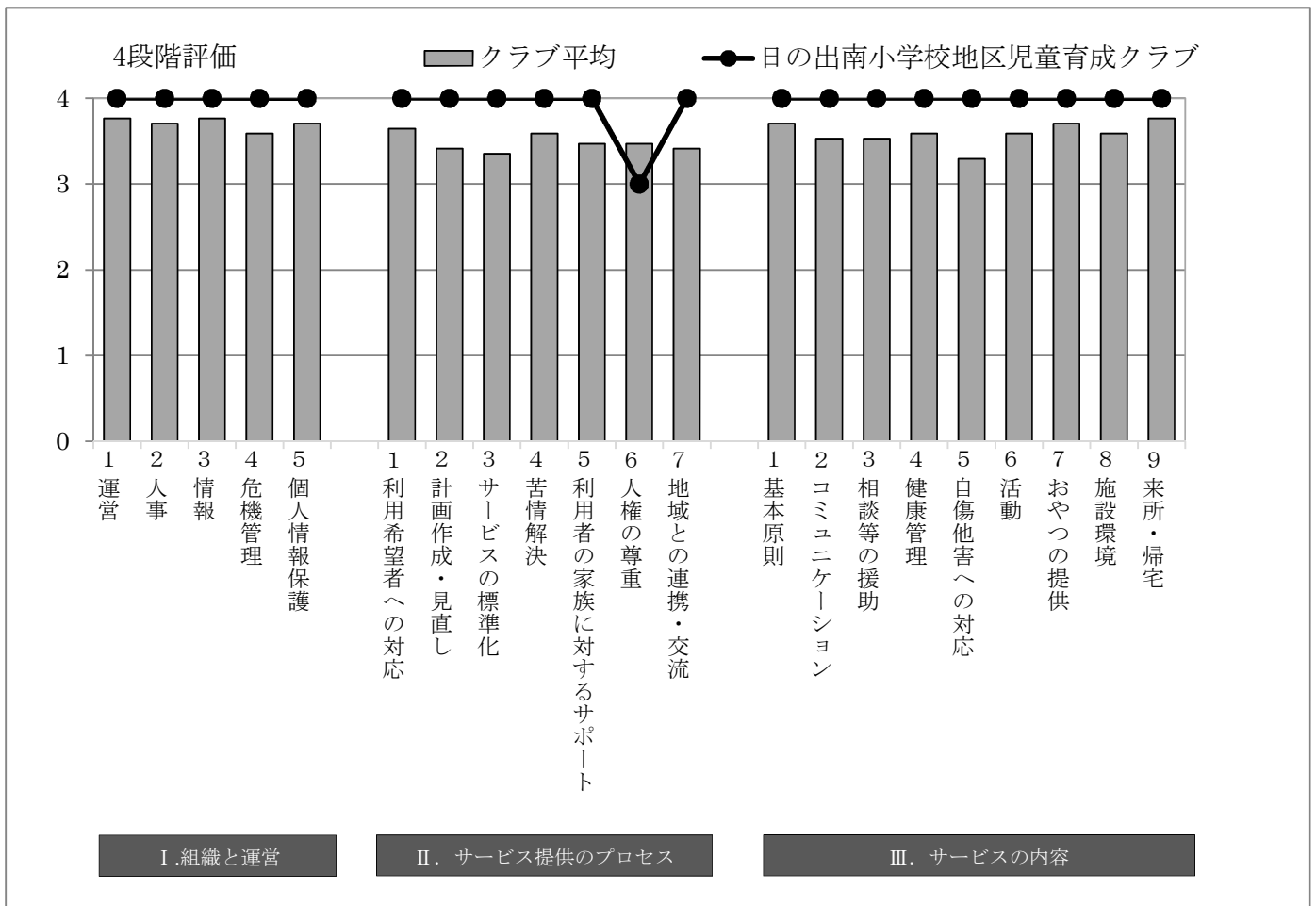
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
Ⅰ. 組織と運営	A
	(A)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	A
	(A)
Ⅲ. サービスの内容	A
	(A)



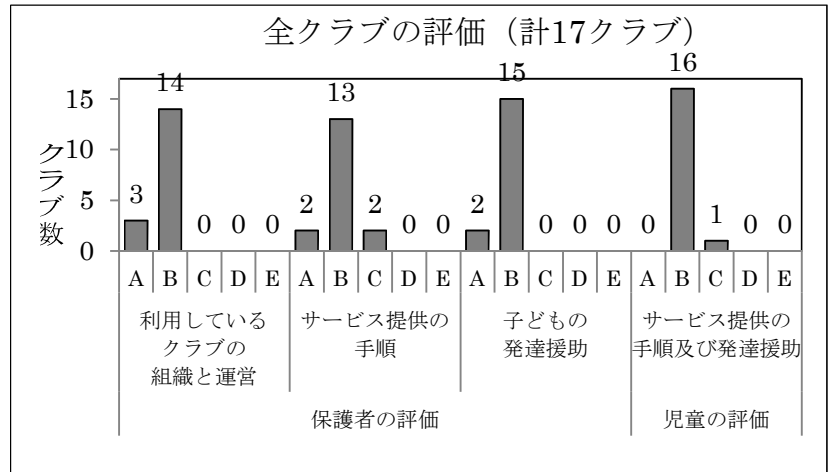
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (A)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	83.0%	0.0%	81.3%	1.2%	↑	83.7%	0.0%	▼0.7%
	② 支援員の専門的知識や技術	57.4%	6.4%	60.9%	5.4%		69.4%	0.0%	▼12.0%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	89.4%	2.1%	85.2%	2.6%	↑	85.7%	0.0%	△3.7%
	④ クラブ内の清掃・整理	74.5%	2.1%	79.5%	1.9%		77.6%	4.1%	▼3.1%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	89.4%	2.1%	80.9%	1.3%	↑	93.9%	0.0%	▼4.5%
	⑥ 学校との連携や情報交換	80.9%	2.1%	75.7%	3.9%	↑	73.5%	4.1%	△7.4%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	89.4%	0.0%	86.0%	1.1%	↑	91.8%	0.0%	▼2.4%
	② 支援員同士の情報共有	66.0%	6.4%	66.5%	6.2%		63.3%	6.1%	△2.7%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	74.5%	8.5%	68.0%	7.1%	↑	75.5%	12.2%	▼1.0%
	④ 支援員への相談のしやすさ	83.0%	8.5%	81.8%	3.3%	↑	75.5%	4.1%	△7.5%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	78.7%	2.1%	80.0%	2.5%		89.8%	0.0%	▼11.1%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	91.5%	0.0%	79.8%	1.9%	↑	81.6%	2.0%	△9.9%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	87.2%	4.3%	75.9%	2.6%	↑	79.6%	4.1%	△7.6%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	63.8%	0.0%	68.9%	5.7%		71.4%	6.1%	▼7.6%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	80.9%	2.1%	70.0%	3.0%	↑	79.6%	2.0%	△1.3%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.9%	0.0%	95.0%	0.6%	↑	100.0%	0.0%	▼2.1%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	85.1%	2.1%	85.4%	2.0%		85.7%	6.1%	▼0.6%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	74.5%	4.3%	77.8%	3.5%		75.5%	2.0%	▼1.0%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	76.6%	2.1%	60.2%	1.7%	↑	71.4%	0.0%	△5.2%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	63.8%	2.1%	77.5%	1.8%		61.2%	6.1%	△2.6%
	② へややといれのきもちよさ	51.1%	12.8%	71.9%	4.2%		69.4%	14.3%	▼18.3%
	③ クラブのたのしさ	78.7%	2.1%	79.4%	2.4%		71.4%	6.1%	△7.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	66.0%	6.4%	65.0%	3.7%	↑	49.0%	4.1%	△17.0%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	44.7%	10.6%	62.2%	3.9%		63.3%	6.1%	▼18.6%

評価結果

平成 27 年度

明海南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社 日本ダイケアセンター						
クラブの所在地		浦安市明海五丁目 5 番 1 号						
クラブの連絡先		電 話	047-382-2901	F A X	047-382-2901			
当該クラブの運営開始日		平成 21 年 4 月 1 日						
開設場所		小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		110 人	利用者数		57 人	
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	5 人	うち、男性	0 人	うち、女性	5 人	
		有資格者数		保育士	2 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	1 人	うち、男性	1 人	うち、女性	0 人	
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとってより安全で居心地の良い環境を提供するために、日頃より保護者・学校との連携を大切にしている。 ・子ども自身が、学童生活の中にある人との関わりや様々な体験を通して「相手を思いやる心」「人を大切にする心」を育んで行けるよう、支援員が同じ方向を向き保育に取り組んでいる。
------------------------------	---

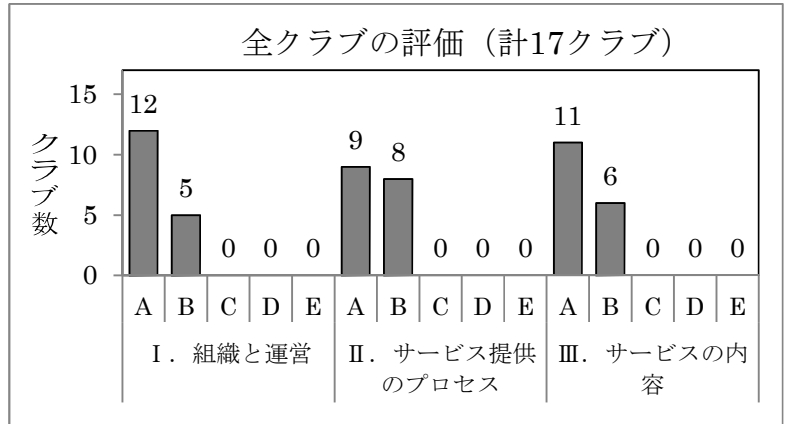
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングにより、あらゆる角度から話し合い協議し合うことで、全支援員が同じ方向性を持って保育に取り組んでいる。また保護者、学校との連携を密にすることで子どもにとってより良い環境づくりに努めている。 ・災害や緊急事態に備え、様々な状況を想定した児童には予知無しの避難訓練を毎月一回実施している。その際子どもには学童滞在時の避難方法を教えると共に、自宅での一人留守番中においても速やかに対処できるよう教えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マネージャーとの連携を密にし、市との情報共有に今後より一層努めていく。 ・年 2 回マネージャーによる面談を行っている。その後の具体策実現に向けて努めていく。また各自目標を持ち達成に向けて仕事に取り組んでいく。 ・いざという時に落ち着いて対処できるよう救護や、AED 操作の知識を全職員がより強固なものにしていく。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービスの提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・年一回地元ボランティアの方や、日ごろ接する機会がない方をお招きし、子どもが日常生活では経験できないようなことを体験し、貴重な時間を過ごせるようお願い「体験教室」を行っている。今後は回数を増やして行けるよう、情報収集に努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意思尊重、子どもの状況に合った支援方法について毎日のミーティングで協議することはもちろん、現状に満足することがないよう、支援員自身が日々資質の向上、自己研鑽に努めていく。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心して過ごせる、より良い環境づくりに配慮し、学童生活のなかにある人と人との関わりや様々な体験を通して「相手を思いやる心」「人を大切に思う心」を育んで行けるよう取り組んでいる。 ・子どもの状態、状況を確実に把握するとともに、子どもが話しやすい、相談しやすい環境であるよう学年担任制で保育を行っている。 ・誘拐、動物虐待等、残忍卑劣な事件が多発する昨年、子どもの命が確実に守られるよう、万が一の時に子ども自身が正しい対処が出来るよう、子ども自身にも認識を持ってもらうための防犯教室を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で学習する時間のほかに、周りの遊びに気が散らないようなスペースを確保し、自主的に学習活動が出来る環境整備をすると共に、子ども自身がスムーズに取り組むことが出来る精神面のケアをより確実に出来るよう努めていく。 ・アレルギー疾患のある子どもに対する食品への配慮や、アナフィラキシーショック発症時の対処法について、全職員が情報を共有し適切に対応しているが、今後どのようなアレルギー症状を持つ児童にでも対応できるよう、また突然のアレルギー発症等にも迅速な対応が出来るようさらなる知識向上の為、積極的に研修への参加をする等努めていく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

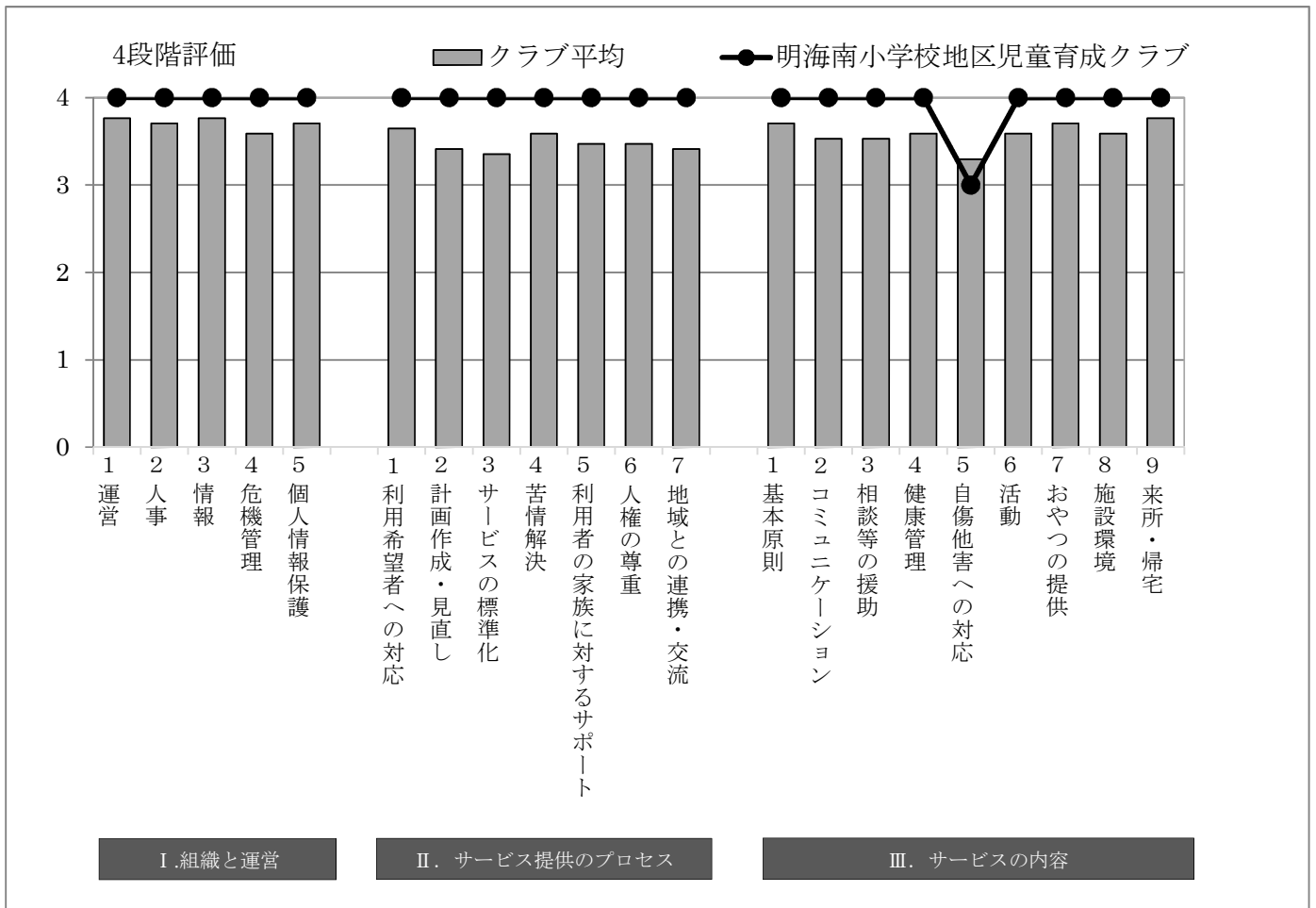
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
I. 組織と運営	A
	(A)
II. サービス提供の プロセス	A
	(B)
III. サービスの内容	A
	(A)



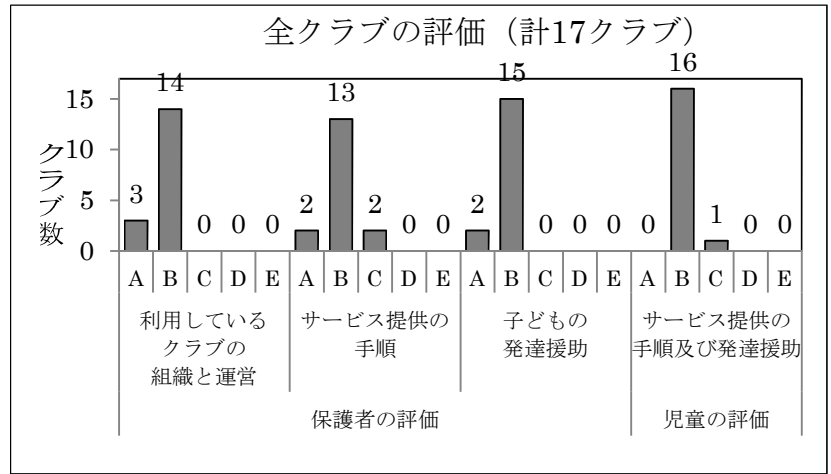
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (A)
	サービス提供の手順について	A (A)
	子どもの発達援助について	B (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (A)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	88.9%	0.0%	81.3%	1.2%	↑	76.3%	0.0%	△12.6%
	② 支援員の専門的知識や技術	66.7%	0.0%	60.9%	5.4%	↑	68.4%	5.3%	▼1.7%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	97.2%	0.0%	85.2%	2.6%	↑	92.1%	0.0%	△5.1%
	④ クラブ内の清掃・整理	86.1%	2.8%	79.5%	1.9%	↑	73.7%	2.6%	△12.4%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	88.9%	0.0%	80.9%	1.3%	↑	78.9%	0.0%	△10.0%
	⑥ 学校との連携や情報交換	94.4%	0.0%	75.7%	3.9%	↑	76.3%	0.0%	△18.1%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	91.7%	0.0%	86.0%	1.1%	↑	84.2%	0.0%	△7.5%
	② 支援員同士の情報共有	88.9%	0.0%	66.5%	6.2%	↑	78.9%	2.6%	△10.0%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	86.1%	0.0%	68.0%	7.1%	↑	81.6%	0.0%	△4.5%
	④ 支援員への相談のしやすさ	91.7%	2.8%	81.8%	3.3%	↑	89.5%	5.3%	△2.2%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	97.2%	0.0%	80.0%	2.5%	↑	89.5%	0.0%	△7.7%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	86.1%	0.0%	79.8%	1.9%	↑	84.2%	0.0%	△1.9%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	91.7%	0.0%	75.9%	2.6%	↑	81.6%	0.0%	△10.1%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	77.8%	11.1%	68.9%	5.7%	↑	60.5%	5.3%	△17.3%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	75.0%	0.0%	70.0%	3.0%	↑	68.4%	2.6%	△6.6%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	95.0%	0.6%	↑	97.4%	0.0%	△2.6%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	94.4%	0.0%	85.4%	2.0%	↑	92.1%	0.0%	△2.3%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	94.4%	0.0%	77.8%	3.5%	↑	89.5%	2.6%	△4.9%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	72.2%	0.0%	60.2%	1.7%	↑	73.7%	0.0%	▼1.5%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	88.9%	0.0%	77.5%	1.8%	↑	76.3%	0.0%	△12.6%
	② へややといれのきもちよさ	75.0%	2.8%	71.9%	4.2%	↑	84.2%	0.0%	▼9.2%
	③ クラブのたのしさ	88.9%	5.6%	79.4%	2.4%	↑	78.9%	2.6%	△10.0%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	83.3%	2.8%	65.0%	3.7%	↑	86.8%	0.0%	▼3.5%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	80.6%	0.0%	62.2%	3.9%	↑	84.2%	5.3%	▼3.6%

評価結果

平成 27 年度

高洲北小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社サクセスアカデミー						
クラブの所在地		浦安市高洲二丁目 2 番 1 号						
クラブの連絡先		電 話	047-381-5201	F A X	047-381-5201			
当該クラブの運営開始日		平成 18 年 4 月 1 日						
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		120 人	利用者数		97 人	
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人	うち、男性	1 人	うち、女性	3 人	
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	11 人	うち、男性	2 人	うち、女性	9 人	
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>私たちの仕事は、利用者から「ありがとう」と言われるサービスの提供をおこなっています。安全・安心のあたたかい環境の中で子ども一人ひとりの心に寄り添い、豊かな出会いや経験を通して生きていく力を育む手助けをします。</p> <p>自ら考え行動し、思いやりのある子どもの健全育成を行い、一人ひとりの個性を大切にしています。</p>
------------------------------	--

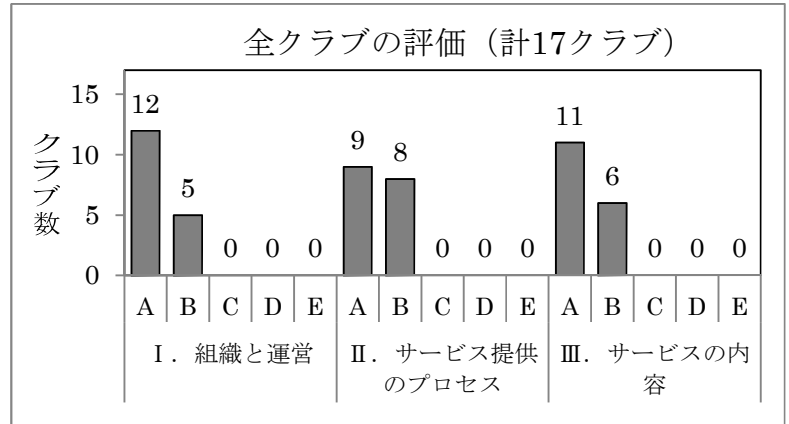
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>父母会役員や小学校との連携は取れてきているので、引き続き信頼関係を構築していきたい。</p> <p>夏祭りやもちつき大会など、年々、父母のお手伝い人数が増えてきているので、父母会共催行事のときなどは、クラブからアピールしていきたい、児童育成クラブの理解をもっと深めていきたい。</p>	<p>今年度は、支援員一人ひとりの当事者意識に差が出てしまい、その結果ミスが発生してしまうことが複数回あった。</p> <p>利用者のための施設、利用者のためのサービスの提供という原点について、改めて見直し、責任感を持って運営にあたっていきたい。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>保護者会の開催日を金曜日の夜に設定する、日常の様子を壁面に貼り出すなど、参加しやすく、来て良かったとおもえるように設定したため、少しずつ出席人数も増えている。保護者との距離感を縮めるためのいい機会と捉え、引き続き実行していきたい。</p>	<p>書面だけでは伝えきれない部分や、信頼関係を作るためには、顔をできるだけ合わせて話をする必要がある為、お迎え時にはよりコミュニケーションを取るよう心掛けていきたい。</p> <p>また、普段会わない保護者とも、連絡帳などを通して、関わりを積極的に図っていきたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>父母会役員や、お迎え時の保護者に意見などを聞くことによって、より現実的な言葉や感想を聞くことができた。</p> <p>今年度は 3 部屋をフル活用し、上手な使い分けができたため、1 年を通して子どもたちも落ち着いて過ごすことができていた。</p>	<p>保護者の様々な要望や、意見に戸惑うこともしばしばあったが、そういった要望や意見も柔軟に取り入れ、今後、多様化していくニーズにも、臨機応変に対応できる力と応用力を身に付けて、施設運営に取り組んでいきたい。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

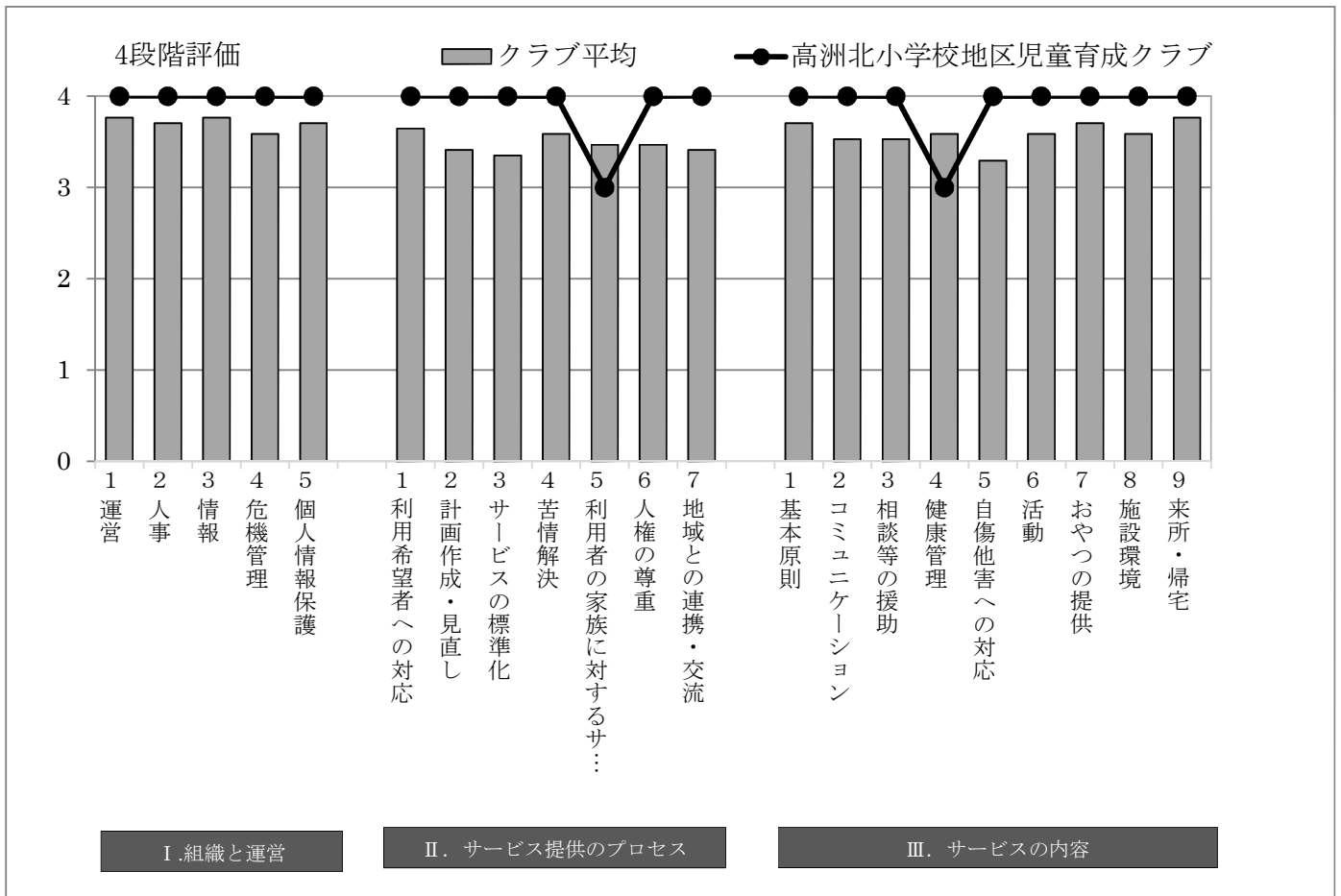
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
Ⅰ. 組織と運営	A
	(A)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	A
	(A)
Ⅲ. サービスの内容	A
	(A)



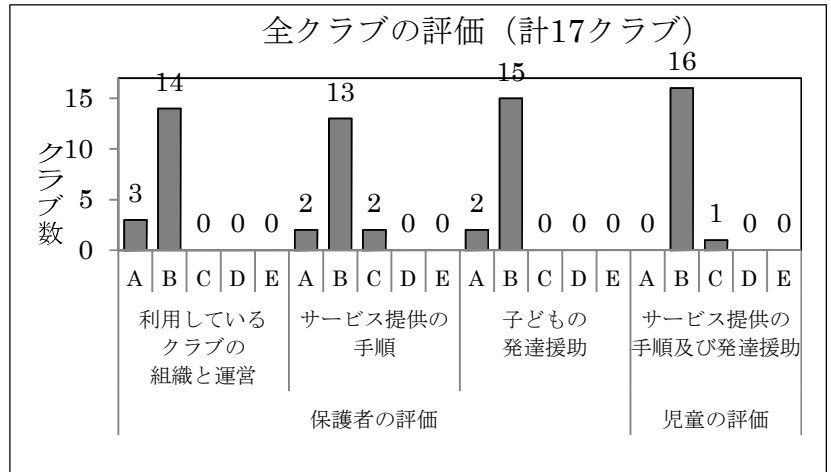
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (C)
	サービス提供の手順について	B (C)
	子どもの発達援助について	B (C)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	78.7%	0.0%	81.3%	1.2%		68.8%	10.4%	△9.9%
	② 支援員の専門的知識や技術	47.5%	6.6%	60.9%	5.4%		18.8%	18.8%	△28.7%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	90.2%	1.6%	85.2%	2.6%	↑	58.3%	10.4%	△31.9%
	④ クラブ内の清掃・整理	67.2%	1.6%	79.5%	1.9%		52.1%	12.5%	△15.1%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	75.4%	0.0%	80.9%	1.3%		68.8%	4.2%	△6.6%
	⑥ 学校との連携や情報交換	67.2%	11.5%	75.7%	3.9%		56.3%	8.3%	△10.9%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	82.0%	0.0%	86.0%	1.1%		81.3%	8.3%	△0.7%
	② 支援員同士の情報共有	65.6%	6.6%	66.5%	6.2%		52.1%	14.6%	△13.5%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	72.1%	3.3%	68.0%	7.1%	↑	60.4%	10.4%	△11.7%
	④ 支援員への相談のしやすさ	88.5%	3.3%	81.8%	3.3%	↑	56.3%	14.6%	△32.2%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	83.6%	1.6%	80.0%	2.5%	↑	54.2%	8.3%	△29.4%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	83.6%	0.0%	79.8%	1.9%	↑	72.9%	6.3%	△10.7%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	68.9%	0.0%	75.9%	2.6%		62.5%	4.2%	△6.4%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	60.7%	4.9%	68.9%	5.7%		41.7%	22.9%	△19.0%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	62.3%	0.0%	70.0%	3.0%		43.8%	14.6%	△18.5%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	96.7%	1.6%	95.0%	0.6%	↑	91.7%	0.0%	△5.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	85.2%	0.0%	85.4%	2.0%		64.6%	6.3%	△20.6%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	83.6%	1.6%	77.8%	3.5%	↑	58.3%	6.3%	△25.3%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	42.6%	1.6%	60.2%	1.7%		27.1%	8.3%	△15.5%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	80.3%	1.6%	77.5%	1.8%	↑	85.4%	0.0%	▼5.1%
	② へややといれのきもちよさ	63.9%	3.3%	71.9%	4.2%		68.8%	10.4%	▼4.9%
	③ クラブのたのしさ	78.7%	0.0%	79.4%	2.4%		75.0%	4.2%	△3.7%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	57.4%	1.6%	65.0%	3.7%		64.6%	0.0%	▼7.2%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	59.0%	1.6%	62.2%	3.9%		58.3%	2.1%	△0.7%

評価結果

平成 27 年度

東野小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		社会福祉法人 浦安市社会福祉協議会					
クラブの所在地		浦安市東野一丁目 7 番 3 号					
クラブの連絡先		電 話	047-304-1880	F A X	047-304-1880		
当該クラブの運営開始日		平成 22 年 4 月 1 日					
開設場所		小学校校舎内					
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		人	利 用 者 数		182 人
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	14 人	うち、男性	4 人	うち、女性	10 人
		有資格者数	保育士	2 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	10 人	うち、男性	2 人	うち、女性	8 人
		有資格者数	保育士	1 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<p>児童が常に安全に安心して楽しく過ごせる場であるよう、様々な危機管理と迅速な対応を心がけている。そのうえで、児童一人ひとりと向き合い、考えや思いを尊重したきめ細かな支援サービスを行うことで、児童や保護者との信頼関係を築けるよう努めている。</p> <p>また、社協が運営する利点として、隣接する施設活用や地域の人材活用などにより、地域で児童を見守り育てるような安心感を提供していきたい。</p>
-----------------------	---

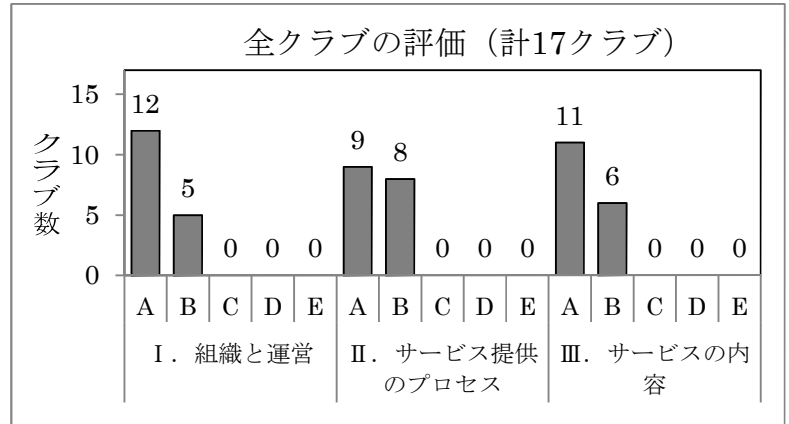
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> 学校との協力関係は大変良好で、校長先生、教頭先生のご協力の元、担任の先生とも、子どもの姿や宿題、生活面のこと等の情報を交換している。 指導員間の情報共有と連携に力を入れており、始業ミーティングで全体調整や作業確認などを行い、終業ミーティングは各部屋毎にその日の振り返りや各児童の対応の確認など細部にわたる話し合いを行っている。 怪我や事故については、危機管理として、危険箇所について共通理解し、安全で楽しく遊べるように、見守るポイント等を話し合っている。・児童育成クラブと社会福祉協議会が隣接していることから、常に連携し協力体制が取れ、何事も迅速な対応が可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への連絡は、月に 1 度の「クラブだより」や、一括メールの配信をこまめに行っているが、児童数が多く、3・4 年生は滞在時間が短いなど連絡帳を活用しづらいため、一人帰り児童の保護者とのコミュニケーションをより円滑するために連絡のやりとりの方法を検討していきたい。 救護や AED 操作に関する職員研修は研修や講習を受けた指導員がクラブ内で、伝えることはしているが、全員が研修会に行っていないので、今後実施していきたい。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> クラブに入会する際は必ず面談や、説明会を行い、しおりに添ってクラブを理解して頂くようにしている。また、しおりの見直しは毎年行い、より読みやすく、理解しやすいように作成している。 保護者との良好なコミュニケーションづくりを各支援員が意識しており、意見をいい出しやすいような雰囲気づくりに努めている。加えて玄関に意見箱を設置したり、クラブに対する意見を求めている。 平成 28 年度は、児童用の「生活のしおり」を作成し、クラブに来るのが楽しみになるよう工夫をした。 支援員の仕事や作業、子ども・保護者への対応について支援員で意見を出し合い、マニュアルを作成し、新人の支援員にもわかりやすく、また、誰が対応しても同じように対応できるようにしている。 社会福祉協議会の強みである地域資源（人や施設）を活用した地域と連携した活動を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、行事の計画を立てており、子どもへの支援の在り方等も支援員間で話し合い、共通理解しているが、支援計画については、28 年度に向けて作成中である。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> 各児童室に配置された担当が、子どもの様子をよく視診し、コミュニケーションを多く取っている。また、年齢の特徴等を踏まえながら、一人ひとりの心身の状態によって、成長の速度は違うことを理解できるように、ミーティングで話し合い、一人ひとりに合わせ、声のかけ方や対応を考え、様々な方法を試みている。 毎日の清掃や食べ物の管理から、嘔吐物の処理対応に至るまで、衛生管理に力を入れ、マニュアルを作成しシミュレーションを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題・おやつ・遊び等、集団下校で帰るまでに時間が制限されており、子ども達の登所時刻も学級によってばらつきが多いため、時間の使い方が難しく、十分遊ぶことができないのが課題である。来年度に向け、子ども達の意見も取り入れられるように、話し合う時間を作っていく予定である。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

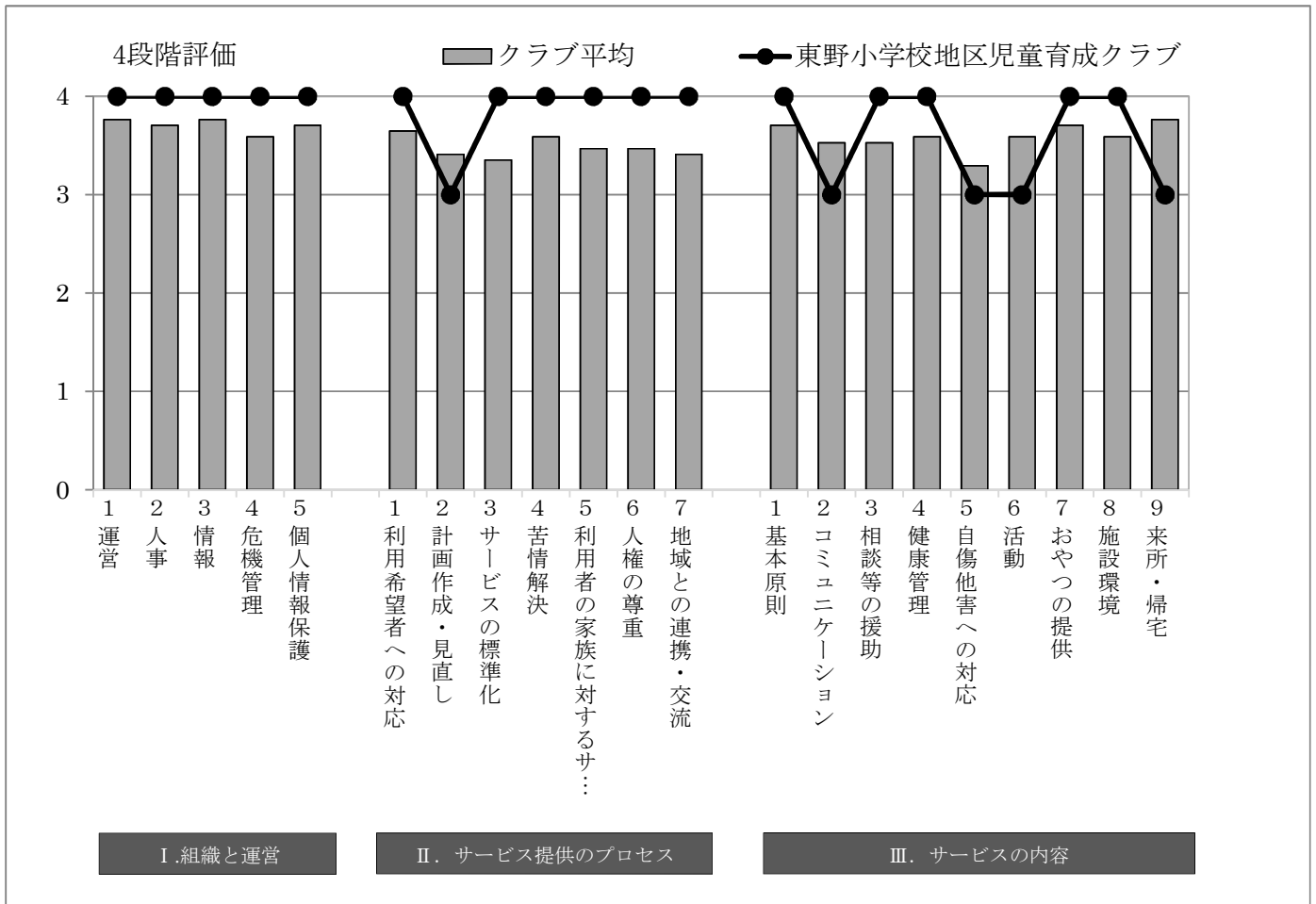
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
Ⅰ. 組織と運営	A
	(B)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	A
	(B)
Ⅲ. サービスの内容	A
	(B)



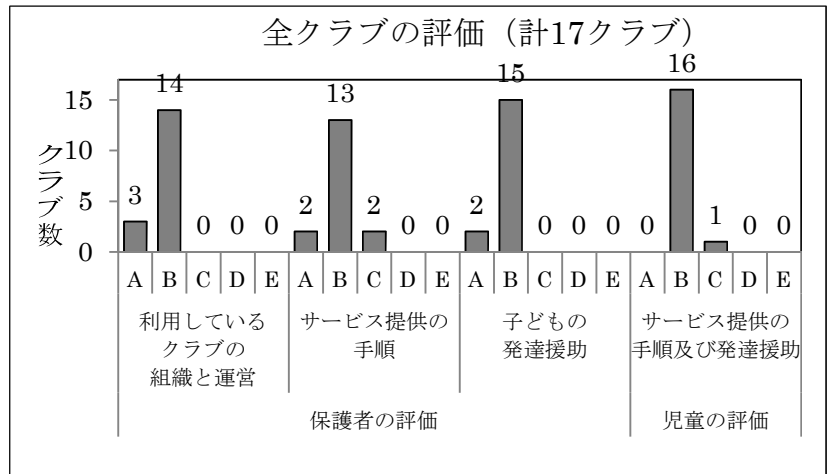
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (A)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (A)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	88.5%	0.0%	81.3%	1.2%	↑	87.3%	2.9%	△1.2%
	② 支援員の専門的知識や技術	64.1%	2.6%	60.9%	5.4%	↑	60.8%	2.9%	△3.3%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	94.9%	0.0%	85.2%	2.6%	↑	87.3%	3.9%	△7.6%
	④ クラブ内の清掃・整理	88.5%	1.3%	79.5%	1.9%	↑	88.2%	0.0%	△0.3%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	87.2%	0.0%	80.9%	1.3%	↑	85.3%	1.0%	△1.9%
	⑥ 学校との連携や情報交換	84.6%	0.0%	75.7%	3.9%	↑	87.3%	2.0%	▼2.7%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	89.7%	0.0%	86.0%	1.1%	↑	91.2%	2.0%	▼1.5%
	② 支援員同士の情報共有	71.8%	1.3%	66.5%	6.2%	↑	67.6%	5.9%	△4.2%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	71.8%	3.8%	68.0%	7.1%	↑	66.7%	8.8%	△5.1%
	④ 支援員への相談のしやすさ	88.5%	1.3%	81.8%	3.3%	↑	82.4%	3.9%	△6.1%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	85.9%	0.0%	80.0%	2.5%	↑	80.4%	2.0%	△5.5%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	83.3%	1.3%	79.8%	1.9%	↑	82.4%	2.0%	△0.9%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	82.1%	1.3%	75.9%	2.6%	↑	86.3%	2.0%	▼4.2%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	67.9%	6.4%	68.9%	5.7%		65.7%	9.8%	△2.2%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	71.8%	1.3%	70.0%	3.0%	↑	75.5%	2.0%	▼3.7%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	96.2%	0.0%	95.0%	0.6%	↑	95.1%	1.0%	△1.1%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	88.5%	0.0%	85.4%	2.0%	↑	85.3%	0.0%	△3.2%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	83.3%	1.3%	77.8%	3.5%	↑	84.3%	2.0%	▼1.0%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	70.5%	0.0%	60.2%	1.7%	↑	67.6%	0.0%	△2.9%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	85.9%	2.6%	77.5%	1.8%	↑	87.3%	1.0%	▼1.4%
	② へややといれのきもちよさ	87.2%	1.3%	71.9%	4.2%	↑	76.5%	1.0%	△10.7%
	③ クラブのたのしさ	84.6%	0.0%	79.4%	2.4%	↑	83.3%	1.0%	△1.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	67.9%	0.0%	65.0%	3.7%	↑	75.5%	2.0%	▼7.6%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	76.9%	1.3%	62.2%	3.9%	↑	72.5%	1.0%	△4.4%

評価結果

平成 27 年度

入船小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		社会福祉法人わかみや福祉会							
クラブの所在地		浦安市入船三丁目 66 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-352-1415	F A X	047-352-1415				
当該クラブの運営開始日		平成 23 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定 員		118 人		利 用 者 数		99 人	
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	3 人	うち、男性		3 人	うち、女性		0 人
		有資格者数		保育士	2 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭	0 人
	非常勤	職員数	7 人	うち、男性		0 人	うち、女性		7 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園 教諭	1 人	幼稚園以 外の教諭	1 人

運営事業者のサービス提供方針

<p>サービスの提供にあたって大切にしていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と職員が力をあわせ、児童により良い環境を作る ・保護者が安心して働くことができるよう、保育の充実をめざす ・子育て相談機関としての役割を自覚し、地域に開かれた学童保育をめざす
-------------------------------------	---

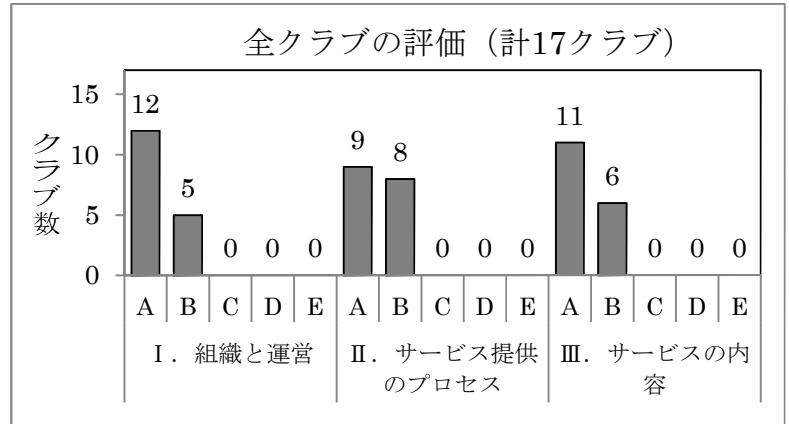
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>日々の会議を大切にし、情報を共有するだけでなく、子どもの様子、状況、変化がすぐに把握できるよう職員間で意識統一をしている。また積極的に研修にも参加し、個々のスキルアップを図るとともに、他学童職員と意見交換を行うことで理念などの基本方針や現状把握なども周知できるよう努めている。</p>	<p>時代に即したマニュアルの改善を検討していきたい。いろいろな意見を聞き、尊重しながら時間をかけて取り組んでいきたい。学校からの要望だけでなく、こちらから日常の中で疑問に思っている事、困っている事も発信できるようにしていきたい。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>見学者は可能な限り受け入れ、情報公開に努めている。地域交流に関しては、老人施設を慰問し、他学童との交流会も積極的に行った。また今年度は英語交流会も開いている。お迎えの際には職員がその日の様子や気になる事をこまめに伝え、時間が足りない保護者には部屋を提供し、ゆっくり話が出来る環境を作っている。</p>	<p>行事などについては保護者、児童に早目に伝えられるような工夫を取り入れていきたい。また保護者会の内容もより参加しやすいように、身になるように改善していきたい。一人帰りの子への配慮も考え、連絡帳の活用方法も検討していきたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>帰りの会を通して、子どもの自主性を育て、それぞれの思いを発表する機会を設けている。支援児が入ったことで自然な形でのノーマライゼーションや思いやりの気持ちも育っている。ICカードの導入で保護者からは安全と安心感という感謝の言葉をいただいている。</p>	<p>おやつに関しては、同法人の学童、保育園にも協力をお願いし、現状に満足せずより良い物を提供していきたい。学習時間については、環境設定に留意しながら、自分から率先して行っていけるよう根気強く働きかけていきたい。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつの提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

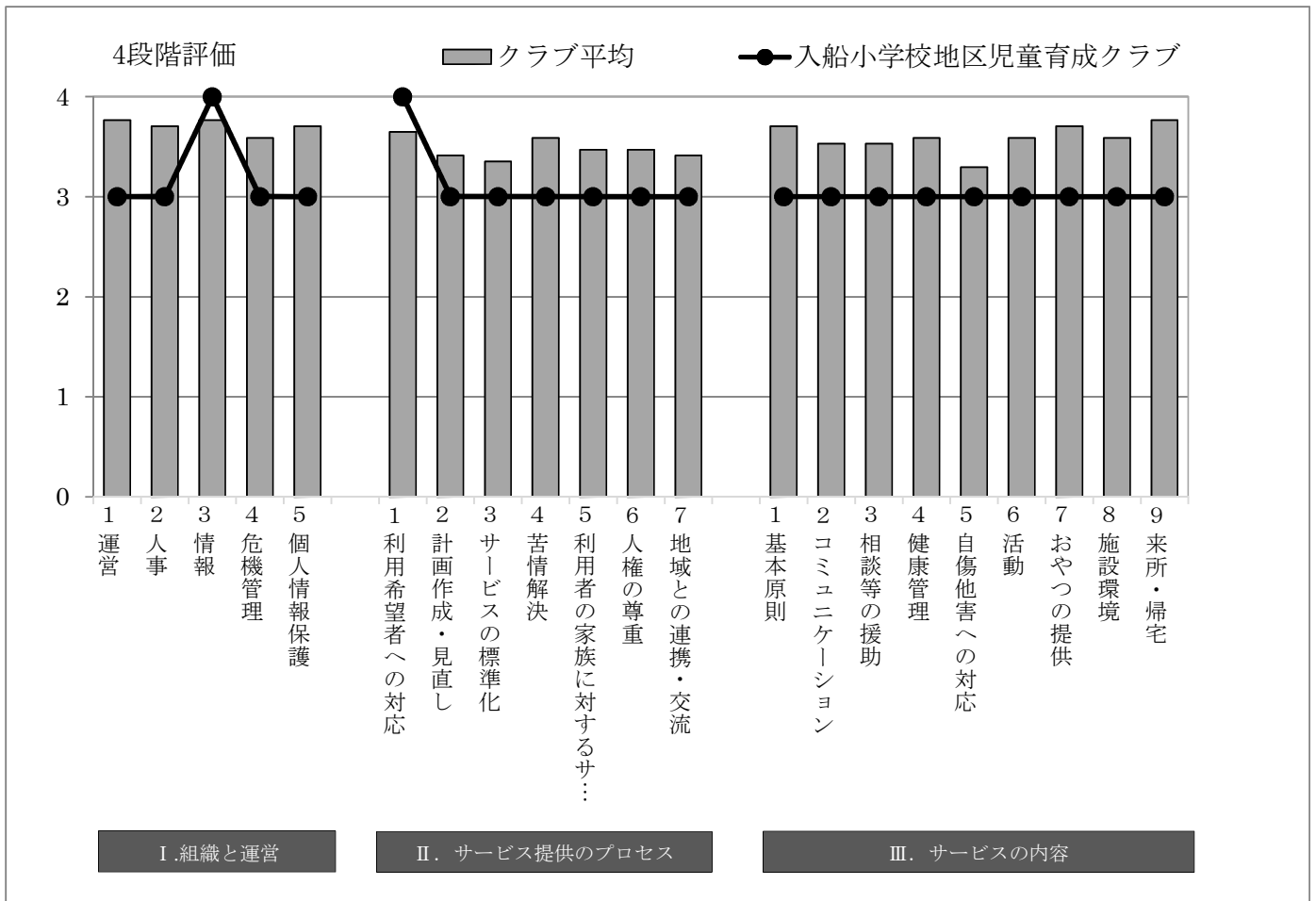
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 27 年度
	(平成 26 年度)
Ⅰ. 組織と運営	B
	(B)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	B
	(B)
Ⅲ. サービスの内容	B
	(B)



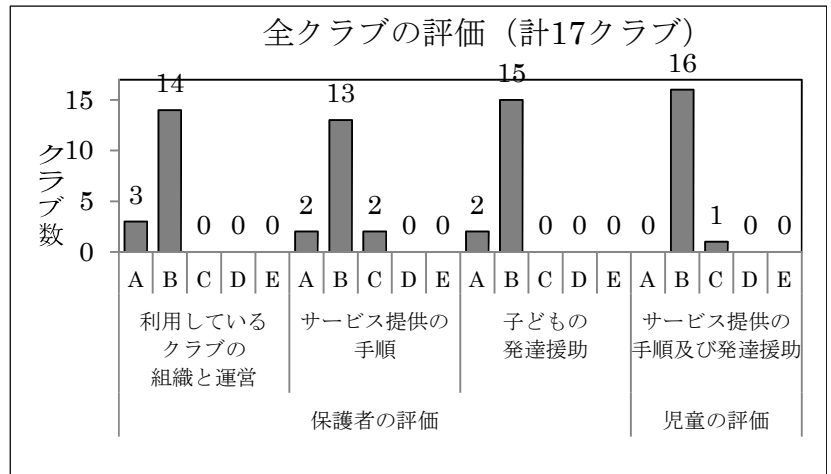
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成27年度
		(平成26年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (A)
	サービス提供の手順について	B (A)
	子どもの発達援助について	B (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	81.8%	0.0%	81.3%	1.2%	↑	83.3%	0.0%	▼1.5%
	② 支援員の専門的知識や技術	81.8%	1.8%	60.9%	5.4%	↑	74.1%	0.0%	△7.7%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	94.5%	0.0%	85.2%	2.6%	↑	100.0%	0.0%	▼5.5%
	④ クラブ内の清掃・整理	89.1%	0.0%	79.5%	1.9%	↑	88.9%	0.0%	△0.2%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	87.3%	0.0%	80.9%	1.3%	↑	87.0%	1.9%	△0.3%
	⑥ 学校との連携や情報交換	74.5%	9.1%	75.7%	3.9%		66.7%	1.9%	△7.8%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	87.3%	0.0%	86.0%	1.1%	↑	90.7%	0.0%	▼3.4%
	② 支援員同士の情報共有	76.4%	0.0%	66.5%	6.2%	↑	81.5%	1.9%	▼5.1%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	74.5%	3.6%	68.0%	7.1%	↑	63.0%	0.0%	△11.5%
	④ 支援員への相談のしやすさ	92.7%	0.0%	81.8%	3.3%	↑	90.7%	0.0%	△2.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	89.1%	0.0%	80.0%	2.5%	↑	90.7%	0.0%	▼1.6%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	87.3%	1.8%	79.8%	1.9%	↑	87.0%	0.0%	△0.3%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	90.9%	0.0%	75.9%	2.6%	↑	90.7%	0.0%	△0.2%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	76.4%	5.5%	68.9%	5.7%	↑	75.9%	3.7%	△0.5%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	81.8%	0.0%	70.0%	3.0%	↑	74.1%	1.9%	△7.7%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.2%	1.8%	95.0%	0.6%	↑	96.3%	0.0%	△1.9%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	89.1%	1.8%	85.4%	2.0%	↑	94.4%	0.0%	▼5.3%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	92.7%	0.0%	77.8%	3.5%	↑	88.9%	0.0%	△3.8%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	61.8%	1.8%	60.2%	1.7%	↑	61.1%	0.0%	△0.7%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成26年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	78.2%	0.0%	77.5%	1.8%	↑	83.0%	1.9%	▼4.8%
	② へややといれのきもちよさ	72.7%	0.0%	71.9%	4.2%	↑	75.5%	0.0%	▼2.8%
	③ クラブのたのしさ	85.5%	1.8%	79.4%	2.4%	↑	83.0%	1.9%	△2.5%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	70.9%	3.6%	65.0%	3.7%	↑	60.4%	3.8%	△10.5%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	74.5%	1.8%	62.2%	3.9%	↑	75.5%	0.0%	▼1.0%

資料

資料

1. 平成 27 年度 事業者自己評価シート

I. 組織と運営

■それぞれの「評価の視点」において、「自己評価」の欄に以下の4段階での記入をお願いします。

自己評価の定義	
4 : 優れた取組ができている	3 : おおむねできている
2 : あまりできていない	1 : まったくできていない

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 運営	① 放課後児童クラブ運営指針が職員に周知され、すべての職員がそれを理解し、実現に向けて取り組んでいる。		
	② 重要な意思決定について、関係する職員や利用者等に説明する場があり、工夫して十分に伝えている。		
	③ 職員が意見を言ったり、提案を出しやすい雰囲気をつくるための工夫がある。		
	④ 利用者から出された意見については必ず検討し、その対応について利用者や家族への説明や報告がなされている。		
	⑤ 利用者満足度調査を実施し、結果をもとに改善策をつくり、事業計画に活かしている。		
	⑥ サービス改善への取り組み状況は全職員に伝達している。		
	⑦ 市に対する活動報告を適切に行い、市との情報共有に努めている。		
	⑧ 学校との連携に積極的であり、適切な情報交換を行っている。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
2 人事	<p>① 子どもの発達の特徴や子どもとの関わり方、支援員の役割など、職員研修を行い、学んだ内容を職員間で共有している。</p>		
	<p>② 運営責任者等による職員との定期面接、職員からの申告書提出、業務上の悩みやストレスを軽減・解消するための具体的な方策、日ごろの談話等により、職員の提案、要望、不満、目標等を把握する仕組みがある。</p>		
	<p>③ 職員の雇用は、書類審査・面接等により適正に行い、運営事業者の理念等を理解したうえで採用している。</p>		
3 情報	<p>① 職員会議や日常的な引継ぎなど、指示・連絡・報告・相談の体制が確立しており、機能している。</p>		
	<p>② 「おたより」の発行や連絡帳などを通じて、利用者の様子を保護者に定期的・具体的に伝えている。</p>		
	<p>③ サービス提供や事業所運営の情報を、求めに応じて公開する仕組みがある。</p>		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
4 危機管理	① 災害や緊急時の対応についてマニュアルを整備し、職員に周知するとともに、定期的な避難訓練を実施している。		
	② 事故防止のため、施設や設備の安全性について点検を実施し、危険箇所に対し速やかに対処している。		
	③ クラブにおいて発生したケガや急病に対処するために、救護やAED操作に関する職員研修を行っている。		
	④ 子どもに対する手洗いの徹底や、嘔吐物の処理方法のルール化など、感染症の拡大防止に努めている。		
	⑤ 食品や調理器具の取り扱いに注意し、食中毒の防止に努めている。		
	⑥ ケガや事故の情報を記録し、再発防止のための対策を行っている。		
5 個人情報保護	① 職員への研修は、利用者および保護者の個人情報の取り扱い、守秘義務に関する内容を含めて行っている。		
	② 利用者の個人情報(名簿等)が流出しないよう、具体的な取り組みを行っている。		
	③ 個人情報の利用目的を、利用者や保護者に明示している。		
	④ 面談は個室で行うなど、プライバシーの保護に配慮している。		

II. サービス提供のプロセス

■それぞれの「評価の視点」において、「自己評価」の欄に以下の4段階での記入をお願いします。

自己評価の定義	
4：優れた取組ができている	3：おおむねできている
2：あまりできていない	1：まったくできていない

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 利用希望者への対応	① 入会説明会や見学は、なるべく意向に添って受け入れ、見学者に対して、サービスの内容や規則について、正確に、わかりやすく説明するよう努めている。		
	② 重要事項に関して子どもやその保護者等に事前に説明し、書面による同意を得ている。		
	③ 重要事項説明書や入会のしおりは読みやすく、わかりやすいものを作成している。		
2 計画作成・見直し	① 年間の支援計画は、子どもや保護者の要望、関係者の意見を取り入れて作成している。		
	② 年間の支援計画は、子ども・保護者への説明を行い、同意を得ている。		
	③ 定期的に、支援計画の見直しについて検討している。		
3 サービスの標準化	① 個々のサービスについて、標準的な実施方法を定め、マニュアルなどを作成している。		
	② 新人職員に対し、業務内容を学ぶ研修を実施している。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
4 苦情解決	① 苦情を受け付ける仕組みや書式が整備されており、職員や子ども・保護者に周知され、サービスの改善に活用されている。		
	② 苦情解決にあたっては、直ちに会議等で対応を検討し、迅速な解決を心掛けている。		
	③ 苦情の申出から解決まで、一連の流れが記録され、情報として蓄積・共有化できる仕組みができており、機能している。		
5 家族利用者のサポート	① 自宅での生活を含め、子育ての不安や悩みなど、保護者からの相談や面談に応じる体制を整えている。		
6 人権の尊重	① 職員から子どもへの体罰防止マニュアルの作成や研修実施など、虐待防止のための具体的な仕組みがあり、機能している。		
	② 家庭等での虐待の兆候を感じ取るなど、子どもに対する虐待の早期発見やその後の見守りに努めている。		
7 地域との連携・交流	① 地域行事への参加など、子どもの施設外における活動の範囲を広げるための取り組みを行っている。		
	② ボランティア・実習生の受け入れにあたり、担当者を配置するとともに、ボランティア・実習生に対して必要な事前説明をしている。		
	③ それぞれの関係諸機関・団体とのかかわり方を明確にし、それぞれに応じた連携を図るための定期的・具体的な取り組みを行っている。		

Ⅲ. サービスの内容

■それぞれの「評価の視点」において、「自己評価」の欄に以下の4段階での記入をお願いします。

自己評価の定義	
4：優れた取組ができている	3：おおむねできている
2：あまりできていない	1：まったくできていない

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 基本原則	① 子どもの人格や意思を尊重し、主体的に活動できるよう援助している。		
	② 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、心身の状態に応じた支援方法を検討し、支援している。		
	③ 業務の実施状況に関する日誌(出欠記録や業務日誌等)等、サービスの記録を行っている。		
2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定や意見の表明を促し、それを受け止めるように心がけている。		
	② 子どもの人格、価値観等を尊重したマナー、言葉づかいを心がけている。		
3 相談等の援助	① 子どもが相談したい時にはその方法や相手を選択して相談することができるなど、対応する方法が定められている。		
	② 日頃から子どもの行動特性や生活リズム、興味・嗜好、対人関係、服薬の状況などを観察・記録し、その結果を職員が共有し、支援に生かしている。		
4 健康管理	① 保護者との連携のもと、服薬管理が適切に行われている。		
	② 子どものケガや急病が発生した場合は速やかに対処し、保護者にも報告している。		
	③ アレルギー疾患のある子どもに対する食品への配慮や、アナフィラキシーショック発症時の対処法について、全職員が情報を共有し適切に対応している。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などの危険な行為に対して、子どもの心身を傷つけずに対応するための具体的な方法が定められている。		
	② 必要に応じて専門家の協力を得て、支援方法について工夫を行っている。		
6 活動	① 自然との触れ合いや社会体験など、多様な活動が用意されており、子どもが選んで参加することができるようになっている。		
	② 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。		
	③ 宿題や自習などの学習活動を自主的に行える環境を整えている。		
	④ 遊びや生活を通して、豊かな人間関係が育つような配慮を行っている。		
	⑤ 子どもが性差や国籍、障がいの有無、考え方の違いなどにとらわれず、互いに認め合い、尊重し合えるよう支援している。		
	⑥ 障がいのある子どもが遊びや活動に参加しやすいように支援している。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
7 おやつ の 提供	① 味、温度、盛り付け等の配慮、季節感を取り入れた献立など、質の高いおやつを提供している。		
	② 子どもの嗜好や成長に基づきおやつを出している。		
	③ 行事や季節を織り込み、子どもがおやつの時間を楽しく過ごせるように工夫している。		
8 施設 環境	① 子どもが落ち着いて快適に過ごせるように、音や光、室温、換気、くつろげる場所の整備等に配慮している。		
	② 部屋やトイレ、手洗い場などについて、清掃・整理された状態を維持している。		
	③ 子どもが安全に活動できるように、設備・備品に配慮している。		
9 来所・ 帰宅	① 子どもひとりでの来所や帰宅にあたって、安全面での指導を行っている。		

総合評価と事業プロフィール

必ずご記入ください。空欄の場合には、再提出をお願いすることがあります。

<p>評価項目(大項目)</p>	<p>事業者の強み、 アピールしたい取り組み</p> <p>(事業者のサービスとして「良いと思うこと」、「これ からも続けていきたいこと」など、具体的な組み みの事実をあげながら記入してください。)</p>	<p>サービス改善に向けた取り組み、 今後の展望</p> <p>(サービスを提供するにあたって「改善が必要だ」 と思うことを記入してください。また、改善に向けた 具体的な取り組みがあれば書き添えてください。)</p>
<p>I 組織と運営</p> <p>P2～P4 の設問を参考にして 回答してください。</p>		
<p>II サービス提供のプロセス</p> <p>P5～P6 の設問を参考にして 回答してください。</p>		
<p>III サービスの内容</p> <p>P7～P9 の設問を参考にして 回答してください。</p>		

<p>評価シート作成日</p>	<p>平成 年 月 日</p>
<p>評価シートの作成方法 (いずれか1つ○印をつけてく ださい。「3. その他」に○印を つけた事業者は具体的な方 法もご記入ください。)</p>	<p>1. 幹部職員および一般職員による評価チームをつくり、自己評価を行った</p> <p>2. 通常の職員会議等の場を活用し、自己評価を行った</p> <p>3. その他(具体的に:)</p>

児童育成クラブの名称			
事業者の名称			
事業者の所在地			
事業者の連絡先		電話	FAX
		E-mail	
貴法人が当該クラブの運営を開始した日		昭和／平成 年 月 日	
開設場所(○印を付けてください)		小学校校舎内・小学校敷地内・小学校敷地外・その他()	
定員／現在の利用者数 (平成 27 年 12 月末現在)		定員 人、利用者数 人	
職員数 (平成 27 年 12 月末現在)	常勤	職員数	人 (うち、男性 人、女性 人)
		有資格者数	保育士…()人 幼稚園教諭…()人、 幼稚園以外の教諭…()人 その他()…()人 その他()…()人
	非常勤	職員数	人 (うち、男性 人、女性 人)
		有資格者数	保育士…()人 幼稚園教諭…()人、 幼稚園以外の教諭…()人 その他()…()人 その他()…()人
※常勤: 週5日勤務、 かつ、30 時間以上			
※非常勤: 常勤職員以外			
サービスの提供にあたって大切にしていること			

利用者調査票の配付数	
------------	--

○利用者調査票は、原則として全員に配付してください。

事業者調査票の記入者	氏名:
------------	-----

○記入内容等について、お問合せをさせていただくことがあります。

浦安市児童育成クラブ利用者調査 ご協力をお願い

日頃より、浦安市の児童健全育成に対するご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

浦安市では、児童育成クラブの質の向上を目的に、クラブの利用者の皆様への調査を行い、その結果を運営事業者に伝え、今後のサービスの向上を図ってまいります。

つきましては、児童育成クラブをご利用のお子さまと保護者の方を対象に、アンケート調査を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。お答えいただいた内容は統計的に処理し、お名前が表に出たり、ご迷惑をおかけすることは決してございません。また、今回の調査結果は、市役所等の公共施設や市のホームページ上でも公開いたします。何卒趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成 28 年 2 月

浦安市こども部 青少年課 児童育成係

連絡先：047-351-1111（代表）内線1158

＜ご記入にあたってのお願い＞

①回答は、選択肢に○印をつけるものや、自由に記述するものがあります。質問に沿ってご回答ください。

②黒色または青色の鉛筆、ボールペンなどでご記入ください。

③Q1～Q21は保護者の方がご回答ください。

Q22～Q26はお子様にご回答いただくものです。保護者の方には必要に応じてその手助けをお願いします。

④記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

平成28年2月29日（月）までに、投函してください。切手は不要です。

お子さんが利用しているサービスについておたずねします。

次の質問について、あなたの気持ちに近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

<利用しているクラブの組織と運営について>

質 問		はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 1	クラブの理念や方針について、保護者に十分な説明や情報提供がありましたか。	⇒ 1	2	3
Q 2	支援員は、育成に関する専門的知識や技術を有していると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 3	出席確認や不審者対応など、来所時や帰宅時の安全確保に向けた取組がなされていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 4	クラブ内の部屋について清掃・整頓が行き届いていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 5	支援員は、お子さんや保護者の個人情報の保護・取扱いに注意を払っていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 6	学校との連携や情報交換が適切に行われていると思いますか。	⇒ 1	2	3

<サービス提供の手順について>

質 問		はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 7	支援員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。	⇒ 1	2	3
Q 8	あなたは、支援員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 9	連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。	⇒ 1	2	3
Q 10	お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを支援員に相談しやすいですか。	⇒ 1	2	3
Q 11	クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。	⇒ 1	2	3

<子どもの発達援助について>

質 問		はい	どちらとも いいない	いいえ
Q 12	支援員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 13	支援員は、遊びを通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 14	支援員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 15	支援員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 16	季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 17	クラブにおける発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 18	支援員は、子どもの人権の尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 19	特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。	⇒ 1	2	3

<児童育成クラブの小学校5・6年生の受け入れについて>

Q20 現在、児童育成クラブは小学校4年生までの受け入れとしています。

あなたは、小学校6年生までの受け入れが可能となった場合、利用を希望しますか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 小学5年生まで希望する | 2 小学6年生まで希望する |
| 3 希望しない | 4 わからない |

Q21 日曜日や祝日は、クラブを開所していません。

あなたは、日曜日や祝日にクラブを開所した場合に、利用を希望しますか。

- | | |
|---------|-----------|
| 1 利用しない | 2 利用を希望する |
|---------|-----------|

サービスについて、ご意見などがございましたら何でもご自由にお書きください。

ここからは、お子さんにご回答をお願いします。あてはまるものに○をつけてください。

質 問			1	2	3
Q 22	じどういくせいクラブのおやつはおいしいですか。	⇒	おいしい	どちらとも いえない	おいしく ない
Q 23	じどういくせいクラブのへややトイレはきもちよくつかうことができますか。	⇒	きもちよく つかえる	どちらとも いえない	きもちよく つかえない
Q 24	じどういくせいクラブはたのしいですか。	⇒	たのしい	どちらとも いえない	たのしく ない
Q 25	じどういくせいクラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらいいか、いっしょにかんがえてくれましたか。	⇒	かんがえて くれた	どちらとも いえない	かんがえて くれなかった
Q 26	じどういくせいクラブの先生は、あなたのきもちをよくわかってくれますか。	⇒	わかって くれる	どちらとも いえない	わかって くれない

じどういくせいクラブについてかんじていることを、なんでもかいてください。

ご協力ありがとうございました。

平成 27 年度 浦安市児童育成クラブに係る評価事業 報告書

平成 28 年 3 月

浦安市こども部青少年課

〒279-8501 千葉県浦安市猫実一丁目 1 番 1 号

電話 047-351-1111 (代表)